

三十五年	十一月六日	海軍省經費	二四六八七五	二〇,〇〇〇,〇〇〇	三十五年	十一月二十一日	一九四,四三〇,三八〇	一九五,五二九,七三四	一〇,九八三,五五九
計	同日		二四六八七五	一四,七三三,〇〇〇	計	同日	一四,三一九,三三三	一四,三九九,二二五	八〇,八九二
果計				二二,四七三,七〇〇	果計		二〇,八七四,八七三	二〇,九九二,七九九	一,七九二,四四六
十二月五日	同		二四六八七五	二五,二九一,九〇四	十二月十六日	同	一七〇,六八二,六〇九	一六七,六五七,二六三	三,〇三五,九五四
計	同			九六,六六一,六〇〇	計	同	二四,五九五,一九	二四,七三四,〇五九	一,三八九,九〇〇
果計				一七,三三九,七六八	果計		一六,七六六,九一七	一六,七六六,九一七	三,〇三五,九五四
十二月二日	同		二四六八七五	二五,二九一,九〇四	十二月二十二日	同	一九七,七二九,二四	一九九,四三三,七二	一,七〇四,四〇八
計	同			九六,六六一,六〇〇	計	同	九四,一三三,〇〇五	九四,七〇七,三三	五,六九〇,八
果計				一七,三三九,七六八	果計		一八,七二七,二四	一九,四三三,七二	七〇,八八八
二十二日	同		二四六八七五	二五,二九一,九〇四	二十六日	同	五六一,〇八八,四一	五六四,二五八,〇四	六,八三〇,三七
計	同			九六,六六一,六〇〇	計	同	九四,一三三,〇〇五	九四,七〇七,三三	六,四四〇,〇〇
果計				一七,三三九,七六八	果計		一六,七六六,九一七	一六,七六六,九一七	三,〇三五,九五四
二十四日	同		二四六八七五	二五,二九一,九〇四	二十六日	同	三三八,六九〇,四三	三四〇,〇六〇,五三	八,六二九,九〇
計	同			九六,六六一,六〇〇	計	同	九四,一三三,〇〇五	九四,七〇七,三三	六,四四〇,〇〇
果計				一七,三三九,七六八	果計		一六,七六六,九一七	一六,七六六,九一七	三,〇三五,九五四
二十七日	同		二四六八七五	二五,二九一,九〇四	二十九日	同	九四,一三三,〇〇五	九四,七〇七,三三	六,四四〇,〇〇
計	同			九六,六六一,六〇〇	計	同	九四,一三三,〇〇五	九四,七〇七,三三	六,四四〇,〇〇
果計				一七,三三九,七六八	果計		一六,七六六,九一七	一六,七六六,九一七	三,〇三五,九五四
二十九日	同		二四六八七五	二五,二九一,九〇四	二月六日	同	七五〇,九八七,三三二	七五五,二二九,七三四	四,二四二,三九三
計	同			九六,六六一,六〇〇	計	同	三〇,八〇〇,四九六	三〇,〇四六,〇三	七,七五四,四六三
果計				一七,三三九,七六八	果計		一七,一〇九,三三七	一六,八〇八,六六七	三,三〇〇,七〇六
三十五年	十一月二十六日		二四六八七五	二〇,〇〇〇,〇〇〇	三十五年	十一月二十六日	一九四,四三〇,三八〇	一九五,五二九,七三四	一〇,九八三,五五九
計	同			一七,四七〇,九八八	計	同	一〇,一五〇,五三三	一〇,一七四,三九〇	二,〇二三,八五七
果計				一七,四七〇,九八八	果計		一七,一〇九,三三七	一六,八〇八,六六七	三,三〇〇,七〇六

二月六日	同		二四六八七五	二六,八一九,〇〇〇	十六日	同	二六,四〇六,〇〇〇	二六,二一九,二五六	一,八六七,四四四
計	同			一三,〇〇〇,〇〇〇	計	同	一〇,一五〇,五三三	一〇,一七四,三九〇	一,八六七,四四四
果計				一三,〇〇〇,〇〇〇	果計		一七,一〇九,三三七	一六,八〇八,六六七	三,三〇〇,七〇六
十六日	同		二四六八七五	二六,八一九,〇〇〇	三月十八日	同	二二,六三三,〇〇八	二二,四七一,九八八	一,二一〇,〇二〇
計	同			五,七三三,四〇〇	計	同	五,六一七,一六三	五,六三二,一九六	四,〇三三,二二九
果計				五,七三三,四〇〇	果計		五,六一七,一六三	五,六三二,一九六	四,〇三三,二二九
二十四日	同		二四六八七五	二六,八一九,〇〇〇	三月十八日	同	二二,六三三,〇〇八	二二,四七一,九八八	一,二一〇,〇二〇
計	同			一三,〇〇〇,〇〇〇	計	同	一〇,一五〇,五三三	一〇,一七四,三九〇	一,八六七,四四四
果計				一三,〇〇〇,〇〇〇	果計		一七,一〇九,三三七	一六,八〇八,六六七	三,三〇〇,七〇六
三月二日	同		二四六八七五	二六,八一九,〇〇〇	十九日	同	一〇,八〇二,七〇八	一〇,七三六,二一八	七,六四九,〇
計	同			九,五二〇,〇六三	計	同	九,三六四,〇〇〇	九,二九七,六九八	六,六三三,〇三三
果計				九,五二〇,〇六三	果計		九,三六四,〇〇〇	九,二九七,六九八	六,六三三,〇三三
五日	同		二四六八七五	二六,八一九,〇〇〇	同日	同	二九,七九四,四六二	二九,五八三,四九七	二,二〇九,九六五
計	同			三,〇二六,〇〇〇	計	同	二九,七九四,四六二	二九,五八三,四九七	二,二〇九,九六五
果計				三,〇二六,〇〇〇	果計		二九,七九四,四六二	二九,五八三,四九七	二,二〇九,九六五
十一日	同		二四六八七五	二六,八一九,〇〇〇	二十八日	同	一三,七二九,〇六七	一三,六六六,八〇七	六,二二六,〇
計	同			一五,〇三二,〇七一	計	同	一三,七二九,〇六七	一三,六六六,八〇七	六,二二六,〇
果計				一五,〇三二,〇七一	果計		一三,七二九,〇六七	一三,六六六,八〇七	六,二二六,〇
十九日	同		二四六八七五	二六,八一九,〇〇〇	二十七日	同	一七,三三三,七六一	一七,二四七,七八一	八,〇八六,五五七
計	同			一七,五三三,七八一	計	同	一七,三三三,七六一	一七,二四七,七八一	八,〇八六,五五七
果計				一七,五三三,七八一	果計		一七,三三三,七六一	一七,二四七,七八一	八,〇八六,五五七

備考

本表三十三年四月中代リ金國庫へ納入高ハ金二百三十二萬五千四百二十一圓九十錢九厘ナ
 リト雖外ニ三十三年三月中英貨拂出濟高ノ内四月ニ至リ代リ金國庫へ納入シタル高金百八

十五萬二千六百七十七圓四十七錢二厘アルニヨリ合計總高ハ金四百十七萬八千九十九圓三十八錢一厘ナリトス
 本表比較ノ差ノ欄内ニ於ケル△印ノ員額ハ英貨ヲ領收セシ際付シタル通貨額ト實際國庫ヘ納入セシ通貨トノ差減ヲ示スモノナリ

第五款 日本銀行ト預ケ合貸借

臨時軍事費出納上ノ必要ニ際シ英國ニ貯藏スル處ノ英貨ヲ其儘ニ日本銀行ニ預ケ入レ(在倫敦日管理店ヘ預ケ入レ同店ニ之ヲ保)日本銀行ハ之ヲ準備ニ兌換銀行券ヲ發行シ以テ之ヲ政府ニ貸付スルノ方法ヲ案畫シ明治二十八年十一月二十日子爵渡邊大藏大臣ハ左案ヲ閣議ニ提出セラレタリ

臨時軍事費及陸海軍擴張會計整理ノ件

先般明治二十九年年度歳入出豫算概算決定ノ際第一期陸海軍擴張臨時費ハ清國政府ヨリ可拂入凡一億二千萬圓ヲ限度トシテ經畫相立候ニ付テハ明治二十九年年度ニ於テ可仕拂陸海軍擴張臨時費ハ凡四千萬圓ニ過キスシテ其餘凡八千萬圓餘ハ明治三十年年度以降三十二年年度迄三箇年間ノ財源ニ充ツヘキ計算ニ有之候然ルニ他ノ一方ニ於テハ遅クモ明年三月迄ニハ完結セサル可ラサル日清事件臨時軍事費ニ於テ尙一億圓以上ノ公債募集若クハ借入金ヲ爲サ、ル可ラサル概算ニ相成居申候如此一方ニハ將來三四箇年ニ渉ル財源ヲ庫底ニ沈滞セシメ置一方ニハ民間ヨリ巨額ノ公債募集又ハ借入金ヲ爲シ國庫ヨリ多額ノ利子ヲ仕拂フカ如キハ決シテ財政上ノ得策ニ無之ノミナラス清國賠償金ヲ一モ日清事件軍費補償ニ繰入レスシテ直チニ軍備擴張費ニノミ充ツルノ計算ト爲スハ名實上少シク穩當ナラサルノ嫌ヒモ有之候間先般豫算概算決定ノ際被相定候經畫目的ハ毫モ之ヲ動カスコトナク實際會計上ノ運用ハ左ノ如ク御決定相成候ハ、一ハ國庫中巨額ノ賠償金ヲ有シナカラ更ニ巨額ノ公債募集又ハ借入金ヲ爲スノ不便ヲ避ケ一ハ日清事件軍費補償トシテ清國ヨリ拂入候賠償金ヲ以テ直ニ陸海軍備擴張ニ充ツルノ嫌

ヲ避ケ一舉兩得ノ儀ト存候

第一 清國ヨリ拂入タル賠償金ノ英貨ハ陸海軍擴張費中外國購入品代價仕拂ノ爲メ及鐵道其他材料等外國品購入ニ供スル爲メ成ルヘク外國ニ於テ保存シ置クコト

第二 右英貨ヲ日本銀行ヘ預ケ入ノ手續ヲナシ之ニ對シテ兌換券ヲ發行セシメ國庫ニ借入レ内地諸般ノ仕拂ニ充ツルコト

但シ其預入利子ハ大凡年二分借入レ利子ハ大凡年三分ノコト

第三 清國拂入賠償金ノ内明治二十九年陸海軍擴張費ニ要スル四千萬圓ヲ除キ殘額八千萬圓ハ通貨ニ換算シ日清事件臨時軍事費ニ振替繰入ノ計算ト爲シ明治三十年度以降陸海軍擴張臨時費ニ充ツヘキ財源ハ之ヲ日清事件臨時軍事費財源ノ爲メニ募集スヘシト假定シタル公債募集ニ振替以テ二者ノ會計ヲ完結整理スルコト

右速ニ御決定有之度依テ閣議ニ提出ス

右閣議案ハ明治二十八年十二月三日ヲ以テ決定セリ依テ同月十二日之レニ關シ左ノ如ク日本銀行ヘ命令セラレタリ

預ケ合ニ關スル命令書

秘第九二三號

日本銀行

今般清國ヨリ領收セシ債金ノ内我通貨ニ換算シテ凡ソ八千萬圓ニ該當スル員額ヲ英貨若クハ金塊ヲ以テ其行ニ預ケ入レ之ニ相當スル兌換銀行券ヲ其行ヨリ借入ルニ付命令スルコト左

ノ如シ

一 英貨又ハ金塊ヲ以テ其行ニ預ケ入ルヘキ金額ハ凡ソ八千萬圓ヲ限リトシ必要ニ從ヒ漸次預ケ入ルモノトス

一 其行ハ前項ニ依リ預ケ入レタル英貨若クハ金塊ノ價格ニ基キ兌換銀行券ヲ發行シ之ヲ政府ニ貸付ルモノトス

但金ノ銀ニ對スル價格ノ割合ハ其時々之ヲ定ムルモノトス

一 前項預ケ入又ハ貸付ノ期限並ニ之ニ對スル利子歩合ハ其時々之ヲ定ムルモノトス

右命令候條承諾ノ上ハ請書差出スヘシ

明治二十八年十二月十二日

大藏大臣 子爵 渡邊 國武

右命令ニ基キ明治二十九年五月二十日ヲ以テ第一回ノ預ケ合五千萬圓ヲ實行セラレタリ

茲ニ當時ニ於テ此預ケ合ノ必要ナリシ國庫ノ情況ヲ略述センニ明治二十九年三月法律第十號ヲ以テ同年三月限リ臨時軍事費特別會計ヲ終結スヘキコトニ定メラレ而シテ明治二十八年追加豫算ヲ以テ債金特別會計ヨリ七千八百九十五萬餘圓ヲ臨時軍事費歳入ヘ繰入スヘキコトヲ公布セラレタリ然ルニ債金特別會計ノ本邦ニ於ケル現金ヲ顧ミレハ僅カニ九百二萬餘圓ニ過キス之レヲ臨時軍事費歳入ニ繰入スルモ尙ホ六千九百九十三萬餘圓ノ繰入不足ヲ見ル而シテ如此巨額ハ到底明治二十八年國庫閉鎖期マテニ英國ヨリ回收シ得サルヲ以テ遂ニ預ケ合ヲ爲シ其借入レタル兌換券五千萬圓ヲ以テ臨時軍事費特別會計ヘ繰入スルニ至リタルモノナリ

右預ケ合ノ利子ハ政府ヨリノ預ケ入ニ對シテハ一箇年一分借入金ニ對シテハ一箇年二分ノ割合ニシテ差引一步ハ國庫ノ負擔ニ歸スル計算ナルニ依リ金繰上ノ都合ヲ見計リ可成速ニ之カ解除ヲナスハ國庫ノ利益トスル所ナルモ債金特別會計部ニ於テハ臨時軍事費へ繰入金ノ外明治二十九年度一般會計ノ歳入臨時部へ四千二萬餘圓繰入セサルヲ得サルヲ以テ預ケ合ヲ解除スルノ餘裕ヲ得サリシカ明治二十九年十一月以降ニ至リ倫敦ニ於テ購入セシ金地金モ追々到達セシニ依リ其到達ニ隨ヒ明治二十九年十二月以降該金地金ヲ以テ日本銀行ト無利子預ケ合ヲ組成スルコト、セラレタリ其命令ハ左ノ如シ

祕第一一〇六號

日本銀行

二十八年十二月十二日祕第九二三號命令ノ趣旨ニ基キ本邦へ回收シタル金貨若クハ金地ヲ以テ預ケ合ヲ實行スル場合ニハ預ケ入金借入金雙方共ニ利子ヲ付セサルモノトス
右命令候條承諾ノ上ハ請書差出スヘシ

明治二十九年十二月十日

大藏大臣 伯爵 松方正義

右ノ命令ニ對シ日本銀行ヨリ請書ヲ提出シタルヲ以テ曩キニ組成セル有利子英貨預ケ合ノ借入金ノ内先ツ六百七十七萬餘圓ハ明治二十九年十二月中無利子金地金預ケ合ノ組成ト同時ニ償還シ爾後此方法ニ依リ漸次償還シ預ケ入ノ英貨ヲ取戻スコト、セラレタリ
又英貨預ケ合ノ利子ハ前述ノ如ク預ケ入ニ對シ一步ノ利子ヲ徵シ借入ニ對シ二歩ノ利子ヲ仕拂

ヒ差引日本銀行ニ一步ノ差益ヲ與ヘタルハ元來兌換券ノ製造費並發行手数料ニ充テタルニ外ナラス然ルニ明治二十九年五月以降ニ仕拂フタル利子ヲ以テ此等ノ費用ヲ償フテ餘リアルニヨリ明治三十年一月以降ハ英貨ノ預ケ合殘額ニ對シテモ雙方共利子ヲ付セサルコトニ定メラレタリ之ヲ要スルニ最初ハ倫敦ニ保有スル英貨ノ預ケ合ナリシヲ漸次購入金地金ノ到着スルニ隨ヒ本邦ニ現在スル金地金ノ預ケ合ト變シ隨テ國庫ニ於テ利子ノ負擔モ消滅シ又購入銀塊並取組ミノ爲替代リ金等ニシテ餘裕アルモノハ漸次預ケ合ノ解除ヲ爲スコト、シ明治三十年五月十日迄ニ英貨預ケ合ノ内二千八十二萬餘圓ハ金地金ノ預ケ合ト變シ残り二千九百十七萬餘圓ハ銀塊並爲替取組代リ金ヲ以テ返償シ即英貨ノ預ケ合ハ茲ニ一段落ヲ告ケタリ而シテ又金地金預ケ合モ債金特別會計部所屬通貨ニ餘裕ヲ生スルニ從ヒ漸次之レヲ解除シ明治三十一年二月全然決済シ了ハリタリ

又明治三十一年四月中金融市場ノ逼迫ヲ緩和シ公債證書ノ市價ヲ維持スルノ目的ヲ以テ伯爵井上大藏大臣ハ債金部餘裕金中ヨリ金千五百萬圓ノ公債ヲ市場ヨリ買上タルノ計畫ヲ立テ若シ此額ニ達スルモ尙公債ノ市價回復セス買上希望者續出スルトキハ更ニ金千五百萬圓迄買上クルコトニセラレ著々之レヲ實行セラレタリ然ルニ明治三十一年六月三十日內閣ノ更迭ト共ニ松田正久氏大藏大臣ニ就職セラレ前大臣ノ計畫ヲ襲蹈シ都合三千萬圓迄ノ買上ヲ實行スルコト、セラレタリシカ債金部ノ現金ハ曩ニ英國ニ於テ購入ノ金塊未タ國庫ニ納入ノ運ニ至ラサリシ等ノ事情ヨリ豫定額全部ノ買上ニ應スル能ハサリシ依テ明治三十一年八月中右金塊ノ本邦ニ到着シ未タ精算ニ至ラサルモノヲ精算迄國庫ニ假納シタル旨日本銀行ヨリ申出雜部ニ預ケ入レトナリタ

ルヲ以テ之レヲ日本銀行ニ預ケ入兌換銀行券ノ準備トナサシメ一面借入金ヲナシ債金部公債買入基金ニ充用スルコト、セラレ明治三十一年八月千五百四十萬圓ノ金地金ノ預ケ合ヲ組成セラレタリ爾後尙ホ該買入基金ニ必要ヲ生シタルヲ以テ同一ノ方法ニ依リ更ニ金九百五十萬圓ノ預ケ合ヲ組成セラレタリ然ルニ翌十月ニ至リ購入金塊ハ精算ノ運ニ至リタルヲ以テ前記二回ノ預ケ合借入金二千四百九十萬圓ヲ償還シ預ケ合ヲ解除セラレタリ

又明治三十一年十一月中國庫金繰上ノ都合ニ依リ前同一ノ方法ニ據リ明治三十一年十一月中金四百十二萬圓ノ金地金預ケ合ヲ日本銀行ト組成セラレタルモ金地金ノ精算ト共ニ翌十二月二十六日之レヲ償還シ預ケ合ヲ解除セラレタリ

右第一回預ケ合ノ爲メ預ケ入レタル英貨ヲ日本銀行代理店ハ如何シテ保管セシヤニ關シ一言セシニ明治二十九年五月二十日第一回預ケ合實行ノ際英貨五百八十萬四千四百十五磅我通貨五千五百萬圓ニ該當スルモ寄託預金事務取扱順序第九條ニヨリテ預ケ入ルヘキニ付寄託ノ章寄託金ノ内ヨリ受領シ英貨通貨準備價格利子等ノ割合ヲ記シタル領收證ヲ金庫出納役ニ差出シ其受取リタル英貨ハ英蘭銀行ヘ寄託スヘキコトヲ命令シ同時ニ此旨趣ヲ在倫敦林監理官ニ通達セシニ林監理官ハ此通達ニ依リ兌換準備ノ英貨ハ日本銀行ヨリ英蘭銀行ヘ普通預ケ入ノ方法ニ依ラシメタリ尤普通預ケノ方法ノ外ニ特別保護預ケト云フ如キ特別保管方法ノ存セサルヤヲ取調ヘタルニ英貨ヲ金櫃ニ納メ閉鎖若クハ封印ノ儘預ケ入ルノ方法ナキニアラサレトモ此方法タル其櫃中ノ金員ハ英蘭銀行ノ關知セサル處ニテ同行ハ其金櫃ト封印ノ安全トヲ保管スルニ止ル故ニ破産等ノ場合ヲ除クノ外ハ普通預ケ入ノ堅固ナルコト特別保護預ケト異ナルコトナシト英蘭銀行自カラモ稱

述セリト加フルニ此預ケ入ヲ爲スニハ金櫃ハ預ケ入ノ支辨ニ屬シ出納ハ勿論其他繁雜ナル手續ヲ要スルヲ以テ終ニ普通預ケ金トシ只之ヲ預金ト號勘定トシテ區分セシノミナル旨ノ報告アリタリ

今當初ヨリ明治三十三年三月三十一日迄ニ至ル預ケ合ニ關スル計算ヲ別表第三十一、三十二、三十三號ニ具ス

年 月	預ケ合貸借計算表		現預ケ合高
	預借ケ入通英貨	預借ケ入通金貨	
二十九年五月	五〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	六、七三三、八七五〇〇〇〇	五、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
三十一年一月	五、八〇〇、四一五〇〇〇〇〇〇〇	三、七六三、二六四、五八九〇〇	五、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
三十一年二月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	一、八七〇、九九七〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
三十一年三月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	一、〇三九、四四二、八四〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
三十一年四月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	八、九四七、一九六〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
三十一年五月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	四、九七〇、六六五、四二六〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
三十一年六月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	三、三三二、六三五〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
三十一年七月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	一、七九五、九〇八、五二一〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
三十一年八月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	六、七五二、二九七〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
三十一年九月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	七、三三〇、九五五〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
三十一年十月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	四、〇一七、一九六、九〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
三十一年十一月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	六、七六二、六一七〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
三十一年十二月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	三、七五七、〇一〇、一三六〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
三十一年計	五、八〇〇、四一五〇〇〇〇〇〇〇	三、〇二二、五七二、九〇〇	五、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
總計	五、八〇〇、四一五〇〇〇〇〇〇〇	四、一三三、八四四、五〇〇	四、一三三、八四四、五〇〇

第三十一號

明治財政史第二卷

年 月	預借ケ入通英貨	預借ケ入通金貨	現預ケ合高
二十九年五月	五〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	六、七三三、八七五〇〇〇〇	五、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
三十一年一月	五、八〇〇、四一五〇〇〇〇〇〇〇	三、七六三、二六四、五八九〇〇	五、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
三十一年二月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	一、八七〇、九九七〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
三十一年三月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	一、〇三九、四四二、八四〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
三十一年四月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	八、九四七、一九六〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
三十一年五月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	四、九七〇、六六五、四二六〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
三十一年六月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	三、三三二、六三五〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
三十一年七月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	一、七九五、九〇八、五二一〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
三十一年八月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	六、七五二、二九七〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
三十一年九月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	七、三三〇、九五五〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
三十一年十月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	四、〇一七、一九六、九〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
三十一年十一月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	六、七六二、六一七〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
三十一年十二月	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	三、七五七、〇一〇、一三六〇〇	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
三十一年計	五、八〇〇、四一五〇〇〇〇〇〇〇	三、〇二二、五七二、九〇〇	五、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
總計	五、八〇〇、四一五〇〇〇〇〇〇〇	四、一三三、八四四、五〇〇	四、一三三、八四四、五〇〇

明治財政史第二卷

預ケ合貸借計算表内譯ノ一

(一) 英貨預ケ合ノ部

預ケ入借入 年月日	預ケ		入		高		借入高	
	預ケ入英貨高	英貨ヲ受入タルトキノ相 場ニ依ル換算通貨高	預ケ入英貨ノ換算金貨高	準備價格	借入	借入	借入	借入
二十九年 五月二十日	五八〇四四一五〇〇.〇〇	五二五〇七四六四一.四四	二七,七七七,七七〇〇.〇〇	五〇,〇〇〇,〇〇〇.〇〇	〇	〇	五〇,〇〇〇,〇〇〇.〇〇	〇

備考

「英貨ヲ受入タルトキノ相場ニ依ル換算額」ハ「預入英貨高」ヲ二十九年五月十四日國庫現在英貨ノ平均相場圓銀一圓ニ付二志二片五三〇六九六五七六四三七ノ割合ニ據リ換算シタルモノナリ
 「預ケ入英貨ノ換算金貨高」ハ「預ケ入英貨高」ノ内ヨリ倫敦本邦間ノ運賃及手数料千分ノ十二、八一ヲ控除シタル殘額ヲ英貨一磅ニ付金貨四圓八十八錢一厘一(貨幣條例備考ニ示セル割合ナリ)ノ割ニテ換算シ此内ヨリ鑄造料千分ノ七ヲ控除セシモノナリ
 「準備價格」ハ「預ケ入英貨ノ換算金貨高」ヲ金貨百圓ニ付圓銀百八拾圓ノ割ニテ換算セシモノナリ
 英貨預ケ合ハ當初預ケ入ニ對シテハ年一步借入ニ對シテハ年二步ノ利付ナリシカ明治三十年一月一日ヨリ雙方共無利子トナセリ

第三十二號

第三十三號ノ一

預ケ合貸借計算表内譯ノ二 (金貨本位實施前ノ分)

(二) 金地金預ケ合ノ部

其一 當初英貨預ケ合ヲ爲シタル金地金ヲ以テ預ケ合ノ爲メ本邦へ回收シタル金地金ヲ以テ預ケ合ノ分

預ケ合並解除 年月日	預ケ合		解除	
	預ケ入金貨高	英貨ヲ受入レタ ルトキノ相場ニ 依ル換算通貨高	預ケ合借入金 ヲ以テ返價高	在金ヲ以テ返 價高
二十九年 十二月十一日	五八〇四四一五〇〇.〇〇	五二五〇七四六四一.四四	二七,七七七,七七〇〇.〇〇	五〇,〇〇〇,〇〇〇.〇〇
二十四日	〇	〇	〇	〇
計	五八〇四四一五〇〇.〇〇	五二五〇七四六四一.四四	二七,七七七,七七〇〇.〇〇	五〇,〇〇〇,〇〇〇.〇〇
三十年 二月二十六日	〇	〇	〇	〇
同日	〇	〇	〇	〇
計	〇	〇	〇	〇
果 計	五八〇四四一五〇〇.〇〇	五二五〇七四六四一.四四	二七,七七七,七七〇〇.〇〇	五〇,〇〇〇,〇〇〇.〇〇
三月五日	〇	〇	〇	〇
同日	〇	〇	〇	〇
計	〇	〇	〇	〇
二十四日	〇	〇	〇	〇
計	〇	〇	〇	〇

預ケ合貸借計算表内譯ノ三 (金貨本位實施後ノ分)

(三) 金地金預ケ合ノ部 其二 地本邦ヘ以テ收テ預ケタル金貨金

預ケ合並解除 年月日	預ケ合		預ケ合解除 高
	預ケ入金貨高	上欄金貨ノ 準備價格ノ	
三十一年 八月十三日	九九〇四一六〇五〇	九九〇〇〇〇〇〇〇〇	有金ヲ以テ返價シタル金貨高
計	九九〇四一六〇五〇	九九〇〇〇〇〇〇〇〇	上欄金貨ノ 準備價格ノ
九月十五日	二五二三八六四一五〇	二五〇〇〇〇〇〇〇〇	有金ヲ以テ返價シタル金貨高
計	二五二三八六四一五〇	二五〇〇〇〇〇〇〇〇	上欄金貨ノ 準備價格ノ
九月二十日	三二二九六三〇〇〇	三二〇〇〇〇〇〇〇〇	有金ヲ以テ返價シタル金貨高
計	三二二九六三〇〇〇	三二〇〇〇〇〇〇〇〇	上欄金貨ノ 準備價格ノ
九月二十四日	四〇三五六八六五〇〇	四〇〇〇〇〇〇〇〇〇	有金ヲ以テ返價シタル金貨高
計	四〇三五六八六五〇〇	四〇〇〇〇〇〇〇〇〇	上欄金貨ノ 準備價格ノ
十月三十一日	〇	〇	有金ヲ以テ返價シタル金貨高
計	〇	〇	上欄金貨ノ 準備價格ノ
十一月二十九日	四一三二八九四四五〇	四一〇〇〇〇〇〇〇〇	有金ヲ以テ返價シタル金貨高
計	四一三二八九四四五〇	四一〇〇〇〇〇〇〇〇	上欄金貨ノ 準備價格ノ
十二月二十九日	二九三三三二八六七五〇	二九〇〇〇〇〇〇〇〇	有金ヲ以テ返價シタル金貨高
計	二九三三三二八六七五〇	二九〇〇〇〇〇〇〇〇	上欄金貨ノ 準備價格ノ

第三十三號ノ二

明治財政史第二卷

備考

本表金貨ハ總テ新金貨積ナリ

十二月二十七日	計
〇	二九三三三二八六七五〇
〇	二九〇〇〇〇〇〇〇〇
〇	二九三三三二八六七五〇
四一三〇〇〇〇〇〇〇	二九三三三二八六七五〇
四一三〇〇〇〇〇〇〇	二九三三三二八六七五〇
四一三〇〇〇〇〇〇〇	二九〇〇〇〇〇〇〇〇
四一三〇〇〇〇〇〇〇	二九三三三二八六七五〇

明治財政史第二卷

第六款 日本銀行へ利付預ケ入

明治二十九年末ニ於テ日本銀行ハ市場金融ノ有様ヲ慮リ明治三十年一月十日迄資金一千萬圓ノ融通ヲ國庫ニ得シコトヲ申出タリ然レトモ當時國庫ノ狀況ハ之レニ融通ヲ與フルノ餘裕ナカリシヲ以テ明治二十七年法律第十六號ニ依リ倫敦ニ保有スル所ノ英貨一百萬磅ヲ年利三分ノ割合ヲ以テ明治二十九年十二月二十八日ヨリ明治三十年一月十日迄定期預ケ入ヲ爲スコト、セラレタリ其命令書ハ左ノ如シ

祕第一二〇八號

日本銀行

一英貨百萬磅

此通貨九百六萬六千六百六十八圓九十七錢三厘

此本邦金貨價格四百七十八萬五千六百二十八圓四十錢也

此準備價格八百六十一萬四千三百三十一圓也

但金貨百圓ニ付銀貨百八十圓ノ割

利子ハ準備價格ニ對シ年三步ノ割ヲ以テ倫敦ニ於テ英貨預ケ入ノ手續ヲ爲シタル當日

ヨリ返償當日迄納付スルモノトス

右ハ明治二十七年法律第十六號ニ依リ來ル三十年一月十日迄其行へ定期預ケ入候條其行寄託金ノ内ヨリ之ヲ受取リ英貨通貨準備價格及利子ノ割合等記載シタル領收證書ヲ金庫出納役へ

明治財政史第二卷

明治財政史第二卷

差出スヘシ而シテ本行ノ英貨ハ兌換券發行ノ準備ト爲スヘキモノニ付直ニ別途勘定トシテ英蘭銀行へ寄託スヘシ

右相違候條其行倫敦代理店へ直ニ電達シ領收濟ノ上ハ其旨當省へ報告スヘシ

明治二十九年十二月二十五日

大藏大臣 伯爵 松方正義

右預ケ入英貨ハ明治三十年一月十日ニ至リ日本銀行ヨリ返納シ同十二日國庫ニ納入ノ手續ヲ了セリ

又明治三十年三月ニ至リ既ニ領收セシ償金ノ内本邦ニ回收スヘキモノハ爲替又ハ金銀塊ヲ以テ既ニ取寄セ其他ハ將來海外ニ於テ仕拂フヘキ各省經費ノ仕拂基金ニ充テタルモノ、ミヲ倫敦ニ殘置セシ折柄日本銀行ヨリ左記ノ如ク申出テタリ

文祕第一二三號

橫濱正金銀行ヨリ別紙寫ノ通其爲替資金缺乏シ甚タ困難相極メ候趣申出候就テハ一應取調候處右ハ全ク事情不得止次第ニシテ過日御達ヲ以テ從前同行爲替出達ノ爲メ償金ノ内ヲ以テ取組候爲替御中止相成候上ハ同行ニ於テハ此際正貨ヲ輸送シ同行倫敦支店ノ爲替資金ニ備フル外無之然ルトキハ一方ニ於テハ金地金等ヲ買入レ償金ヲ回收スルニ當リ一方ニ於テハ正貨ヲ續々輸出セサルヲ得サルカ如キ狀況ニ陥リ全局上甚タ不得策ナルカ如ク被存候間橫濱正金銀行へ貸與致候爲メ政府寄託金ノ内ヨリ英貨百萬磅ヲ極度トシ時々同行需用高ヲ本行へ御貸渡被下度奉願候右御許可相成候其上ハ其借用高ハ一箇年ヲ以テ期限トシ年二分ノ割合ヲ以テ御

貨渡高ニ對シ元利共倫敦ニ於テ返納可仕候間何卒特別ノ御詮議ヲ以テ速ニ御承認相成候様仕度此段上申候也

明治三十年三月十八日

日本銀行總裁 岩崎彌之助

大藏大臣伯爵松方正義殿

別紙

拜啓陳者當銀行昨年以來債金回收ノ爲メ大ニ爲替業務ノ擴張ヲ圖リ就中銀行ノ賣爲替ニ於テ力メテ顧客ニ便利ヲ與フルノ手段ヲ採リ日本郵船會社ノ如キ三菱會社ノ如キ其他政府ノ御注文品ヲ請負ノ商會等ニシテ從前專ラ外國銀行ヲ經テ爲替ノ取組ヲ濟シ候者ニ向テ或ハ特別ノ約束ヲ締ヒ或ハ其時々ノ便利ヲ計リ主トシテ當行ニ依ラシムル様誘導シ其效果モ顯著ナル折柄過般其筋ノ御達ノ趣ヲ以テ爾後爲替出達ノ爲メ英貨御賣渡シノ事御中止ト相成折柄幣制御改革案ノ影響トシテ此十日程前ヨリ海外爲替業務ニ澁滯ヲ來シ今ヤ爲替市場ハ銀行ノ賣爲替ヲ求ムル者ノミ多ク現ハレ頃日生絲ノ漸次賣捌候ニモ拘ハラヌ輸出爲替ハ皆無ノ委ト相成當行ノ如キハ爲替出達ヲ得ルノ道相絶ヘ勢ヒ正貨ヲ輸出シテ倫敦ニ資金ヲ備ヘテレハ殆ント日常ノ業務ニ支障ヲ生スルニ至リ候然ルニ一方ニ於テハ郵船會社ノ船代政府及ヒ鐵道會社等ノ注文品ノ代價トシテ海外ヘ送金ヲ需ムルモノ不絶有之依テ今日迄ハ當行倫敦支店金融ノ許ス限リハ爲替出達ノ如何ニ拘ハラヌ右等得意先ノ便利ヲ達シ送金方引請來リ候得共最早倫敦支店ニモ餘金缺乏シ且ツ現金輸送ノ外該支店ニ資金ヲ備フルノ道無

明治三十年三月十八日

之甚々困難仕候ニ付此際英貨百萬磅ヲ極度トシ内先以テ至急三十萬磅ヲ同支店ヘ御預ケ入被成下度候様奉願候幸ニ御許諾被成下候ニ於テハ右英貨ハ一箇年限リ倫敦ニ於テ返納可仕又利子ハ御預入ノ金高ニ對シ年二分ノ割合ヲ以テ上納可仕候間事情御洞察右特ニ御許可被成下候様仕度此段奉願候也

橫濱正金銀行

頭取 園田孝吉

明治三十年三月十八日

日本銀行總裁男爵岩崎彌之助殿

右ノ上申ニ據リテ之レヲ見レハ本邦諸會社ノ海外ニ於テ購入セシ汽船鐵軌等ノ代金仕拂額漸次増加スルノ有様ニシテ此際政府ノ賣爲替ヲ中止スルトキハ橫濱正金銀行ノ資力ヲ以テシテ到底爲替ノ出達ヲ付クル能ハス勢ヒ正貨ノ現送ヲ爲サ、ルヘカラサルニ至ルヘク此情態ヲシテ自然ノ成行ニ放任スルトキハ貨幣制度改正ノ金準備ニ充用スル爲メ既ニ本邦ヘ回收セシ金塊ヲ再ヒ海外ヘ輸出スルノ惡結果トナルヘシ故ニ明治三十一年度軍艦代等ノ仕拂基トシテ倫敦ニ存置スル所ノ英貨ノ中百萬磅迄ヲ限リ明治二十七年法律第十六號ニ據リ日本銀行ヘ利付預入ヲナシ同行ニ於テハ之ヲ爲替資金ニ使用シ正貨ノ輸出ヲ防止セシメ爾後輸出ノ盛時ニ際シ其代金ヲ以テ倫敦ニ於テ英貨ヲ以テ返納セシムルコト、セハ一方ニ於テハ將ニ流出セントスル正貨ヲ防止シテ爲替ノ出達ヲ付ケ一方ニ於テハ債金運用利殖ノ一方法トモナルヘキヲ以テ審議ノ末遂ニ日本銀行ノ申請ヲ聽許セラレタリ其指令書ハ左ノ如シ

祕第三四四號

日本銀行

本年三月十八日文祕第一二三號稟請ノ趣ハ正貨流出ヲ防止スルノ一手段トシテ聞届候條左ノ通心得ヘシ

一 英國ニ於テ保管スル所ノ英貨ノ内百萬磅迄ヲ限り明治二十七年法律第十六號ニ依リ爲替基金トシテ漸次其行ヘ預ケ入候條必要ニ臨ミ受取方申出ヘシ

但右英貨預ケ入期限ハ一箇年以内トシ倫敦ニ於テ英貨ヲ以テ返償スヘシ又右預ケ入英貨ニ對スル利子ハ倫敦ニ於テ預ケ入ヲ爲シタル日ヨリ返償セシ日迄年二歩ノ割合ニテ英貨ヲ以テ納付スヘシ

二 前項預ケ入英貨ノ内三十萬磅ハ倫敦ニ於ケル爲替仕拂基金トシテ常ニ使用スヘシ其餘ハ汽船又ハ鐵道用品等ノ如キ我國殖産工業上必要ナル輸入品ニ對スル爲替ヲ選ミ取組ムヘシ

但本文爲替取組ミタルトキハ其時々當省ヘ報告スヘシ

三 本命令ノ趣旨ニ依リ其行ヘ預ケ入ヲ爲スハ明治三十一年三月末日限トス右相違候條承諾ノ上ハ請書差出スヘシ

明治三十年三月十九日

大藏大臣 伯爵 松方正義

右ノ指令ニ對シ請書ヲ差出シタルヲ以テ同年三月二十二日先ツ英貨三十萬磅ヲ同行ニ交付シ爾來漸次必要ニ從ヒ交付シ同年六月十六日ヲ以テ百萬磅迄ヲ預ケ入シラレタリ

先是右預ケ入レノ英貨ハ正貨ノ流出ヲ防止スル目的ニ出テタルモノナルヲ以テ其使用方ニツキ監督スルノ必要ヲ認メ明治三十年五月十八日左ノ如ク日本銀行ニ命令セラレタリ

祕第六三二號

日本銀行

本年三月十九日指令ヲ以テ英貨百萬磅ヲ限り其行ヘ爲替資金トシテ預ケ入レノ義ハ畢竟貿易上ノ景況ニ依リ我正貨ノ流出ヲ防止スルノ目的ニ出テタルモノ故之カ目的ヲ達セシムルコトヲ努メ及右預ケ入ノ返納期限ニ至リ其期ヲ誤ラサルコトヲ今ヨリ慎重ノ注意ヲ要ス依テ右預ケ入金ヲ以テ爲替ヲ取組ミ又之カ現金ノ運用ニ就テハ日本銀行ニ於テ常ニ左ノ事項ヲ綿密ニ取調時々大藏省ヘ報告スヘシ

一 爲替資金トシテ預ケ入レタル英貨ハ如何ナルモノニ向テ爲替ヲ取組ミタルヤ

二 爲替取組ミタル代リ金ハ如何ナル貨幣ヲ以テ何レニ保管シアルヤ

三 爲替取組ミタル代リ金ヲ以テ再ヒ英貨ノ爲替ヲ買入レタルトキハ其爲替ハ如何ナル種類ノモノニシテ何月ニハ其現英貨ヲ入手スルモノナルヤ

又右入手セシ英貨ハ何レニ如何ナル方法ヲ以テ保管シアルヤ

四 右英貨ニ向テ再本邦ヨリ爲替ヲ取組ミ又其取組ミタル代リ金ヲ以テ再三英貨ノ爲替ヲ買入レタルトキモ前各項ニ準シ調査スヘシ

五 曩キノ指令第二項ニ於ケル英貨三十萬磅ノ分ニ對シテモ前同様ノ取調ヲ要ス

六 前各項調査ノ結果ヲ別紙形式(略式)ノ表ニ準シ調製シ當省ヘ報告スヘシ

右預ケ入金ハ返納期ニ至リ其返納方遲滯等無之様注意スヘシ
明治三十年五月十八日

大藏大臣 伯爵 松方正義

右ノ命令ニ依リ爲換取組ノ景況ヲ其時々大藏省へ報告セシメ以テ預ケ入レノ目的ニ違ハサルヤ否ヤヲ監督セリ而シテ明治三十年三月二十二日以降同六月十六日迄都合四回ニ預ケ入レラレタル英貨百萬磅ハ翌明治三十一年三月二十一日以降同六月十五日迄都合四回ニ返納セリ又明治三十年五月ニ至リ是迄ニ領收セシ債金ノ回收事業モ一段落ヲ告ケタルヲ以テ交換基金トシテ日本銀行へ交付シ置キタル英貨ノ精算ヲ促シ一旦其殘額ノ返納ヲ命令セラレタリ然ルニ日本銀行ハ之レヲ返納スルニ就テハ更ニ百萬磅ヲ日本銀行へ利付定期預ケトセラレタキ旨申出タリ依テ具申ノ事情ヲ取調タルニ止ムヲ得サルコト、認メタルヲ以テ該申請ヲ聽許セラレタリ今少シク其事由ヲ敘スヘシ
抑モ明治二十八年十月債金ヲ倫敦ニ於テ領收スルコト、ナルヤ之レカ保管出納及ヒ本邦へ回收ヲナサンニハ如何ナル機關ヲ以テ之レニ充テンカノ詮議ヲナセシ際此機關ニハ日本銀行ノ代理店トシテ橫濱正金銀行ヲ使用スルニ若クハナシトノ議ニ決シ同行ヲシテ之レカ任ニ當ラシメラレタリ之レ債金回收ノ事業ヲ利用シ本邦金融機關ノ海外爲替ヲ擴張シ我貿易上ノ利便ヲ發達セシメントセラレシニ基因スルモノナリ而シテ巨額ノ金員ヲ本邦ニ回收セシムルニハ橫濱正金銀行各地ノ支店ヲ擴張セシメ或ハ倫敦トノ直接爲替ヲナシ或ハ米國又ハ印度地方等トノ間接爲替ニ依ルノ必要アリ又金銀塊ヲ購收スルニ方リテモ獨リ倫敦市場ニ於テスルノミナラス米ノ金銀

明治三十年五月十八日

明治三十年五月十八日

塊濠ノ金塊清ノ金銀塊等ヲ買入スルノ道ヲ開カサルヲ得ス故ニ此等債金ノ回收ニ敏活ノ働作ヲナサントスルニハ隨テ各地ノ同行支店ニ相當ノ資本金ヲ設備セシムルノ必要アリタルヲ以テ當時橫濱正金銀行倫敦支店常備ノ資金凡七十萬磅ヲ各地支店ノ資本金ニ分配セシメ倫敦支店ノ爲替拂ハ債金ノ内ヨリ爲替基トシテ交付セシ英貨ヲ以テ直ニ仕拂ヲナシムルノ方法ヲ設ケラレタリ然ルニ明治三十年五月迄ニ領收セシ債金ノ回收事業モ一時段落ヲ告ケタル上ハ倫敦ニ於テ爲替元渡英貨ヲ依然交付シ置クノ必要ナキニ至リタルヲ以テ之レカ返納ヲ命令セラレシモ右事情ナルヲ以テ之レヲ返納スルトキハ勢ヒ橫濱正金銀行ハ曩ニ各地支店へ分配セシ資金ヲ倫敦ニ集中セサルヲ得サルコト、ナリ其結果各地支店ノ事務ヲ縮少スルニ至ルヘシ左ナキタニ海外ニ存在スル我金融機關ハ其基礎薄弱ニシテ萎靡不振ノ境遇ニアルモノナルニ一旦擴張セシ事業ヲ縮少スルハ海外貿易上策ノ得タルモノニアラサルナリ於是橫濱正金銀行カ他日増資ヲナス迄ノ内當分倫敦ニ於テ英貨百萬磅ヲ利付定期預ケニセラレタシトノ懇請ハ種々取調ノ末不得止事情ト認メ之レヲ聽許シ爲替基渡殘額ハ一旦上納セシメタル上更ニ百萬磅ヲ一箇年ノ定期ヲ以テ年利一分ヲ徵シ明治三十年七月八日正金銀行へ貸與ノ爲メ日本銀行へ預ケ入ル、コト、セラレタリ其命令書ハ左ノ如シ

日本銀行

一英貨百萬磅也

右明治三十年六月二十九日文祕第一九〇號申請ノ趣聞屆明治二十七年法律第十六號ニ依リ一

箇年間其行へ定期預ケ入候條寄託金ノ内ヨリ受取ルヘシ
 右預ケ入金ニ對スル利子ハ倫敦ニ於テ預入ヲ爲シタル日ヨリ返償ノ日マテ年一步ノ割合ニテ
 英貨ヲ以テ納付スヘシ又本文預ケ入金ハ期日ニ至リ無遲滯倫敦ニ於テ英貨ヲ以テ返償スヘシ
 右預ケ入金ハ倫敦ニ於テ運轉シ其運轉方ハ其目的ヲ誤ラサル様充分ニ注意シ其景況ヲ毎月一
 回當省へ報告スヘシ
 右相達ス

但英貨受取濟ノ上ハ英貨通貨(寄託金拂出ノト)及利子ノ割合等ヲ記載シタル領收證書ヲ金庫
 出納役へ差出スヘシ又本文預ケ入ハ明治三十一年四月一日ニ於テ年度切替ノ手續ヲ爲スヘ
 シ

明治三十年七月二日

大藏大臣 伯爵 松方正義

然ルニ翌明治三十一年三月ニ至リ橫濱正金銀行ニ於テ増資ノ運ニ至ラサルヲ以テ更ニ一箇年間
 延期セラレタキ旨懇請セシヲ以テ更ニ利率ヲ五厘方引上ケ年一分五厘ノ割ニテ更ニ一箇年間即
 テ明治三十二年七月七日迄延期スルコト、セラレ而シテ日本銀行ヨリ同期日ニ至リ倫敦ニ於テ
 之レヲ返納セリ
 又前記預入英貨ニ對スル最初ノ利子ヲ一步トセシハ倫敦市場ノ利子ヲ前一箇年平均セシニ一步
 八厘トナレリ依之一步ヲ政府ニ納メシメ其差ハ橫濱正金銀行ノ利益ト見込ミシナリ
 又明治三十一年五月ニ至リ橫濱正金銀行倫敦支店ニ於テ金融逼迫ノ爲メ爲替資金ニ困却ノ趣ニ

付五十萬磅預ケ入ラレタキ旨日本銀行ヨリ申出タタリ而シテ債金殘額モ此月ヲ以テ一時ニ皆濟
 トナリ軍艦代仕拂基金ノ内餘裕アルモノハ倫敦ニ於テ運用利殖スルノ計畫ヲ立テラレシ際ナリ
 シヲ以テ運用ノ一端トシテ同行ノ申請ヲ聽許シ明治三十一年五月十七日政府カ必要ニ際シ一週
 間ノ豫告ヲ以テ返納命令ヲ發シタルトキハ遲滯ナク上納スヘキ條件ヲ付シ年二分利付ニテ英貨
 五十萬磅ヲ日本銀行へ預ケ入ラレタリ其命令書ハ左ノ如シ
 祕第四九四號

日本銀行

一英貨五十萬磅也

明治三十一年五月十三日付文祕第三八七號申請ノ趣聞屆前記ノ英貨ヲ年利二歩ノ利子ヲ徵シ
 其行へ預ケ入候條英蘭銀行寄託英貨ノ内ヨリ受領スヘシ

又政府カ必要ニ際シ返納ノ命令ヲナシタルトキハ一週間以内ニ無遲滯上納スヘシ
 右令達ス

明治三十一年五月十七日

大藏大臣 伯爵 井上馨

右英貨預入後印度大藏省證券及英國大藏省證券ノ發行アリ將來ノ軍艦代仕拂基金中ノ餘裕金ヲ
 以テ之レ等ニ應募セシ等ノ事情ヨリ明治三十一年八月ニ至リ英蘭銀行寄託英貨僅少トナリタリ
 依テ若シ軍艦代仕拂基金ニ不足ヲ生スル場合ニハ前記預ケ入英貨ヲ必要ニ望ミ返戻寄託金へ返
 納シ軍艦代ノ仕拂基ニ供スヘキ旨日本銀行ニ命令セラレタリ其命令書ハ左ノ如シ

秘第一〇二七號

日本銀行

明治三十一年五月十七日付秘第四九四號達ヲ以テ英貨五十萬磅ヲ其行へ預ケ入置候處各省經費等仕拂ニ際シ英蘭銀行寄託英貨ニテ不足相生シ候場合ニハ其都度該不足額ニ相當スル英貨ヲ右預ケ入ノ分ヨリ返納シ經費等ノ仕拂ニ充テ差支無之様取計フヘシ
右令達ス

明治三十一年九月二日

大藏大臣 松田正久

右ノ命令ニ依リ明治三十一年九月三十日以降同十月二十日迄都合三回ニ五十萬磅ヲ返納セリ
横濱正金銀行ハ其倫敦支店ニ於テ前記五十萬磅ノ預金ヲ倫敦市場ニ放下シ爲メニ同行ノ信用大ニ加ハリタルヲ以テ此際更ニ取引ヲ増加シ業務ヲ擴張スルハ頗ル時機ニ適スルモノト認ムルカ
故ニ政府ニ於テ必要ノ際ハ一週間ノ豫告ヲ以テ何時ニテモ返納スヘキ條件ヲ付シ更ニ英貨六十萬磅ヲ年利一步五厘ノ割ニテ預入ラレタキ旨明治三十二年二月九日日本銀行ヲ經テ出願セリ依テ寄託英貨ノ現狀ヲ調査セシニ明治三十二年二三ノ兩月間海外仕拂豫算額ヲ控除スルモ尙ホ百餘萬磅ハ四月上旬迄餘裕アル計算ナリシヲ以テ右出願ヲ容ルルモ仕拂基ニ支障ヲ生スルノ虞ナキモノト認メ之レヲ聽許シ左ノ如ク日本銀行へ命令セラレタリ

秘第一四三號

日本銀行

一英貨六十萬磅也

明治三十二年二月九日文祕第四八一號申請ノ趣聞届前記ノ英貨ヲ年一步五厘ノ利子ヲ徴シ其行へ預入候條英蘭銀行寄託英貨ノ内ヨリ受領スヘシ
又政府カ必要ニ際シ返納ノ命令ヲナシタルトキハ一週間以内ニ無遲滯上納スヘシ

明治三十二年二月十三日

大藏大臣 伯爵 松方正義

越ヘテ翌三月二十三日ニ至リ前項ト同一ノ事由ヲ具シ同一ノ條件ニテ更ニ五十萬磅預入セラレ度旨日本銀行ヨリ申出タリ而シテ當時ニ於ケル寄託英貨ノ現狀ヲ見ルニ二三兩月ノ海外拂經費ノ支拂濟高ハ其豫算額ニ達セスシテ三月末ニ於ケル殘高ハ約百三十五萬餘磅トナルヘキ豫算ナリシヲ以テ更ニ五十萬磅ヲ預入スルコトトシ左ノ如ク命令セラレタリ

秘第二八九號

日本銀行

一英貨五十萬磅也

明治三十二年三月二十三日文祕第四八六號申請ノ趣聞届前記ノ英貨ヲ年一步五厘ノ利子ヲ徴シ其行へ預ケ入候條英蘭銀行寄託英貨ノ内ヨリ受領スヘシ
又政府カ必要ニ際シ返納ノ命令ヲナシタルトキハ一週間以内ニ無遲滯上納スヘシ

明治三十二年三月二十四日

大藏大臣 伯爵 松方正義

然ルニ明治三十二年四月ニ入り多額ノ軍艦代ノ仕拂命令發行アリ同月十日迄ニ約七十七萬磅ニ達シ仕拂基金大ニ減少セシヲ以テ同十二日前記預金ノ内二十萬磅ヲ返納スヘク命令セラレタリ
祕第三五二號

日本銀行

一英貨二十萬磅也

明治三十二年三月二十四日祕第二八九號達ヲ以テ英貨五十萬磅ヲ其行ヘ預ケ入置候内前記ノ通返納方取計フヘシ

明治三十二年四月十二日

大藏大臣 伯爵 松方正義

前記ノ命令アリタル後軍艦代ノ仕拂多額ニ上リ英蘭銀行寄託英貨減少シテ仕拂基ニ不足ヲ告クルニ至リタルヲ以テ明治三十二年四月十八日左ノ如ク豫令シ海外拂基金ニ不足ヲ生ヌル場合ニハ必要額ヲ通知預金中ヨリ返納セシムルコトセラレタリ
祕第三七〇號

日本銀行

一週間通知預金英貨百十萬磅ノ内英貨二十萬磅返納濟ニ付殘高九十萬磅ニ候處各省經費仕拂ニ際シ英蘭銀行寄託英貨ニテ不足相生シ候場合ニハ其都度必要ノ額ヲ右預ケ入殘高ヨリ返納シ經費仕拂上差支無之様取計フヘシ
右令達ス

明治三十二年四月十八日

大藏大臣 伯爵 松方正義

前記二個ノ命令ニ據リ明治三十二年四月十二日以降同年七月一日迄ニ都合五回ニ英貨八十萬磅ヲ返納セリ

又曩ニ購入セル英國大藏省證券八十四萬千磅ハ明治三十二年七月六日ヲ以テ償還アリ且同十一日我四分利英貨公債募集金ノ内百萬磅ヲ債金部ニ於テ引受ケ爲換トナシタルヲ以テ債金部ノ寄託英貨ハ百九十萬餘磅ニ増加セル折柄倫敦市場金融逼迫ニツキ英貨三十萬磅ヲ年利二歩ニテ一週間通知預金トセラレタキ旨明治三十二年七月十五日日本銀行ヨリ申出テタリ依テ之レヲ聽許シ左ノ如ク命令セラレタリ

祕第七一七號

日本銀行

一英貨三十萬磅也

明治三十二年七月十五日文祕第五〇四號申請ノ趣聞屆前記ノ英貨ヲ年二歩ノ利子ヲ徴シ其行ヘ預入候條英蘭銀行寄託英貨ノ内ヨリ受領スヘシ

又政府カ必要ニ際シ返納ノ命令ヲナシタルトキハ一週間以内ニ無遲滯上納スヘシ

明治三十二年七月十七日

大藏大臣 伯爵 松方正義

右ノ如ク命令シ三十萬磅預ケ入ラレタル後我四分利英貨公債募集金ノ收入アリテ其英貨ヲ償

金部ニ於テ引受ケタルモノアリ爲メニ債金ノ寄託英貨ニ餘裕アリシヲ以テ明治三十二年九月二日日本銀行ヨリ前同ト同一ノ理由ヲ以テ申請セシ五十萬磅ノ預入ヲ聽許セラレタリ其命令書ハ左ノ如シ

秘第八四〇號

日本銀行

一英貨五十萬磅也

九月二日附文秘第五〇七號申請ノ趣聞届前記ノ英貨ヲ年二歩ノ利子ヲ徴シ其行ヘ預入候條英蘭銀行寄託英貨ノ内ヨリ受領スヘシ

又政府カ必要ニ際シ返納ノ命令ヲナシタルトキハ一週間以内ニ無遲滯上納スヘシ

明治三十二年九月四日

大藏大臣 伯爵 松方正義

右ノ命令ニ依リ明治三十二年九月五日英貨ノ預入手續ヲ了シ同日ニ於ケル日本銀行ヘ一週間通知預ケ金ノ現在ハ百十萬磅トナレリ而シテ爾後軍艦代ノ仕拂アリ債金部寄託英貨僅少トナリ同月末ニハ該預金ノ返戻ヲ日本銀行ニ命令セサレハ海外仕拂基金ニ差支ヲ生スル場合トナレリ然ルニ當時倫敦ニ於テ募集ノ我四分利英貨債ノ拂込金ノ收入アリ公債特別會計ニ英貨ノ餘裕ヲ生シタルヲ以テ債金特別會計ヨリ預ケ入タル前記百十萬磅ハ公債特別會計部ヘ振替ヘ公債部ヨリ預ケ入タルコトトナシ明治三十二年九月二十一日金庫ヘ振替勘定ノ記帳ヲ命令セラレタリ先是明治三十一年度ニ於ケル内地金融市場ハ前年以來ノ逼迫ヲ持續シ其他帝國議會ノ解散等ノ

事情ヨリ豫定ノ公債ヲ市場ニ募集スル能ハス一般財政計畫ノ遂行上止ムヲ得ス公債支辨ノ費途ニ對シ一時債金ヲ繰替支出スルノ必要ヲ生シ之レニ關スル法律案ヲ帝國議會ニ提出シ其協賛ヲ經テ明治三十二年二月法律第八號及同第九號ヲ以テ其公布ヲ見ルニ至レリ之レニ依リテ明治三十一年度事業及鐵道公債ヲ以テ支辨スヘキ費途ニ對シ債金特別會計ヨリ七千六十五萬餘圓ヲ繰替支出スルコトトナシ明治三十二年十二月迄ニ既ニ四千二百餘萬圓ヲ繰替支出セラレタリ然ルニ倫敦ニ於テ募集ノ四分利英貨債ノ募集金ハ明治三十二年十一月ヲ以テ全部拂込済トナリ該公債特別會計ニ於テ餘裕金ヲ生シタルヲ以テ法規ノ命スル所ニ據リ明治三十二年十二月二十七日繰替支出金ノ内千七百八十八萬餘圓ハ通貨ヲ以テ殘額ハ英貨二百五十萬磅ヲ以テ返償ヲ受ケタリ而シテ該英貨ノ内二百十萬磅ハ既ニ日本銀行ヘ一週間通知預金トナリ四十萬磅ハ英蘭銀行ヘ寄託セラレ居ルモノナルヲ以テ其儘公債特別會計ヨリ債金特別會計ヘ移替ノ記帳ヲ爲シタリ從テ當時ニ於テ債金特別會計ヨリ日本銀行ヘ二百十萬磅ノ一週間通知預金ヲ爲シタルコトトナレリ

爾後軍艦代ノ仕拂ヲ爲シタル爲メ英蘭銀行寄託英貨減少シ海外仕拂基金ニ差支ヲ生スルニ至リタルヲ以テ明治三十二年十二月二十八日左記ノ命令ヲ發セラレタリ

秘第一二三五號

日本銀行

一英貨十五萬磅

右ハ年利一步五厘ヲ以テ其行ヘ預ケ入置候英貨ノ内ヨリ此際返納方取計フヘシ

明治三十二年十二月二十八日

大藏大臣 伯爵 松方正義

右ノ命令ニ依リ同月三十日英貨十五萬磅ヲ返納セシカ超ヘテ翌明治三十三年一月末ニ至リ尙ホ仕拂基金僅少トナリタルヲ以テ更ニ左記ノ如ク命令セラレタリ

祕第五八號

日本銀行

一英貨十五萬磅

右ハ年利一步五厘ヲ以テ其行へ預ケ入置候英貨ノ内ヨリ此際返納方取計フヘシ又今後海軍省經費仕拂ニ際シ英蘭銀行寄託英貨ニテ不足相立チ候場合ニハ其都度必要ノ額ヲ其行へ預ケ入置候通知預金ノ内ヨリ順次返納シ經費仕拂上差支無之様取計フヘシ

明治三十三年一月二十六日

大藏大臣 伯爵 松方正義

右ノ命令ニ依リ明治三十三年一月二十五日五萬磅同二十七日十萬磅ヲ返納セリ而シテ前記命令ヲ以テ爾後海外ノ仕拂ニ際シ基金ニ差支ヲ生スル場合ニ於テ必要ノ員額ヲ返納セシムルコトニ豫令セラレタリト雖モ先是明治三十二年十一月十五日倫敦ニ於テ應募ノ英國大藏省證券百萬磅アリ明治三十三年二月二十一日以降同三月末迄ニ額面九十六萬磅ヲ都合八回ニ賣却セラレ寄託英貨ニ餘裕ヲ生シタルヲ以テ明治三十三年三月末迄ニハ此豫令ノ實行ヲ見ルニ至ラスシテ止ミタリ故ニ同末日ニ於ケル一週間通知預金ノ現在高ハ英貨百八十萬磅ナリトス

今當初ヨリ明治三十四年一月一日ニ至ル日本銀行へ預ケ入金ノ出納ヲ別表第三十四號ニ具ス

債金英貨ノ内日本銀行ヘ利付預ケ入計算表

預ケ入年月日	利率	預ケ入高	返納年月日	返納高	現預ケ入高
二十九 十二月二十八日	三分 三〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇		〇	一,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇
三十 三月二十二日	二〇〇	三〇〇,〇〇〇,〇〇〇	三十 一月十二日	一,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇	〇
五月六日	二〇〇	三〇〇,〇〇〇,〇〇〇		〇	三〇〇,〇〇〇,〇〇〇
二十一日	二〇〇	一九〇,〇〇〇,〇〇〇		〇	六〇〇,〇〇〇,〇〇〇
六月十六日	二〇〇	二二〇,〇〇〇,〇〇〇		〇	七九〇,〇〇〇,〇〇〇
七月八日	三十一 年七月八日 三十一 年七月八日 三十一 年七月八日	一,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇		〇	一,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇
計		三,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇		一,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇	二,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇
三十 五月十九日	二〇〇	五〇〇,〇〇〇,〇〇〇	三十 五月五日	三〇〇,〇〇〇,〇〇〇	一,四〇〇,〇〇〇,〇〇〇
			三十 三月二十一日	三〇〇,〇〇〇,〇〇〇	一,七〇〇,〇〇〇,〇〇〇
			五月二十日	一九〇,〇〇〇,〇〇〇	一,九〇〇,〇〇〇,〇〇〇
			六月十五日	二二〇,〇〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇,〇〇〇
			九月三十日	一五〇,〇〇〇,〇〇〇	一,三五〇,〇〇〇,〇〇〇

第三十四號

明治財政史第二卷

同日	利率	預ケ入高	返納年月日	返納高	現預ケ入高
十二月二十七日	二〇〇	五〇〇,〇〇〇,〇〇〇		〇	一,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇
二十五日	二〇〇	五〇〇,〇〇〇,〇〇〇		〇	五〇〇,〇〇〇,〇〇〇
九月五日	二〇〇	五〇〇,〇〇〇,〇〇〇		〇	一,一〇〇,〇〇〇,〇〇〇
七月十八日	二〇〇	三〇〇,〇〇〇,〇〇〇		〇	六〇〇,〇〇〇,〇〇〇
			七月七日	一,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇	三〇〇,〇〇〇,〇〇〇
			七月一日	三〇〇,〇〇〇,〇〇〇	一,三〇〇,〇〇〇,〇〇〇
			六月二日	一〇〇,〇〇〇,〇〇〇	一,六〇〇,〇〇〇,〇〇〇
			五月十八日	一〇〇,〇〇〇,〇〇〇	一,七〇〇,〇〇〇,〇〇〇
			五月三日	一〇〇,〇〇〇,〇〇〇	一,八〇〇,〇〇〇,〇〇〇
			四月十二日	二〇〇,〇〇〇,〇〇〇	一九〇〇,〇〇〇,〇〇〇
三十 三月二十五日	一五〇	五〇〇,〇〇〇,〇〇〇		〇	二,一〇〇,〇〇〇,〇〇〇
三十 二月十四日	一五〇	六〇〇,〇〇〇,〇〇〇		〇	一,六〇〇,〇〇〇,〇〇〇
果 計		三,五〇〇,〇〇〇,〇〇〇		二,五〇〇,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇
計		五〇〇,〇〇〇,〇〇〇		一,五〇〇,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇
			十月二十日	二〇〇,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇
			十月十七日	一五〇,〇〇〇,〇〇〇	一,一〇〇,〇〇〇,〇〇〇

明治財政史第二卷

場合ニハ政府ニ於テ其損失ヲ辨償スヘキ保證ヲ同行ヘ附與スルコト、シ明治三十年九月二十八日閣議決定セリ

然ルニ右ノ決議ニヨリ其實行方ニ著手セシメタルニ組合ニ於テハ現今金融逼迫ニシテ今後尙永續スルトキハ資金ヲ得ルニ難ク且引受契約締結當時ニ比シ諸物價騰貴シ將來ノ維持甚タ困難ナルヘキヲ憂ヒ契約保證金増加ノ申込ヲ機トシ既ニ拂込タル五萬弗ヲ拋棄スルヲ得策ナリトシ其談判ヲ開始セントセリ然ルニ前述ノ如ク一タヒ破談センカ該事業ハ露佛英ノ資本家ノ手中ニ歸スルコト明晰ニシテ東洋ニ於ケル列國ノ關係上我國ニ取リ容易ナラサル事態ヲ醸成スヘキニ付其國際上ノ利害及事業ノ前途多忙ナルコトヲ説明論證シ頻リニ契約履行ヲ組合ニ勸誘スルモ事業完成ノ後既約ノ通り受授ニ際シ金融逼迫今日ノ如クナルニ於テハ會社ヲ組成スルニ當リ株金ノ募集困難ナルヘク又其時ニ至リ組合員各自ニ於テ之レヲ離出スルコト到底ナシ能ハサル等旁此際破約シテ損失ヲ重ネサルニ如カス政府ヨリ幾分ノ保證アルニアラサレハ之ニ應スル念ナク就テハ組合ハ該讓受代米金百萬弗ノ内半額ハ其期ニ至リ組合ニ於テ必ラス離出シ殘額即チ今回正金銀行ヨリ貸與スヘキ金額ハ會社成立ニ至ル迄引續キ同組合ヘ貸付セラレ之ニ對スル利子ハ本事業受授以前ハ「モールス」ニ於テ仕拂フヲ以テ其以後ニ係ル分ハ政府ヨリ補助セラレタキ旨申出テタリ之レ當時ノ金融市場ノ情勢上止ムヲ得サル願意ナルヲ以テ果シテ引受期限ニ臨ミ金融今日ノ如クニシテ會社ヲモ組織スル能ハサルカ又ハ其營業收支相償ハサルカ如キ實況アラハ正金銀行貸與金ハ依然同組合ヘ貸付シ之レニ對スル利子ハ事業損益ノ程度ニ應シ低減若クハ免除スルコト、シ若シ徒ラニ會社組織ヲ遷延スル等ノ事實アルニ於テハ直チニ此補助ヲ撤回ス

ルコト並ニ其他必要條件ハ資金貸付約定中ニ記入スルコトニ明治三十年十月閣議一決セリ
右ハ明治二十七八年戰役ノ結果ニ基因スル京仁鐵道ノコトナルヲ以テ旁以上二回ノ閣議ヲ經テ伯爵松方大藏大臣ハ左ノ如ク伯爵大隈外務大臣ニ協議セラレタリ

朝鮮國京城仁川間鐵道布設ニ關シ資金融通上正金銀行及京仁鐵道引受組合ヨリ出願ニ關シ處分方ノ件

朝鮮國京城仁川間鐵道布設ノ特許ヲ得タル米國人「ゼームス、アール、モールス」ヨリ右鐵道建設落成ノ上ニテ日本人ノ組織セル京仁鐵道引受組合ヘ特許權共賣却ノ儀ハ契約濟ノ處「モールス」ニ於テ鐵道落成マテニ資金差支ノ趣ニテ金百萬圓一時融通ノ儀ヲ申來リ若シ日本人ニ於テ其融通ニ應セサルトキハ「モールス」ニ於テ鐵道引受組合トノ契約ヲ解キ自然他國人ニ於テ該鐵道ノ引受ヲ爲スニ至ルヤモ計ラレス然ルトキハ朝鮮ニ對スル政略上國家ノ不利タルコト少カラス依テ先般來鐵道引受組合及正金銀行ニ資金融通ノ義ヲ勸諭シタルニ右組合及ヒ正金銀行ニ於テモ資金ノ融通ニ差支アルト且ハ少カラサル危險ヲ侵ス儀ニ付別紙(別紙)ノ通り政府ニ向テ相當ノ助力ヲ與ヘラレ度旨願出タリ其要旨左ノ如シ

- 一 正金銀行ノ願意要領ハ正金銀行ハ金百萬圓ヲ「モールス」ニ貸付スヘキニ付萬一「モールス」ニ於テ元利ノ仕拂ヲ怠リタルトキハ政府ニ於テ代テ辨償スルノ保證ヲ與ヘラレ度且資金トシテ官金百萬圓ヲ政府ヨリ正金銀行ニ預入相成度ト云フニアリ
- 一 京仁鐵道引受組合ノ願意要領ハ「モールス」ヨリ鐵道落成ノ上引受ノ際資本ノ募集困難ナル場合ニハ政府ヨリ資金トシテ金百萬圓ヲ該組合ニ貸付相成度ト云フニアリ

右願書ハ今日ニ於テ不得止義ト被存候ニ付相當ノ條件ヲ付シ願意ヲ採用シ朝鮮ニ對スル國家ノ利益ヲ保全セントス而シテ憲法第六十二條ニ依レハ豫算外ニ於テ國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ成スニハ議會ノ協贊ヲ要スル義ナルモ事國家ノ大勢ニ關シ處分最モ急ヲ要スルヲ以テ政府ハ自ら責任ヲ取テ豫約ヲ爲シ事實國家ノ負擔トナルヘキ場合ニ臨ミ議會ニ提出スルノ手續ヲ爲サントス正金銀行及京仁鐵道引受組合ニ對スル指令案ヲ具シ茲ニ及御協議候也

明治三十年十月二十八日

大藏大臣 伯爵 松方正義

外務大臣 伯爵 大隈重信殿

追テ政府ヨリ正金銀行へ預金百萬圓ハ京仁鐵道ノ事タル素ト二十七八年ノ戰役ノ結果ニ基クヲ以テ勞債金ノ内ヨリ預入ヲ爲シ返納ノ上債金ニ戻入ヲ爲サントス此旨添申ス

(別紙)

指令案

橫濱正金銀行

明治三十年十月二十五日付出願「ゼームス、アール、モールス」ニ貸付スヘキ資金トシテ百萬圓預入レノ件認可ス

但萬一「モールス」ニ於テ元利金返済ヲ怠リ候爲メ自然其行ニ損失ヲ生シ候節ハ政府ニ於テ辨償ノ保證ニ相立テ候義ト心得ヘシ

年月日

外務大臣
大藏大臣

追テ其行ニ於テ「ゼームス、アール、モールス」ト締約スル所ノ貸借契約書ハ案ヲ具シテ更ニ認可ヲ請フヘシ

(別紙)

指令案

京仁鐵道引受組合

明治三十年十月二十一日付ヲ以テ京城仁川間鐵道建設落成ノ上米國人「ゼームス、アール、モールス」ヨリ其組合ニ引渡ヲ爲ス場合ニ於テ資金差支ノ節政府ヨリ金百萬圓貸付ニ關シ顯出ノ件ハ左ノ通り心得ヘシ

- 一 政府ヨリ貸付スヘキ金額ハ一百万圓ヲ限リトス
- 一 鐵道運輸ノ益金一箇年五萬圓ニ達セサルトキハ貸付金利子ハ無利子トシ一箇年五萬圓ヲ超過スルトキハ其超過額ハ利子トシテ政府ニ納ムヘシ但利子ノ歩合ハ年五分ニ止メ其以上ハ組合ノ所得トスヘシ
- 一 利子ハ一箇年ヲ二期ニ分テ政府ニ納ムヘシ
- 一 貸付金ニ對シテ鐵道全部ノ財産ヲ抵當トスヘシ但政府ノ許可ナクシテ他ニ二重ニ抵當トスルヲ得ス
- 一 組合ハ政府ノ許可ナクシテ他ヨリ借入金ヲ爲スヲ得ス

- 一 組合ハ速ニ會社ヲ組織シナルヘク速ニ元金ヲ返納スルコトニ盡力スヘシ
- 但シ貸付ノ日ヨリ滿五箇年以内ニハ必ス返納スヘシ
- 一 今般ゼームス、アール、モールスヨリ鐵道落成マテ資金ノ融通ニ差支ヲ生シ右資金百萬圓
融通ノ儀ヲ正金銀行ニ申出タルニ付該銀行ハ國家ノ利益ヲ慮リ融通ヲ承諾セリ就テハ
正金銀行ノゼームス、アール、モールスニ對スル債權ヲ安全ナラシムル爲メ同行ヨリ其組
合ニ監督ヲ依頼スルトキハ充分誠實ニ盡力スヘシ
- 一 組合ニ於テ事業ヲ廢スル場合ニ於テ政府ニ對スル責任ハ鐵道全部ノ財産以外ニ及ハサ
ルモノトス

但組合ニ於テ此命令書ノ條項ニ違背スルトキハ此限リニアラス

年 月 日

外務大臣
大藏大臣

右大藏大臣ヨリ協議セラレタル横濱正金銀行及ヒ京仁鐵道引受組合ヘノ指令案ハ外務大臣ニ於
テ同意セラレタルヲ以テ明治三十年十月二十八日正金銀行ヘ「モールス」ヘ貸與スヘキ資金百萬圓
預ケ入ヲ認可シ「モールス」ニ於テ元利金ノ返済ヲ怠リ同行カ損害ヲ蒙ムルニ至ラハ政府ハ辨償ノ
保證ニ立ツコト、シ「モールス」ト締結スル貸借契約書ハ更ニ認可ヲ請フヘキ旨命令セラレタリ而
シテ横濱正金銀行ハ同十一月一日「モールス」トノ貸借ニ關スル英文契約書案ヲ具シ認可ヲ申請セ
シヲ以テ直ニ之レヲ認可セラレタリ

又京仁鐵道引受組合ヘモ同日該鐵道落成ノ上「モールス」ヨリ引受クルニ當リ萬一資金差支ノ場合
ニ於テ政府ヨリ貸付スヘキ金額ハ百萬圓以内タルコト之レニ對シ鐵道全部ノ財産ヲ抵當トシ且
政府ノ許可ナクシテ他ヘ二重抵當トスルヲ得サルコト其利率ハ年五分トシ一箇年ノ收益五萬圓
以内ノトキハ之レヲ免除シ之レヨリ超過スルトキハ其額ヲ利子トシテ上納スルコト、政府ノ許可
ナクシテ他借スルヲ得サルコト、返済期限ヲ五年以内トシ可成速ニ返納ヲ計ルコト、正金銀行ノ「モ
ールス」ニ對スル債權ヲ安全ナラシムル爲メ同行ヨリ監督ヲ依頼スルトキハ誠實ニ盡力スヘキコ
ト、組合ノ政府ニ對スル責任ハ鐵道全部ノ財産ニ限ルコト等ノ條件ヲ付シ其願意ヲ聽許シ前記案
ノ如ク命令セラレタリ

右ノ指令ニ基キ横濱正金銀行ハ明治三十年十一月八日金百萬圓預ケ入レノ儀ニ關シ左ノ如キ願
書ヲ提出セリ

豫テ御認可ヲ經候約定案ノ通本日京仁鐵道布設者ゼームス、アール、モールスト締約仕候ニ付右
約定貸付ノ資金一百萬圓也直ニ御預ケ入被成下候様仕度此段奉願候也

追テ本文御預ケ入ノ資金ハ「モールス」ヨリ返済次第年二歩ノ利子相添ヘ返納可仕候間此段併
セテ上申仕候也

明治三十年十一月八日

外務大臣男爵西德二郎殿
大藏大臣伯爵松方正義殿

横濱正金銀行頭取
相馬永胤

右ノ願書ニ對シ同十二日左ノ如ク令達セラレタリ
祕第一三八九號

橫濱正金銀行

一金百萬圓也

此換算英貨十萬千五百六十二磅十志(換算相場一圓ニ付二志〇片八分一圓ニ付三志)

十一月八日附請求ニ依リ右金額其行へ交付候條一圓ニ付二志〇片八分ノ三ノ割ヲ以テ換算シタル右英貨ヲ以テ日本銀行倫敦代理店ヨリ受領スヘシ

但英貨受取濟ノ上ハ別紙雛形ニ依リ預リ證書ヲ日本銀行へ差出スヘシ

明治三十一年十一月十二日

大藏大臣 伯爵 松方正義

別紙預リ證書雛形

印紙 預リ證書

一金百萬圓也

此換算英貨十萬千五百六十二磅十志(換算相場一圓ニ付二志〇片八分一圓ニ付三志)

右金額本年十月二十八日官房祕第一三二五號ヲ以テ認可セラレタル趣旨ニヨリ御預ケ入レ

ニ相成正ニ領收致候右返納ノ際ハ一箇年二歩ノ利子ヲ添ヘ元利共金圓ヲ以テ上納可致候御

預リ證書如件

年 月 日

大藏大臣宛

橫濱正金銀行

又同日日本銀行へ對シ橫濱正金銀行へ預ケ入ルヘキ英貨拂出ニ關シ左ノ如ク令達セリ

祕第一三八八號

日本銀行

一金百萬圓也

此換算英貨十萬千五百六十二磅十志(換算相場一圓ニ付二志〇片八分一圓ニ付三志)

右金額ヲ年二歩ノ利子ヲ徵シ橫濱正金銀行へ預ケ入候條預リ證引換ニ右換算英貨額ヲ寄託金

ノ内ヨリ同行へ交付スヘキコトヲ其行倫敦代理店へ電報スヘシ

但交付濟電報ヲ得タルトキハ當省へ届出ヘシ

明治三十年十一月十二日

大藏大臣 伯爵 松方正義

前記ノ如ク命令アツタルヲ以テ明治三十年十一月十三日倫敦ニ於テ該英貨ヲ受領シ命示ノ雛形ニ從ヒ預リ證書日本銀行へ提出シタル旨届出タリ其届書ハ左ノ如シ

本月十二日附官房祕第一三八九號ヲ以テ豫テ本月八日付ヲ以テ願出候御預ケ入レ金百萬圓也

之儀ハ一圓ニ付二志〇片八分ノ三ノ割ヲ以テ換算シタル英貨十萬千五百六十二磅十志ヲ以テ

日本銀行倫敦代理店ヨリ受領可仕旨御指令ノ趣敬承仕候右ハ去ル十三日受領濟ノ旨本行倫敦

支店ヨリ電報到達仕候ニ付右ニ對スル預リ證書ハ御指示ノ雛形ニ依リ本日日本銀行へ差出置

申候右御請旁上申仕候此ノ如ニ御座候也

明治三十年十一月十五日

大藏大臣伯爵松方正義殿

横濱正金銀行頭取

相馬永胤

前記ノ手續ヲ經テ横濱正金銀行ヨリ「モールス」ニ金百萬圓ヲ貸與セリ然ルニ爾後工事ノ進行スルニ從ヒ京仁鐵道引受組合ハ「モールス」ト協議ノ上設計ノ變更ヲ爲シタル爲メ「モールス」ハ組合ニ對シ種々難題ヲ申込ミ其極遂ニ明治三十一年三月五日ニ至リ「モールス」ハ該鐵道ヲ佛國シンジゲト代表者グリールニ於テ日本ノ組合トノ契約代金ニ優ル價格ヲ以テ買受ケ度旨申込ヲ受ケタルヲ以テ之レニ應シ度旨引受組合ニ申込ミタリ因テ該引受組合ハ右ノ申込ヲ時ノ總理大臣伊藤侯爵ニ上申セシニ伊藤總理大臣ハ右賣却ハ見合セシムヘキ様取計フヘキ旨組合ニ内達セラレシヲ以テ組合ハ「モールス」ニ對シ再三談判スル所アリ其結果「モールス」ヨリ工事遅延ニ關スル損害賠償ノ要求及變更ニ組合ヨリ請求シタル工事改更ノ拒絕ヲ申出テタリ加フルニ一方ニ於テ該組合員中當初ノ規約ヲ履行スル能ハスシテ除名ヲ申出タルモノアリ到底最初ノ豫算ニテ目的ヲ達スル能ハサル事情ニ立至リタルヲ以テ政府ニ於テ左記ノ條項ニ依リ貸下金相成度旨引受組合ヨリ明治三十一年四月十一日付ヲ以テ申出テタリ其要項ハ左ノ如シ

- 一 鐵道受渡ノ際更ニ金八十萬圓ヲ限リ當組合ヘ貸下ノ儀豫メ命約アリタキ事
- 一 右金員ハ無利息無期限ニテ貸與ノ事
- 一 後日ニ至リ株式會社設立ノ運ニ立至レハ該當ノ株式代金ヲ以テ右金員ハ速ニ返納スル事

右出願ハ政府ニ於テモ不得止事情ナリト爲シ種々詮議セラレ、所アリシカ同年十月三十一日ニ至リ京仁鐵道引受組合ハ再ヒ左ノ如キ願書ヲ提出セリ

御貸下金御下付ノ義ニ付願

當組合ヘ資金御貸下ノ義ニ付テハ昨年十月二十一日附及ヒ本年四月十一日附請願書御採納被下金百八十萬圓ヲ鐵道完成ノ上米國人「モールス」氏ヨリ引受ノ際御貸下可被成下御聞濟相成居候處兼テ申上候如ク當初「モールス」氏ト契約締結ノ際ハ事情切迫一刻ヲ爭フノ場合ニシテ鐵道工事設計明細書ヲ確定スルノ暇無之不得已設計ハ其大體ヲ定ムルニ留メ細目ニ至テハ技術上當然ノ理論ニ準據シテ建設セシムルコトニ取極メ申候ニ付爾來當組合ヨリ派出セシ監督技師ト「モールス」氏請負人トノ間ニ仕様上時々見解ヲ異ニシ延テ當組合ト「モールス」氏トノ間ニ紛議續出殆ト底止スル所ヲ知ラス進ンテ當組合ノ主旨ヲ貫カンカ改良ニ要スル増費終ニ際限ナク到底當組合ノ堪ヘ得ル所ニアラス退テ彼ノ意見ニ屈從センカ當組合ノ損害殆ト慮ルヘカラサマルノミナラス工事不完全ノ鐵道ト相成殆ト運輸ノ安全ヲ期シ難ク當組合ノ進退殆ント惟レ谷突紛議ハ相互ノ不利益ト信スルニ付寧ロ此際半落成ノ儘相當代價ヲ以テ受渡ヲ決行致度而シテ該鐵道ニ關スル特權ノ讓渡ニ關シテハ些カノ故障無之様自ラ責任ヲ負フテ之ヲ處理スヘシトノ申出有之候依テ當組合ニ於テ協議ヲ凝ラシ全員一致ヲ以テ之ニ應スルヲ可トスルコトニ決議致シ直ニ大隈外務大臣閣下ニ陳上致候處御同意ノ旨御内示有之候ニ付即チ當組合ハ一方ニ於テハ該相當代價ノ程度取調ノ爲メ特派員ヲ韓國ニ差遣シ一方ニ於テハ進ンテ「モールス」氏

ト右提議ニ關スル交渉致居候場合ニ御座候然ルニ右ノ如ク此提議ニ應スルニハ是非共即時鐵道代金ノ仕拂ニ差支無之様準備ヲ要シ候ニ付曩ニ御開濟相成居候資金百八十萬圓ヲ此際御下付被成下度候實ニ當組合目下ノ境遇ハ右資金ヲ得ルノ途無之候ハ、到底モールス氏ノ提議ニ對シ交渉ヲ進ムルコト能ハス其結果終ニ從來辛苦經營セシ國家的事業ヲ放棄シ去リ所謂九尋ノ功ヲ一篋ニ缺クノ窮境ニ陥リ可申場合ニ差迫リ候間事情御酌量被下特別ノ御詮議ヲ以テ御貸下ノ日時繰上ノコト御聞届被成下度此段奉願候也

明治三十一年十月三十一日

京仁鐵道引受組合

委員 澁澤榮一

委員 益田孝

代中上川彦次郎

委員 瓜生震

代岩崎久彌

外務大臣伯爵大隈重信殿

大藏大臣 松田正久殿

前記願書ニ據レハ組合ニ對シ政府ハ既ニ百八十萬圓貸下ノ許可ヲ與ヘラレタルモノ、如シ然ルニ曩ニ記スル如ク百萬圓ハ明治三十年十月二十八日貸下ノ許可ヲ與ヘラレ既ニ該金額ハ交付セラレタルモノナリト雖モ八十萬圓ニツキテハ未タ許可セラレサルモノナルヲ以テ之ヲ組合ノ一

員タル前島密ニ質問セシニ當時伊藤總理大臣ヨリ口頭ニテ差許スヘシトノ命アリ續テ次ノ内閣總理大臣大隈伯ヨリモ同様ノ命アリシヲ以テ斯クノ如ク記シタリト答ヘタリ然レトモ貸下ノ許可ヲ與ヘラル、ニハ當該機關ヲ經且適法ノ方式ヲ具備セサルヘカラス單ニ口頭ニテ差許サルヘキモノナリト話サレタル如キハ許可アリタルモノト謂フ能ハサルヲ以テ指令セラル、ニ際シテハ訂正セシムヘキモノトセラレタリ

右ノ願旨ハ止ムヲ得サル事ナルヲ以テ政府ニ於テモ之レヲ聽許シ既ニ債金部ヨリ貸付セラレタル百萬圓ハ一旦返納セシメ百八十萬圓ヲ債金ヨリ一般會計ヘ繰入シ更ニ一般會計ヨリ京仁鐵道引受組合ヘ貸與スルコト、セラレ明治三十一年十二月十三日明治三十一年度追加豫算トシテ之ヲ閣議ニ提出セラレタリ而シテ該組合ヘ貸付金ヲ交付スルニツキ明治三十一年十二月二十三日外務大藏遞信三大臣連署ニテ左案ヲ閣議ニ提出セラレタリ

一 貸付金ニ對スル命令書ハ別紙ノ通り定ムルコト

一 前記命令書ノ條項ニ依リ組合監督ノ事務ハ遞信省ニ於テ管理スルコト

一 京仁鐵道監督ニ關スル一切ノ事項ヲ商議セシムル爲メ商議員三名ヲ置キ遞信省ニ附屬セシムルコト

一 商議員ハ外務省大藏省遞信省高等官ノ内ヨリ各一名ヲ命スルコト

一 第二項第三項第四項ハ適當ノ方式ニヨリ内閣ヨリ遞信省ニ達スルコト

明治三十一年十二月二十三日

外務大臣 子爵 青木周藏
大藏大臣 伯爵 松方正義
遞信大臣 子爵 芳川顯正

内閣總理大臣 侯爵 山縣有朋殿

(別紙)

京仁鐵道引受組合ニ金百八十萬圓貸付ニ付命令案

本年十月三十一日共組合ノ願書ニ對シ今般其組合ニ金百八十萬圓ヲ貸付スヘキニ付テハ左ノ通り相心得ヘシ

- 一 政府ヨリ貸付クヘキ金額ハ一百八十萬圓トス
- 二 前項金額百八十萬圓ノ内韓國政府ヨリ其組合ニ於テ金八十萬圓ノ貸付ヲ受クルトキハ該金額ニ相當スル額ヲ直ニ返納スヘシ其内渡ヲ受ケタルトキ亦同シ
- 三 鐵道運輸ノ益金一箇年組合員出資額ノ百分ノ五ノ割合ニ達セサルトキハ貸付金利息ハ無利息トシ一箇年百分ノ五ノ割合ヲ超過スルトキハ其超過額ハ利息トシテ政府ニ納ムヘシ但利息ノ歩合ハ年五分ニ止メ其以上ハ組合ノ所有トスヘシ
- 四 利息ハ一箇年ヲ二期ニ分テ政府ニ納付スヘシ
- 五 貸付金ニ對シテハ鐵道全部ノ財産ヲ抵當トスヘシ但政府ノ許可ナクシテ他ニ二重ニ抵當スルコトヲ得ス
- 六 組合ハ政府ノ許可ナクシテ他ヨリ借入金ヲ爲スコトヲ得ス

- 七 組合ハ速ニ會社ヲ組織シテ成ルヘク速ニ元金ヲ返納スルコトニ盡力スヘシ但貸付ノ日ヨリ滿五箇年以内ニハ必ス返納スヘシ若シ五箇年以内ニ會社組織成ラスシテ返納ナシ難キトキハ其事情ニヨリ更ニ詮議スルコトアルヘシ
- 八 組合ニ於テ事業ヲ廢スル場合ニ於テハ政府ニ對スル責任ハ鐵道全部ノ財産以外ニ及ハサルモノトス但組合ニ於テ此命令ニ違背スルトキハ此限ニ非ス
- 九 政府ハ其債權ヲ安全ナラシムル爲メ組合ノ施行スル鐵道工事並營業ノ實況ヲ臨檢シテ必要ナル施設ヲ命スルコトアルヘシ
- 十 政府ハ組合ノ帳簿ヲ檢査シ又ハ必要ト認ムル報告ヲ徵スルコトアルヘシ
- 十一 組合カ韓國政府ヨリ金八十萬圓ノ貸付ヲ受クルトキハ第三項乃至第六項及第八項乃至第十項ニツキテハ帝國政府ト同様ナル條件ヲ以テ日韓兩國政府ヲ連帶權利者トシ義務ヲ負フヘシ但韓國政府ニ對シテハ貸付ヲ受ケタル日ヨリ滿五箇年ヲ經過スルトキハ其貸付金ニツキ一箇年五分ノ利息ヲ仕拂フヘシ若シ五分ノ利息仕拂ヒ難キトキハ事情ニヨリ更ニ詮議スルコトアルヘシ
- 十二 組合ニ於テ韓國政府ヨリ貸付ヲ受ケタル後鐵道營業ノ爲メ株式會社ヲ設立スルトキハ韓國政府貸付金八十萬圓ニ相當スル該會社ノ株券ヲ韓國政府若クハ其指名者ニ交付シ爾後同政府トノ關係ハ純然タル株式會社ト其株主間ノ關係ニ歸著スヘキコトタルヘシ
- 十三 第十一項第十二項ハ組合ト韓國政府ノ契約ニ依リ確定スヘシ右契約ハ締結前豫メ

政府ノ認可ヲ受クヘシ其變更ヲ要スルトキ亦同シ

十四 組合ハ本命令ニ對スル請書ト共ニ組合人名組合約款鐵道全部ノ財産目錄並圖面ヲ差出シ政府ノ認可ヲ受クヘシ爾後變更ヲ要スルトキ亦同シ

十五 組合カ此命令ニ違背スルトキハ政府ハ直ニ貸付金ノ返納ヲ命スヘシ
本命令ノ旨趣承諾ノ上ハ請書差出スヘシ

年 月 日

外務大臣 子爵 青木 周 藏
大藏大臣 伯爵 松 方 正 義
逓信大臣 子爵 芳 川 顯 正

右閣議案ハ明治三十二年一月十四日閣議決定シ且該貸付金ノ豫算公布アリタルヲ以テ前記案ノ如キ命令書ヲ添付シ左記ノ如ク京仁鐵道引受組合へ命令セラレタリ

京仁鐵道引受組合

委員 澁澤 榮 一
委員 益 田 孝
委員 瓜 生 震

明治三十一年十月三十一日願出ノ趣聞屆ケ其組合へ金百八十萬圓貸付スヘクニ付別紙命令書ノ通相心得ヘシ

明治三十二年一月二十四日

右命令ニ對シ明治三十二年一月二十五日組合ヨリ請書ヲ提出シタルヲ以テ同二十七日横濱正金銀行へ左ノ如ク命令セラレタリ

秘第八五號

横濱正金銀行

京仁鐵道ニ關シ其行へ預ケ入レタル金百萬圓ハゼームス、アール、モールスヨリ返金次第直チニ日本銀行へ返納スヘシ

明治三十二年一月二十七日

大藏大臣 伯爵 松 方 正 義

右ニツキ同日日本銀行へ左ノ如ク命令シ金庫へモ同様日本銀行ヨリ百萬圓納入セシトキハ代リ金收入ノ手續ヲナスヘキ旨命令セラレタリ

秘第八六號

日本銀行

一金百萬圓

但英貨十萬千五百六十二磅十志ニ對スル代リ金換算相場一圓ニ付二志〇片八分ノ三ノ割右ハ其行へ爲替元渡トシテ交付シタル英貨ノ代リ金トシテ横濱正金銀行ヨリ納付次第直チニ

中央金庫へ納入スヘシ

明治三十二年一月二十七日

大藏大臣 伯爵 松方正義

前記命令ニ依リ曩ニ横濱正金銀行へ英貨ヲ以テ預ケ入レラレタル百萬圓ハ本邦ニ於テ通貨ヲ以テ返納スルコトナリタルヲ以テ該英貨ハ横濱正金銀行預ケ入金ヲ日本銀行爲替元渡ニ移シ替へ明治三十二年二月一日爲替代リ金トシテ日本銀行ヨリ百萬圓返戻シ茲ニ債金部ト京仁鐵道ノ關係ハ終局ヲ告ケタリ

今前記京仁鐵道ニ關シ日本銀行へ交付セラレタル爲換基金中ヨリ横濱正金銀行へ預ケ入レタル員額ヲ左表ニ具ス

預ケ入年月日	利率	預ケ入高	返納年月日	返納高	現預ケ入高
三十一年十一月十三日	二〇〇	一〇一、五六二、〇〇〇	三十二年二月一日	〇	一〇一、五六二、〇〇〇
計		一〇一、五六二、〇〇〇		一〇一、五六二、〇〇〇	〇

第八款 有價證券購入

領收債金ニシテ急ニ使用スルノ必要ナキモノハ無利息ニシテ保管セシメンヨリ信用正確ナル公債證券又ハ其他ノ有價證券ニ換ヘテ保管スルハ國庫ノ利益タリ且債金ヲ以テ有價證券ニ交換ス

ルコトハ法律ノ指示スル所ナルヲ以テ明治二十九年以來債金ノ餘裕金ヲ以テ内外ニ於テ有價證券ヲ購入セル願末ヲ項ヲ別テ敘述スヘシ

第一項 本邦ニ於テ購入ノ有價證券

明治二十九年三月軍事公債證券一千萬圓ヲ市場ニ募集セラレタルニ公債ノ市場價格ト發行價格トノ間ニ相違アリテ豫期ノ如ク應募額多カラス僅カニ百五十萬餘圓ニ過キサリシヲ以テ應募殘額ノ内五百萬圓ハ額面ノ價格ニテ債金ノ内ヲ以テ應募スルコトトナシ其旨日本銀行ニ命令シ其餘ハ同行ニ於テ應募スルコトトナレリ其後明治三十年五月六月ノ交ニ於テ預金部所有軍事公債證券ヲ倫敦ニ於テ賣却セララルルニ當リ同部所有鐵道公債ト交換セラレシカ爾後事業鐵道兩公債ハ大日本帝國五分利付公債ト改稱セラレタルヲ以テ同年十一月三十日特別資金部所有鐵道公債證券モ該新公債證券ト引換ヲ了シタリ

又明治二十七八年戰役後ニ於ケル官民起業ノ大經營ハ巨額ノ資金ヲ市場ヨリ吸收シ金融逼迫ノ狀態ハ明治三十年後半頃ヨリ一層甚シキヲ極メ公債諸株式ハ下落シ陸海軍擴張其他ノ費用ニ充用スヘキ事業鐵道公債ノ募集ノ如キ到底市場ニ於テ募集スル能ハサル事情ナリシヲ以テ該公債ハ總テ債金部ニ於テ引受クルコトトシ即明治三十一年一月二十一日ニ額面千八十萬七千三百五十圓ヲ時價額面百圓ニ付九十四圓九錢ノ割即千十六萬八千六百三十五圓六十一錢五厘ニテ應募シ又同年三月二十九日ニ額面五百萬圓ヲ時價額面百圓ニ付九十圓二十一錢ノ割即四百五十一萬五百圓ニテ應募セリ事情斯ノ如クニシテ經濟社會ノ破綻ハ早晚免レサル狀況ニ陥リタルヲ以

テ一ハ金融市場救済ノ目的ヲ以テ一ハ債金運用ノ一策トシテ更ニ勸業債券五百萬圓公債證書凡
ソ三千五百萬圓ヲ購入スルコトトシ公債ハ額面百圓ニ付九十六圓以內ニテ購入スルコトニ定メ
明治三十一年四月十三日左案ヲ閣議ニ提出セラレタリ

閣議案

方今我金融市場ニ於ケル資金缺乏ノ爲メ商工業共ニ頗フル困難ニ陥リ就中工業會社ノ如キハ
概ネ殆ント其事業ヲ繼續スル能ハサラントス若シ之ヲ其成行ニ放任シテ顧ミサルニ於テハ其
結果延ヒテ一般經濟社會ノ破綻ヲ來シ終ニ拾收スヘカラサルニ至ランモ亦知ルヘカラス且ツ
商工業ノ衰退ハ輸出ノ減少ヲ來タシ輸出ノ減少ハ正貨ノ流出トナリ爲ニ兌換券正貨準備ノ減
縮ヲ來タシ兌換制度ノ基礎ヲシテ危殆ナラシムルノ恐ナクンハアラス故ニ之カ救済ノ方法ヲ
考フルニ工業會社ニ對シテハ直接ニ救済ヲ行フニアラサレハ到底其效ヲ奏シ難カルヘキヲ以
テ日本勸業銀行ニ命シテ特ニ五百萬圓ノ債券ヲ發行セシメ債金部ニ於ケル餘裕金ヲ以テ之ヲ
引受クルコトトシ同銀行ヲシテ之カ爲メニ得タル資金ヲ以テ紡績毛絲織物其他輸出品ヲ製造
シ又ハ輸入品ニ代ヘルヘキ貨物ノ生産ヲ營メル工業會社ノ内確實ナルモノヲ選ヒテ貸出ヲ爲
サシメ以テ其事業ヲ繼續セシメントス而シテ商業會社ニ對シテハ特ニ直接ノ方法ヲ執ルノ必
要ヲ見ナルカ故ニ債金部ニ於ケル餘裕金ヲ以テ市場ニ存スル公債證書ヲ購入シ以テ一時ノ融
通ヲ與ヘントス

右閣議ニ提出ス

明治三十一年四月十三日

大藏大臣 伯爵 井上 馨

内閣總理大臣 侯爵 伊藤博文 殿

前記閣議案決定セシヲ以テ明治三十一年四月十四日日本勸業銀行へ命令ノ方針ニ付左ノ如ク省
議ヲ決定セラレタリ

今日大阪始メ各地工業會社ノ困難ハ實ニ其極度ニ達セントス若シ之ヲ放任セハ玉石混淆俱ニ
蹉躓ノ大患ヲ醸サンモ未タ知ルヘカラス過度ノ企業ニ其罪ハ歸シ得ラルヘシトスルモ生產業
業ニ投下セル資本ヲシテ中途ニ埋死セシメ事業其モノヲ挫折セシムルハ經濟上策ノ得タルモ
ノニアラサルヲ以テ真正有望確實ナル生產業ヲシテ必要ノ資金ヲ得セシムルハ目下焦眉ノ
急ト謂テ可ナリ其方策トシテ例ヘハ漫然資金ヲ供給スルモ目的ヲ達シ難キ憂アル而已ナラス
却テ投機心ヲ再燃セシムルノ虞アリ故ニ此際施スヘキ策ハ成ルヘク取捨選擇直後ニ真正ナル
生產業ニ向テ資本ヲ供給スルニアリ此目的ヲ遂行スルニハ勸業銀行ヲシテ債券ヲ發行セシ
メ政府ノ餘裕金ヲ以テ之レカ募集ニ應シ勸業銀行ノ手ヲ經テ有望確實ナル工業會社ニ必要ノ
資金ヲ貸付スルノ外ナカルヘシ今試ニ其施行順序ヲ列記スレハ凡ソ左案ノ如クナルヘキカ

- 第一 國庫債金ノ中ヨリ總額五百萬圓ヲ限度トシテ勸業債券ノ募集ニ應スルコト
- 但募集手續ハ一般ノ順序ニ依ルコト
- 第二 募集金額ヲ以テ日本勸業銀行ヲシテ各地方ニ於ケル確實ナル既設ノ工業會社ニ向テ
漸次貸付ヲ爲サシムルコト
- 第三 右貸付ヲ爲スヘキ工業會社ノ種類ハ大凡ソ左ノ標準ニ依ルコト

紡績 織物 毛絲 製絨

其他輸出品トナリ又ハ輸入品ニ代ルヘキ物品ヲ製造スルモノ

第四 右貸付ノ目的ヲ達シ其實行ヲシテ當ヲ得セシムル爲メ貸付標準ヲ制定シ日本勸業銀行ニ令達スルコト

第五 右實行上日本勸業銀行ヲシテ左ノ事項ヲ遵守セシムルコト

一 實際貸付契約ヲ開始スルノ前一々日本勸業銀行監理官ノ檢定ヲ受クルコト

二 鑑定員ヲ精選シ之レカ監督ヲ嚴密ニシ鑑定機關ノ整理ヲ圖ルコト

三 別ニ大藏大臣ノ認可ヲ經テ適任ノ相談役ヲ置クコト

於是翌四月十五日日本勸業銀行總裁理事ヲ大藏省ニ召集シ伯爵井上大藏大臣ヨリ前記決定ノ省議ヲ口達セラレ主意ノ存スル所ヲ誤ラス充分責任ヲ帶ヒ業務執行上一層ノ注意スヘキ様添諭セラレタリ依テ日本勸業銀行ハ重役一同協議ノ末左記ノ如ク願出タリ

秘第三三號

目下經濟界ノ不振日ニ甚布殊ニ大阪府下工業各會社之狀態殆ト破裂ノ徵候モ相見ヘ候哉ニテ此際臨時特別御救濟ノ方法被爲立候御趣意ヲ以テ幸ヒ本行ノ設立アルヲ利用セラレ臨機御處分ノ條項ヲ擧ケ昨日御内示ノ趣奉敬承候仍テ重役共一同協議ヲ遂ケ左ノ通決定仕候間稟申仕候至急御認可被成下度奉願候也

明治三十一年四月十六日

日本勸業銀行

總裁 河島 醇

大藏大臣伯爵井上馨殿

臨時貸付ニ對スル決議條項

第一 割増金付勸業債券總額五百萬圓ヲ限リ一回ノ發行ヲ凡ソ一百萬圓乃至二百萬圓トシ

大藏省ニ於テ御引請相願候事
但募集方法ハ成規ニ由リ一般ニ公告シ公衆ヨリ募集スルモノトシ應募額不足ノ分丈御

引請相願候事

第二 前項ニ由リ第二回ノ發行ヲ一百萬圓トシ來十八日公告ノ手續取計候事
但申込期日ハ四月二十七日ヨリ三十日マテトシ拂込期限ハ五月八日ヨリ十日マテトス

ルノ外證據金額利子歩合價格並割増金割合等ハ總テ第一回ノ募集同様ノ事

第三 臨時貸付可取計各會社所在地方ハ大阪ヲ主トシ京都若クハ東京ト定メ其他地方ハ必要ニ應シ實地檢定ノ上緩急處理可致事
但既設工業會社ニシテ別ニ定ムル所ノ標準ニ適合スルモノニ限ルヘキハ勿論ノ事

第四 臨時貸付可取計事業ハ輸出スヘキ物品ナルカ又ハ輸入品ニ代用スヘキ物品ニシテ縱

令ヘハ

紡績 織物 毛絲 製絨

等ノ類ト雖モ尙實地ニ就キ表裏面ノ觀察ヲ必要トスルハ勿論ノ事

第五 臨時貸出調査標準ハ大體第二期標準トシテ決定セルモノニ依ルヘシト雖モ特ニ今回

- ニ限リ左ノ標目ニ依リテ之レヲ斟酌シ重役會議ニ於テ熟議ノ上貸出ヲ取捨スヘキ事
 - 一 起業ノ目的國家經濟上最モ有益有望ニシテ其設計確實將來必ス成效ノ見込アルモノニ限ル
 - 二 開業以後少クトモ二回以上ノ營業報告ヲ爲シ其計算確實ナルモノニ限ル
 - 三 事業ノ利益ハ將來六分以上ノ配當ヲ爲スコトヲ得ヘキ見込アルモノニ限ル
 - 四 固定資本ト流動資本トノ權衡並負債ノ數量性質其當ヲ得タルモノニ限ル
 - 五 株主並ニ業務擔當人ノ信用確實ニシテ帳簿其他諸般ノ事務整理シタルモノニ限ル
 - 六 工場ニハ適任ノ技師ヲ使用シ工務能ク整頓シタルモノニ限ル
 - 第六 技術相談役ヲ置キ名望アル技師ニ依嚮シ大阪及京都地方各工業會社ノ鑑定等ニ從事セシムヘキ事
 - 技術的鑑定役ヲ使用スル場合ニ於テハ十分其選擇ニ注意スヘキ事
 - 臨時特別貸付契約實行ノ以前ニ於テ一々日本勸業銀行監理官ノ檢定ヲ受クヘキ事
 - 第七 大阪ニ支店ヲ設置スヘキ事
 - 第八 定款第四十一條變更ノ爲メ臨時株主總會ヲ開ク事
- 右ノ申請ニ對シ明治三十一年四月十六日左ノ如ク認可セラレタリ
- 秘第三五二號

本月十六日付特別稟申ノ件認可ス

株式會社日本勸業銀行

明治三十一年四月十六日

大藏大臣 伯爵 井上 馨

先是日本勸業銀行ハ明治三十一年三月二十四日第一回割増金附勸業債券百萬圓ノ募集ヲ廣告シ同四月十一日ヨリ申込ヲ開始シ同二十二日ニ之レヲ閉鎖セリ然ルニ其申込額ハ豫定額ニ達セザリシヲ以テ前記申請ニ對スル認可ノ趣旨ニ依リ殘額五十一萬九千四百五十圓ヲ額面價格ニテ債金特別會計ニ於テ引受クルコトセラレ之レカ應募金拂出方ニ關シ左ノ如ク日本銀行へ命令セラレタリ

秘第四一二號

日本銀行

債金特別會計法第二條ニ依リ第一回發行勸業債券五十一萬九千四百五十圓ハ券面五十圓ニ付價格五十圓ノ割合ヲ以テ債金特別會計ニ於テ引受クヘキニ付右代金トシテ金五十一萬九千四百五十圓其行へ交付候條現金中央金庫ヨリ領收シ應募ノ手續ヲ爲ス可シ

又受取リタル勸業債券ハ明治二十六年勅令第七拾號ニ依リ預金部保管トシテ中央金庫へ納付スヘシ但中央金庫へ納付済ノ上ハ其旨當省へ報告スヘシ

明治三十一年五月二日

大藏大臣 伯爵 井上 馨

右第一回債券募集ニ著手後應募申込額モ大略確定セシヲ以テ勸業銀行ハ夫々貸付ノ豫約ヲ爲シタリシカ尙ホ續々貸出ノ請求ヲ受ケタルヲ以テ更ニ明治三十一年四月十八日第二回割増金附勸

業債券百萬圓ノ發行ヲ廣告シ同二十五日申込ヲ開始シ同二十八日之レヲ閉鎖セリ而シテ市場ノ募集額ハ僅ニ四萬餘圓ニ過キサリシヲ以テ債金特別會計ニ於テ殘額九十五萬五千二百五十圓ヲ額面價格ニテ引受クルコトトシ之レカ應募金拂出ニ關シ左ノ如ク日本銀行ニ命令セラレタリ

秘第四二七號

日本銀行

債金特別會計法第二條ニ依リ第二回發行勸業債券九十五萬五千二百五十圓ハ券面五十圓ニ付價格五十圓ノ割合ヲ以テ債金特別會計ニ於テ引受クヘキニ付右代金トシテ金九十五萬五千二百五十圓共行へ交付候條現金中央金庫ヨリ受領シ本月五日應募ノ手續ヲ爲スヘシ又受取リタリ勸業債券ハ明治二十六年勸令第七十號ニ依リ預金部保管トシテ中央金庫へ納付スヘシ但中央金庫へ納付濟ノ上ハ其旨當省へ報告スヘシ

明治三十一年五月四日

大藏大臣 伯爵 井上 馨

第二回發行ニ引續キ貸出請求ヲ爲スモノ益多クシテ到底前記二回ノ募集金二百萬圓ヲ以テ之レニ應スル能ハサリシヲ以テ明治三十一年六月五日第三回割増金附勸業債券百萬圓募集ノ廣告ヲ爲シ同月八日申込ヲ開始シ同十三日之レヲ閉鎖セリ而シテ其市場募集額僅々一萬餘圓ニ過キサリシヲ以テ殘額九十八萬七千二百五十圓ヲ額面價格ニテ債金特別會計ニテ引受クルコトトシ之レカ應募金拂出ニ關シ左ノ如ク日本銀行ニ命令セラレタリ

秘第六六九號

明治財政史第二卷

日本銀行

債金特別會計法第二條ニ依リ第三回發行勸業債券九十八萬七千二百五十圓ハ券面五十圓ニ付價格五十圓ノ割合ヲ以テ債金特別會計ニ於テ引受クヘキニ付右代金トシテ金九十八萬七千二百五十圓共行へ交付候條現金中央金庫ヨリ受領シ本月二十五日應募ノ手續ヲ爲スヘシ又受取リタル勸業債券ハ明治二十六年勸令第七十號ニ依リ預金部保管トシテ中央金庫へ納付スヘシ但中央金庫へ納付濟ノ上ハ其旨當省へ報告スヘシ

明治三十一年六月二十二日

大藏大臣 伯爵 井上 馨

前記都合三回ノ發行額三百萬圓ノ中政府ノ引受額ハ二百四十六萬九千九百五十圓ナリ而シテ工業社會ニ於ケル資金ノ缺乏ハ到底之レヲ以テ満足セシムル能ハス更ニ數百萬圓ノ供給ヲ爲サレハ救済ノ目的ヲ達スル能ハサリシナリ勸業銀行ハ明治三十一年九月二十七日更ニ第四回割増金附勸業債券二百萬圓ノ募集ノ廣告ヲ爲シ十月一日申込ヲ開始シ同日之レヲ閉鎖セリ而シテ募集ノ景況ハ前回ニ比シ頗ル良好ナリシヲ以テ明治三十一年十月二十六日付ヲ以テ勸業銀行ヨリ左記ノ如ク申出タリ

秘第九五號

業ニ工業會社ニ對シ臨時貸付ヲ爲スニ際シ當銀行發行ノ勸業債券募集不足ノ場合ニハ金額五百萬圓ヲ限リ政府ニ於テ御引受被下候御許可ヲ得其内金二百四十六萬餘圓ハ既ニ御引受相成而シテ第四回勸業債券發行ニ際シ募集總額二百萬圓ノ内金百三十二萬圓ハ政府ニ於テ御引受ノ御詮議アルヘシトノ御認可ヲ得募集ニ著手致候應募ノ景況幸ニ良好ニ有之第四回發行ニ對

シ政府ノ御引受ヲ相願候金額五十八萬六千圓ニ有之候依テ殘額凡七十三萬圓ハ第五回債券募集不足分ヲ御引受被下候資金ニ充テラレタキ旨先ニ内申仕候次第ニ有之候右ノ計畫ニ依リ工業會社ニ對スル臨時貸付並ニ普通貸付ノ計算相立テ最早弊行ノ貸付資金餘裕無之場合ニ立到リ候折柄今般北海道ニ對スル貸付問題相起リ其借入請求金總高北海道ノ土地抵當ノ借入請求高及内地ノ土地抵當ノ借入請求高内譯目下鑑定中ノ口數金額及内譯並ニ今後鑑定調査ニ著手スヘキ口數金額等別紙ノ通ニ有之候依テ第五回債券發行ニ際シ應募金額萬一不足致候場合ニハ右金七十三萬圓ヲ政府ニ於テ御引受被下候ハ、別紙計畫ノ通り北海道ノ貸付鑑定調査ニ著手可致候右特別ノ御證議ヲ以テ御許容被下候以上ハ一ハ以テ工業ニ對スル臨時貸付處分ノ要部ヲ完了シ一ハ以テ北海道ヨリノ借入請求ニ對シ逼迫ノ資金ヲ割キテ可成金融ヲ計リ候様相成可申一舉兩全ノ策ト奉存候右何卒御許可被下度内申候也

明治三十一年十月二十六日

株式會社日本勸業銀行

總裁 河島 醇

大藏大臣松田正久殿

右ハ曩ニ第四回發行ニ際シ政府ハ百三十二萬圓迄ハ引受クヘキ旨内許セラレタルモノナリシヲ以テ審議ノ末該百三十二萬圓ノ内許額ヲ基礎トシ第四回ニ於テ應募不足額五十八萬六千圓ヲ引受ケ殘額七十三萬餘圓限リ明治三十二年一二月ノ交ニ於テ募集スヘキ第五回債券ニ應募スルコト、シ明治三十一年十月二十八日左ノ如ク日本勸業銀行ヘ許可ヲ附與セラレタリ

祕第一三〇七號

株式會社日本勸業銀行

祕第九五號ヲ以テ内申セシ第五回債券募集引受ノ件開置候事

明治三十一年十月二十八日

大藏大臣 松田 正久

前記ノ如ク省議決定セシヲ以テ同時ニ第四回債券應募金拂出ニ關シ左ノ如ク日本銀行ヘ命令セラレタリ

祕第一三〇五號

日本銀行

債金特別會計法第二條ニ依リ第四回發行勸業債券五十八萬六千圓ハ券面二十圓ニ付價格二十圓ノ割合ヲ以テ債金特別會計ニ於テ引受クヘキニ付右代金トシテ金五十八萬六千圓其行ヘ交付候條現金中央金庫ヨリ受領シ應募ノ手續ヲ爲スヘシ
又受取リタル勸業債券ハ明治二十六年勅令第七十號ニ依リ預金部保管トシテ中央金庫ヘ納付スヘシ但中央金庫ヘ納付濟ノ上ハ其旨當省ヘ報告スヘシ

明治三十一年十月二十七日

大藏大臣 松田 正久

起ヘテ明治三十二年三月十二日第五回割増金附勸業債券百萬圓募集ノ廣告ヲ爲シ四月一日申込ヲ開始シ同三十日之レヲ閉鎖セリ依テ前記豫命セラレタル範圍内ニ於テ六十九萬四千三百八十

圓ヲ債金特別會計ニ於テ引受クルコト、シ之レカ應募金拂出ニ關シ左ノ如ク日本銀行へ命令セラレタリ

祕第四九五號

日本銀行

債金特別會計法第二條ニ依リ第五回發行勸業債券六十九萬四千三百八十圓ハ券面二十圓ニ付價格二十圓ノ割合ヲ以テ債金特別會計ニ於テ引受クヘキニ付右代金トシテ金六十九萬四千三百八十圓其行へ交付候條現金中央金庫ヨリ受領シ應募ノ手續ヲ爲スヘシ又受取リタル勸業債券ハ明治二十六年勅令第七十號ニ依リ預金部保管トシテ中央金庫へ納付スヘシ

但中央金庫へ納付済ノ上ハ其旨當省へ報告スヘシ

明治三十二年五月二十七日

大藏大臣 伯爵 松方正義

上來記スル所ノ順序ニ依リ第一回ヨリ第五回ノ發行ニ係ル割増金附勸業債券ヲ債金特別會計ニ於テ引受ケタル金額ハ合計三百七十四萬二千四百三十圓ニシテ內當籤ノ爲メ償還ヲ受ケタル金額ハ十萬四千四百七十圓ナリ故ニ明治三十三年三月三十一日ニ於ケル現在額ハ三百六十三萬九千九百六十圓ナリトス
又前記明治三十一年四月十三日金融市場救済ノ爲メ公債買上並勸業債券應募ニ關スル閣議決定ノ主意ニ基キ明治三十一年四月十五日左記ノ如ク日本銀行へ命令セラレタリ

祕第三五〇號

日本銀行

方今我金融市場ハ資金頗ル缺乏ヲ告ケ著シク逼迫ノ情況ナルヲ以テ之レカ救済ノ一助トシテ債金特別會計法第二條ニ依リ債金部ノ現金ヲ以テ市場ノ公債證書ヲ購求セントス依テ其行ニ於テ便宜之レカ買入方取計フヘシ
右買入資金ハ必要ニ際シ當省へ請求スヘシ
右内達ス

明治三十一年四月十五日

大藏大臣 伯爵 井上馨

右ノ命令ト同時ニ公債證書ノ購入額ハ凡ソ三千五百圓ト定メ其餘ハ臨機證議スルコト、シ購入價格ハ額面百圓ニテ九十六圓以內ト内定シ此趣日本銀行總裁へ内達セラレ漸次同行ヲシテ各種公債ノ購入ニ著手セシメラレタリ而シテ明治三十一年六月三十日內閣ノ交迭アリ伯爵井上大藏大臣辭職セラレタルモ後任松田大藏大臣ハ前任大臣ノ方針ヲ改メス公債ノ購收ヲ繼續セラレ明治三十一年十月ニ至リ金融市場漸ク緩和シ日本銀行ハ金利ヲ引下タル場合トナリ最早公債買上ノ必要ナキニ至リタルヲ以テ同日左ノ如ク命令セラレタリ

祕第一一九九號

日本銀行

金融市場救済ノ目的ヲ以テ市場ノ公債證書購入方本年四月十五日官房祕第三五〇號ヲ以テ内達候處右ハ本日限り停止ス

三年三月三十一日迄ニ悉皆拂出済トナレリ其内譯ハ左ノ如シ

帝室御料編入(額面價格)	六四九,〇〇〇,〇〇〇	二二,〇三三,五〇〇,〇〇〇	二二,〇三三,五〇〇,〇〇〇	〇	〇	〇	二二,〇三三,五〇〇,〇〇〇
災害、教育、兩	一一,四四一,四〇〇,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	一一,四四一,四〇〇,〇〇〇
基金へ繰入(同)	二〇,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	〇	二〇,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇
買上銷却(同)	〇	八三三,九三三,〇〇〇,〇〇〇	五九,九四五,〇〇〇,〇〇〇	〇	〇	〇	八三三,九三三,〇〇〇,〇〇〇
受ケタル高(同)	〇	八,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇	五九,五五七,八五〇,〇〇〇	〇	〇	〇	八,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇
日本銀行へ賣却(同)	〇	五,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇	〇	〇	〇	〇	五,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇
預金部へ賣却(同)	三三,五八三,三三〇,〇〇〇	〇	七五,一三五,〇〇〇,〇〇〇	〇	〇	〇	三三,五八三,三三〇,〇〇〇
同部ト交換拂高(同)	〇	一〇〇,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇	七,四七九,一三六,〇〇〇	〇	〇	〇	一〇〇,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇
合 計	三三,九〇〇,〇〇〇,〇〇〇	一四,〇九四,七五〇,〇〇〇	三三,三七三,一五〇,〇〇〇	三三,四八六,〇〇〇,〇〇〇	〇	〇	三三,九〇〇,〇〇〇,〇〇〇

第二項 外國ニ於テ購入ノ有價證券

債金ノ内急ニ使用ヲ要セサルモノハ倫敦ニ於テ英蘭銀行庫中ニ無利子ニテ保管センヨリハ何時ニテモ現金ニ交換シ得ヘキ信用確實ナル有價證券ニ投資シ以テ利殖スルハ債金運用上策ノ得タルモノナリ故ニ債金領收當時日本銀行橫濱正金銀行及在外帝國領事等ニ此等ノ調査ヲ委嘱セラレタリシカ「コンソール」公債ニ關シ倫敦帝國領事ハ左ノ如ク報告セリ

英國「コンソール」公債ニ關スル取調書

機密送第一四六號

曩ニ貴省大臣ヨリノ囑託ニ係ル清國債金回送ノ爲參考トナルヘキ海外市況報告ノ件ニ對シ今

般在倫敦林前一等領事ヨリ英國政府二分四分利付整理公債俗ニ「コンソール」ト稱スルモノニ關スル報告別紙ノ通送越候ニ付右寫及御送付候也

明治二十九年九月十九日

外務次官 小村壽太郎

大藏次官男爵田尻稻次郎殿

別紙

機密第八號

英國政府二分四分利付整理公債俗ニ稱シテ「コンソール」ト云ニ關スル報告

一、發行高

「コンソール」ト稱スル英國政府公債發行高ハ五億二千二百二十三萬三千四百六磅ナリト云フ

一、利率及利足拂日

此公債ノ利率ハ千八百八十八年マテハ三分ナリシカ其翌年ヨリ現今ノ利率即チ二分四分トナレリ此ノ現今ノ利率ハ千九百三年マテ維持シ同年ニ於テ減シテ二分半ニ改メ千九百二十三年ニ至ルマテ同利率ニ維持スルコトニ成リ居ル趣ナリ而シテ利足ハ毎年一月、四月、七月及九月ノ四回ニ支拂フノ定規ナリ

一、据置キ年限

据置キ年限竝ニ返償ニ關シテハ一定ノ法律ナシ唯千九百二十三年ニ至リ國會ノ決議ノ次第ニヨリ若シ償却スルコトアリトセハ其償却高竝ニ時日等ヲ始メテ決スルコト、成リ居ルトノ事

ナリ元來斯カル公債ハ容易ニ償却セストノ信用アルヲ以テ世上ニ望ヲ有スル事ナルカ故ニ政府ニ於テ之ヲ償却スルト云フカ如キ事ハ容易ニナサハルノ事ナリトス

一、一回ニ賣買シ得ヘキ豫想高

此地正金銀行支配人カ實際市場ノ狀況ヲ察シ云フ所ノ言ニヨレハ一回五萬乃至十萬磅位マテハ市場ニ影響ヲ及ホサスシテ購入シ得ヘシト又「コンソール」ハ殆ント現金同様ノ厚キ信用ヲ有スルニ付何時ニテモ賣却スルコトヲ得ヘシトノ事ナリ右一回ニ賣買シ得ヘシト云フ價格ハ「コンソール」全發行高ノ一萬分ノ一乃至五千分ノ一ニ當ルニ過キサルヲ以テ大ニ影響ヲ及ホスコトナカルヘキ乎尤モ次項ニ於テ「コンソール」市場ノ變動ヲ示ス如ク幾分ノ高下ハ常ニ見ル所ナレハ實際賣買ヲナスニ當リテハ豫メ相場ヲ定メ置キテ時機ニ投スルノ必要アルヘシ又前陳一回ノ賣買トハ先ツ一日ノ賣買高ト目シテ可ナリ左レトモ今日五萬ノ額ヲ購入シ又翌日モ同額ヲ購入スト云フ如ク毎日引續キテ購入スルコトハ或ハ出來サル場合アルヘシ要スルニ假リニ一百萬磅ノ「コンソール」ヲ購入センニハ二十日乃至一箇月ノ時日ヲ費セハ充分ナラン乎

一、市價ノ變動

「コンソール」ノ市價ニ急劇ノ變動ヲ與フルモノハ國際ノ紛議ニアリトス最近ノ事實ヲ示セハ昨年十一月ノ末十二月ノ初ニ當リアルメニヤ問題ヨリ土耳其ニ對スル各大邦ノ舉動一時ハ何トナク不安ノ狀況ヲ示セルニ當リ「コンソール」ノ市價百七十八磅ノ間ニアリシモノ俄然下落シテ百六十七磅ノ間ヲ昇降スルニ至レリ其後間モナク百七磅以上ニ恢復シタルニヴエネツエラ問題ヨリ英米ノ紛議ヲ起シ大統領ノ敎書一時歐米ノ市場ヲ驚カシタルノ際「コンソール」ハ又百〇六磅

ニマテ下落セリ又本年一月ニ至リゼーラムソンノ南亞非利加共和國ノ領土ニ亂入セル事件ヨリ有名ナル獨帝ノ電報ハ英獨ノ關係ヲシテ一時不安ナラシメタリ當時「コンソール」ノ市價亦下落セリ併シ英國ハ橫敏ノ舉動ニ出テ遊擊艦隊ヲ組成シテ其地步ノ堅固ナルコトヲ示セルヤ忽チ信用ヲ恢復シテ「コンソール」ノ市價又舊ニ復セリ市價急劇ノ變動ハ斯ク多ク國際紛議ヨリ政治上ノ關係不安ノ念ヲ世上ニ與フルノ時ニアリ右等ノ急劇一時ノ變動ヲ外ニシテ數年前ニシテ數年前ヨリ「コンソール」市價ノ趨勢ヲ觀ルトキハ概シテ騰貴ノ一方ニアリ即チ過去五年ノ市價表ヲ示スコト左ノ如シ

年	最高	最低
千八百九十一年	九七 ¹⁰ / ₁₆	九四 ¹⁰ / ₁₆
千八百九十二年	九八 ¹⁰ / ₁₆	九五
千八百九十三年	九九 ¹⁰ / ₁₆	九七
千八百九十四年	一〇三 ¹⁰ / ₁₆	九八 ¹⁰ / ₁₆
千八百九十五年	一〇八 ¹⁰ / ₁₆	一〇三 ¹⁰ / ₁₆

又本年ニ入りテ以來ノ市價ヲ觀ルニ一月ハ百六磅ヨリ其月末ニ至リ百八磅ニ騰リ二月ノ末ニハ百九磅以上ニ騰リ三月ヨリ四月ニ及ヒテハ漸次騰貴シテ百一十一磅ニ至リ五月ノ末ニ及ヒテハ百十三磅以上ニ達セリ五月以來ハ異常騰貴ノ模様薄ク七月中ノ市價即チ今日ノ狀況ハ概シテ百十三磅半乃至百十三磅ノ九分ノ六分内外ヲ昇降セリ斯ノ如ク數年以來市價ノ騰貴セルハ蓋シ此國ニ於ケル資本ノ増加セルコト此國財政ノ餘裕アリテ政府ノ信用増シタルコト此國ニハ危險ナル政變ノ少ナキコト等ノ原因ニ存スルカ如シ併シ騰貴ノ度ニモ極度アリ想フニ今日ノ市價

ヨリ尙ホ或ハ一二磅騰貴スルコトアルヘキモ著ク騰貴スルコト或ハ之レナカラシテ若シアリトスレハ蓋シ健康ノ現象ニアラサルヘシ又下落スルコトハ著シキ國際紛議ヲ見サル以上ハ是亦之レナカラシトノ豫想ナリ

帝國政府ニ於テ其債金ノ一部ヲ以テ英國ニ於テ公債ヲ御買入相成ルヘキ御考有之ニ於テハ「コンソール」ヲ以テ第一堅固ノモノト相考申候假リニ百十三磅半ノ相場ヲ以テ買入ル、コト、ナスモ尙年二歩餘ノ利足ヲ得ヘシ而シテ買入ニ關スル費用ハ仲買人ニ拂フヘキ手数料百分ノ八分ノ一ナリト云フ其外ニ手数料トシテ取扱人タル正金銀行ヘ幾分カ支拂フノ必要モアラシ平右「コンソール」ノ外他ニ公債證書株券等之レアルモ其堅固信用「コンソール」ニ及ハサルハ勿論ノ儀ニ付別ニ取調ヲ爲スニモ及ハス事乎ト相考申候

右及御報候間大藏大臣閣下ヘ御轉通相成度希望致候敬具

在倫敦

一等領事 林 權 助

明治二十九年八月一日

外務大臣候爵西園寺公望殿

又同公債ニ關シ橫濱正金銀行ヨリモ左ノ如ク報告シ來レリ

英國「コンソール」公債ニ關スル取調書

拜啓御諮詢ニヨリ英國政府整理公債既往五箇年平均相場並ニ金利ニ關係シ諸項取調別紙ノ通リ差出候間御入手被成下候也

明治二十九年九月二日

倫敦支店支配人

頭取岡田孝吉殿

(別紙)

二分四分ノ三利付英國整理公債

發行高 五億二千二百二十三萬三千四百六磅

利 子 年五分七厘五毛ニシテ毎年一月五日、四月五日、七月五日、十月五日ノ四度ニ仕拂フ

明治三十六年四月五日以後利子減年二分五厘トナル元金償還ハ明治五十六年四月五日ヨ

リ始ム

公債種類ハ記名無記名ノ二種トス

記名公債 英蘭銀行ノ國債原簿ニ所有者若クハ其代理人自ラ登録セルモノ而シテ賣買

讓與ハ原簿書換ノ手續ヲ經テ執行ス

無記名公債 持參人渡リノ證券ヲ交附セルモノ

二分半利付英國政府公債

現在元金 三千二百七萬二千二百二十一磅

利 子 年二分五厘ニシテ毎年一月五日、四月五日、七月五日、十月五日ノ四度ニ拂フ

元金償還ハ明治三十八年一月五日ヨリ初ム

公債ノ種類ハ二分四分ノ三整理公債ニ同シ

英國政府國債ノ總額ハ本年度ノ初メニ當リ

七億二百八十萬二千三百二十七磅

ニシテ其内重立タルモノ前記ノ二種トス市場之ヲ稱シテ「コンソール」ト云フ二分四分ノ三利付「コンソール」ハ實ニ國債ノ巨額ヲ占ムルヲ以テ倫敦放資市上專ラ勢力ヲ有ス
 今左ニ二分四分ノ三「コンソール」ノ去ル五箇年間平均價額ヲ示シ且ツ同期間ノ金利ノ平均及ヒ他ノ金利ニ影響ヲ有スル處ノ統計ヲ掲ケ參考ニ供ス

年 期	コンソール平均相場	放資者收得	銀行利子ノ平均	市場利子ノ平均	英蘭銀行兌換券發行部地金	英蘭銀行銀行部ニ於ケル準備金	債券ニ對スル準備金ノ百分比
一八九一年	九五、八七五	二、八六八	三、二九六	二、五〇〇	二四、三六三、〇〇〇	一五、五八五、〇〇〇	四一
一八九二年	九六、六二五	二、八四六	二、四九六	一、四七〇	二五、五一九、〇〇〇	一五、七四九、〇〇〇	四三
一八九三年	九八、三一二五	二、七九七	三、〇六六	二、一〇〇	二四、六一八、〇〇〇	一六、九八二、〇〇〇	四七
一八九四年	一〇〇、九三七五	二、七二四	二、一六六	二、〇三八	三一、九一六、〇〇〇	二五、八一六、〇〇〇	六三
一八九五年	一〇五、八七五	二、五九七	二、〇〇〇	〇、七九六	三六、五九二、〇〇〇	三〇、〇八八、〇〇〇	六二
以上五箇年間平均	九九、五二五	二、七五三	二、五九五	一、五八〇	二八、六〇二、〇〇〇	二〇、八四四、〇〇〇	五一
一八九六年八月間平均	一一〇、〇〇〇	二、五〇〇	二、〇〇〇	〇、八八五	四四、一三八、〇〇〇	三五、八九二、二四三	五八

前表ニテ見ラル、如ク年々倫敦ニ集積スル處ノ遊資巨額ニシテ毎々放資市上ニ充溢ノ傾ヲ呈シタレトモ「コンソール」價格五箇年ノ平均ヲ見レハ九十九磅半ニシテ其收益實ニ二分七厘四毛ヲ得常ニ英蘭銀行公定相場ノ平均ヨリモ高率ノ利子ヲ收セルヲ見ル可シ
 今假リニ當時ノ價格

百十三磅半

ニテ放資セハ其收得一年二分四厘二毛餘トナル而シテ英蘭銀行公定利子ハ年二分ナリ又假リニ當時ノ價格ニテ「コンソール」ニ放資シ今後五箇年ノ末若シ前記既往五箇年間平均ノ相場即九十九磅半迄下落セリトセハ其損

十四磅

トナル然レトモ其五箇年間ニ收得セル利子ヲ共計セハ

十三磅十五志

ヲ得ルノ計算ナレハ其相場下落ヨリ生スル損失ヲ償フニ足り即チ五箇年ノ末最初放資ノ元金ヲ損失ナクシテ回收スルヲ得ルノ概算ナリ
 右ハ既往五箇年間ノ平均ニ基キ計算セルモノナレハ直チニ之ヲ引キ以テ將來ヲトセントスルハ稍事實ニ合セサルノ嫌ナキニ非ス如何トナレハ既往五箇年間ハ前表ニ於テ顯著ナルカ如ク年一年ヨリ金融緩漫ノ傾向ヲ來シ而モ此傾向ノ何時停止スヘキヤハ倫敦銀行者ト雖モ豫メ言フ能ハサル所ニシテ今後此傾向ノ増進行スルヤモ圖ラレハナリ加フルニ政府國債局公債償還基金ノ使途郵便貯金年々ノ剩餘額ハ皆重ニ其放資ヲ「コンソール」ニ集中ス實ニ此等ノ事實ハ「コンソール」價格ヲ維持セシムルヲ助クルモノニシテ今後他ニ大ニ金融市場ヲ擾亂スルニ足ルノ大事件生セサル限リハ其價格ヲシテ大ニ下落セシムルコトナカラン歟今假リニ當時ノ相場ニテ買入レ五箇年ノ後其價格

一百五磅

位迄下落セリトセンカ尙其放資スル金ニ對シテ年一步ノ收益ヲ得ルノ計算ナリ
又「バルデット」氏著「オラキシャル」インテリジエンス「英國公債」ノ項ニ左ノ如ク記載セリ

二分利付整理公債

本公債ハ千八百五十五年ノ新三分利付ノ借換若クハ償還ノ爲メ且ツ三分利付「コンソール」及ヒ三分利付減却年金ノ借換ノ爲メニ千八百八十八年ノ國債借換條例ニ據リテ創設セラレタルモノニシテ千八百八十九年ノ國債償還條例ハ當時現存セシ十種ノ「コンソール」及ヒ減却シタル三分利付ノ償還ノ爲メニ同年四月通過シタルモノニ係ル本新公債ハ千九百三年四月五日マテハ二分利付整理公債ト稱シ以後ハ二分半利付整理公債ト稱ス利子ハ毎年一月五日、四月五日、七月五日、十月五日ニ仕拂フヘキモノニシテ其割合ハ千八百八十九年四月五日マテハ一箇年三分千九百三年四月五日マテ十四箇年間ハ二分利付以後ハ一箇年二分利付トス（償還方法ハ後文ニ記スル所アルヘシ）千八百九十六年三月三十一日現在本公債發行高ハ五億二千五百四十八萬千六百六十五磅ニシテ内千七百五十五萬三千二百八十五磅ハ愛蘭土ニ散在セリ千八百九十六年ノ公定相場表ニヨレハ最高價格百十三磅ハ最低百五磅ハ最近價格百十一磅ハトス本公債ハ「バルミンガム」「ヨーク」「ダブリン」「グラスゴー」「リイズ」「リヴァプール」「マンチエスター」「ニウカッスル」及ヒ「セヒールド」ノ相場表ニ上レリ

二分利付公債（百磅ニ付二磅十五志年金）

此公債ハ千八百八十四年國債條例公債ノ借換第一條ニ據リテ創設セラレ「コンソール」減却三分利付若クハ新三分利付ノ百磅ニ對シ此公債百二磅ノ割合ヲ以テ三種ノ三分利付ノ所有者ニ交換

スルコトヲ目的トシタルモノナリ此公債ハ千九百五年一月五日マテハ償還セラレサルモノトス（償還年）

利子ハ毎年一月五日、四月五日、七月五日、十月五日ニ支拂ハル、モノトス千八百九十六年三月三十一日現在發行額四百六十四萬七千二百二十三磅中七萬六千八百五十二磅ハ愛蘭土ニ散在セリ

千八百九十六年ノ公定相場表ニヨレハ最高百十四磅最低百五磅ハ最近價格百十一磅四分ノ三トス此公債ハ「ダブリン」「マンチエスター」ノ相場表ニ上レリ

二分半利付公債（二分半年金）

此公債ハ千八百五十三年南海公債及ヒ或三分利付ノ舊年金ヲ銷却スルノ目的ヲ以テ最初三分半ノ利子ヲ付シ「ダブリン」「マンチエスター」ノ創定ニ係ル南海公債及他ノ年金變換條例「ウクトリヤ」十六年第二十三號ニヨレハ此等ノ公債ノ所持者ハ現金ノ代リニ三分半利付八十二磅十志券若クハ二分半利付百十一磅券若クハ千八百六十四年九月一日マテ二分利付其後千八百九十四年九月一日マテ二分ノ利率ヲ有スル百磅大藏省證券ノ領受ヲ選擇スルコトヲ得而シテ該條例ニハ二分半ニ轉換スヘキ年金ノ額ハ三千萬ヲ超過スヘカラストノ規定ヲ存セルモ實際轉換セラレタル金額ハ大數三百萬磅ヲ出テス故ニ後ニ至リ借換及ヒ他ノ方法ニヨリ此公債ニ添加ヲ爲シタルコト少カラス其中重ナルモノハ千八百八十四年國債條例公債ノ借換ニヨリ「コンソール」減却三分利付及ヒ新三分利付ト交換ノ爲メ此公債千九百二十三萬四百一磅ヲ發行セシモノニシテ又同條例ニヨリ本公債償還開始期日千八百九十四年一月五日ヲ千九百五年一月五日ニ延期セリ、配當

金ハ千八百八十四年一月五日以後ハ千八百八十二年歳入交友團社及ヒ國債條例二十條ニヨリ一月五日、四月五日、七月五日、十月五日ノ四期ニ仕拂ハレタリ千八百九十六年三月一日現在發行額三千二百三十七萬二千二百二十一磅中愛蘭土ニ散在スルモノ三十五萬三千九百十三磅ナリシ千八百九十六年ノ公相場表ニヨレハ最高百八磅、最低百三磅、最近價格百六磅、シテ、バルミンガム、ダブリン、リバープール、マンチエスター、及「セヒールド」ニ於テモ亦相場表ニ上レリ前記ノ如ク、コンソール公債等ノ性質等ヲ調査セシ折柄明治二十九年十月二十一日當時倫敦派遣中、早川日本銀行監理官ハ目下英國市場金融逼迫ノ爲メ金利騰貴シ同國「コンソール」公債ノ相場下落ノ傾向アリ若シ該公債ヲ百七磅半以下ニテ購入セハ凡年二分半ノ利子ヲ得ヘシ故ニ該價格以下ニ下落セハ適宜購入スル方然ルヘキ旨電稟アリ依テ審議ノ末同二十三日價格百七磅半以下ニ下落スルニ於テハ百萬磅ヲ限リ購入スヘキ旨早川監理官及日本銀行へ命令セラレタリ然ルニ爾後同公債ノ相場再ヒ騰貴シ右豫定價格ニ下ラサリシヲ以テ遂ニ購入スルニ至ラサリシナリ超ヘテ聖明治三十年二月十八日英國大藏省證券發行ニ關シ在倫敦早川監理官ヨリ左ノ如ク電稟アリタリ

大藏省證券百五十萬磅ニ對スル申込二月二十三日ニ受ケラルヘシ期限ハ三箇月六箇月又ハ十二箇月何レナリトモ選擇次第ナリ前同申込ノ割合歩合ハ一朱七厘五毛ナリキ大藏省證券ハ安全ナル投資ニシテ又容易ニ處分スルコトヲ得若干ヲ購求セラレンコトヲ望ム

右ノ電報到著當日ニ於ケル英蘭銀行寄託英貨ノ現狀ヲ見ルニ三百三十餘萬磅ノ餘裕アリ加之ナラス日本銀行ト預ケ合ノ爲メ兌換準備ニ組入レラレタル英貨四百二十餘萬磅ハ漸次普通寄託ニ

明治財政史第二卷

引戻スヘキ時機ニ際シタリシヲ以テ該證券ノ性質ヲ取調ヘタルニ頗ル確實ニシテ債金ノ保管並ニ利殖上ニ於テ最モ適當ナルコトハ「コンソール」公債ト運庭ナキヲ認メタリ依テ審議ノ末遂ニ十二箇月期ノ該證券百萬磅ヲ應募スルコト、シ此趣早川監理官及日本銀行へ電命セラレ同年三月二日半額五十萬磅ハ年一朱半ノ割引即四十九萬二千五百磅ノ價額ニテ半額五十萬磅ハ年一朱八分ノ五ノ割引即四十九萬千八百七十五磅ノ價格ニテ受領セリ爾後該證券ノ性質ニツキ明治三十年二月十七日付ヲ以テ在倫敦早川監理官ヨリ報告セル所ハ左ノ如シ

英國大藏省證券ニ關スル調書

英國大藏省證券 (Treasury bill) ハ英國ノ國庫手形 (Exchequer bill) 國庫債券 (Exchequer bond) トハ異ナルモノニシテ千八百七十七年ノ法律ニ依リ制定セラレ其支拂期限ハ三箇月、六箇月、若クハ十二箇月ナリ政府ニ於テ發行スルトキハ公衆ノ入札ニ付シ最高價額即最低割引歩合ノ申込人ニ落札スルモノトス而シテ別ニ利息ヲ付セス其證券仕拂ノ期限ニ至レハ直ニ現金ヲ拂渡スカ更ニ新證券ヲ交付スルヲ通例トス或ハ時々整理公債ヲ發行シ時價ヲ以テ交換スルコトアル趣ナリ最近ノ調査ニ依レハ目下證券ノ發行高六百五十一萬九千七百磅ニシテ其仕拂期日ハ本年明治三十年(三月二十三日、同三十日、四月四日、五月五日、七月四日)ナリ最近ノ發行ハ三十年二月五日ニシテ三箇月拂ノ證書百三十萬磅ヲ發行シ其割引歩合ハ平均年一分七厘六毛ニ當リ尙ホ二月二十三日百五十萬磅ヲ入札ニ付スル趣ナリ

此證券ハ時々大藏省ノ都合ニ據リ發行セラル、モノナレトモ當市手形仲買人及割引商社ニヨリ之レヲ賣買スルコトヲ得ルモノニシテ他ノ商業手形ニ異ルコトナク其價格ハ市場ノ金利ニ

明治財政史第二卷

依り高低スルコトアルモ最上ノ商業手形ノ割引歩合ニ比スレハ年利二分ノ一乃至四分ノ一低キヲ通例トスル由ナリ
又「バルデット」氏著書ニ依レハ左ノ如シ

大藏省證券

此證券ハ千八百七十七年ノ條例ニヨリテ創造セラレタルモノニシテ國庫證券ノ代リニ發行セラレタルモノナリ千八百九十六年三月三十一日現在總額六百五十一萬九千七百磅ニシテ内千八百九十五年六月二十八日付百三十萬磅千八百九十五年七月四日付百萬磅千八百九十六年一月四日付百萬磅千八百九十六年三月二日付百五十萬磅千八百九十六年三月三十日付百七十一萬九千七百磅ニシテ皆十二箇月證券ナリ
左ニ掲クルハ大藏省證券ノ發行及ヒ利率ノ概略ナリ

千八百九十六年中發行ノ大藏省證券

開始日	證券日付金額	三箇月證券		六箇月證券		十二箇月證券	
		配付額	平均割引	配付額	平均割引	配付額	平均割引
二月二十五日	1,000,000					1,000,000	5.00%
三月二十三日	1,000,000					1,000,000	5.00%
六月三十日	1,000,000					1,000,000	5.00%
七月四日	1,000,000					1,000,000	5.00%
十二月三十日	1,000,000					1,000,000	5.00%

明治財政史第二卷

磅十一志二片ニテ數回ニ買入レ共ニ該證券ハ直ニ日本銀行ヘ寄託シ同行ヲシテ英蘭銀行ニ保管セシメタリ而シテ超ヘテ翌明治三十一年三月ニ至リ右數回ニ應募若クハ購入シタル英國大藏省證券ハ償還期日ニ到着セシヲ以テ同三月二日及同三十日ノ二回ニ額面百十四萬七千磅ノ償還ヲ受ケ曩ニ應募若クハ買入レノ爲メ仕拂タル英貨ニ對シ一萬六千五百三十一磅八志十片ノ利益ヲ收得セリ

明治財政史第二卷

又明治三十一年三月倫敦市場ニ於テ印度英貨證券額面十六萬磅ノ賣物アリタルヲ以テ一分五厘ノ割引即十五萬九千二百五十六磅十九志九片ニテ購入シ該證券ハ直ニ日本銀行ヘ寄託シ同行ヲシテ英蘭銀行ニ保管セシメタリ而シテ内ニ二萬磅ハ同年六月三日殘額十四萬磅ハ同年七月二十一日償還ヲ受ケタリ
又前ニ債金領收ノ章ニ於テ述ヘタルカ如ク明治三十一年五月七日ニ清國カ我國ヘ債金殘額ヲ一時ニ皆済スル爲メ英獨市場ニ於テ公債ヲ募集スルニ方リ若シ市場ニ於テ全部募集スル能ハサル場合ニハ其内幾部分ヲ我政府ニ於テ引受ラレタキ旨申出テタルヲ以テ審議ノ末之レヲ容ル、コト、シ終ニ額面二百萬磅ヲ百ニ付八十八ノ割即百七十六萬磅ニテ引受ケ該證書ハ直ニ日本銀行ヘ寄託シ同行ヲシテ英蘭銀行ニ保管セシメタリ其後明治三十一年九月十五日以來償還ヲ受ケタルモノ及ヒ賣却シタルモノ額面百八十八萬四千二十五磅アリ應募原價ニ對シ一萬八千三百磅十三志九片ノ利益ヲ得タリ而シテ明治三十三年三月三十一日ニ於ケル現在高ハ額面十一萬五千九百七十五磅ナリトス今參考ノ爲メ左ニ該公債ノ約束覺書ヲ譯載スヘシ

清國政府カ我國ヘ債金殘額ヲ一時ニ皆済スル爲メ英獨ニテ募集セシ公債ノ

約東覺書譯文

- 第一 香港上海銀行ハ支那政府ノ爲メ千六百萬磅ノ公債ヲ募集スルコトヲ約束ス
- 第二 公債ノ期間ハ四十五箇年ニシテ年々元利ヲ併セ仕拂フモノトス
- 第三 公債利率ハ年四分半ト定ム
- 第四 支那政府ハ額面元利ノ八割二分以上八割五分以下ヲ受取ルモノトス
- 第五 上海兩ヲ二志六片ト見積レハ本公債ノ爲メ年々要スル所ノ金額約六百萬海關兩ナルヘシ然レトモ銀價引續キ下落スルニ於テハ七百萬兩ヲ準備セサル可ラス
- 第六 支那政府ハ本公債ノ爲メ海關稅收入ノ未抵當殘額即チ本年ハ二百萬乃至三百萬海關兩ニ上ル分及ヒ下ニ記スル所ノ厘金年額五百萬兩ヲ抵當ニ供シ且ツ海關稅收入殘額ノ減少銀價下落若クハ抵當厘金減少ノ場合ニハ更ニ他ノ收入ヲ抵當ニ供スルコトヲ約束ス

一	蘇州	厘金	見積額	八〇〇,〇〇〇
二	湖州(?)	同	同	一,二〇〇,〇〇〇
三	九江	同	同	二〇〇,〇〇〇
四	浙江東部	同	同	五〇〇,〇〇〇
五	廣東ノ六箇所ニテ徵收スル厘金	同	同	五〇〇,〇〇〇
六	宜昌	鹽稅	同	一〇〇,〇〇〇
七	湖北	同	同	五〇〇,〇〇〇

八 安

合計	一箇年	同	三〇〇,〇〇〇
			五〇〇,〇〇〇

- 第七 本公債ノ抵當ニ供セラレタルモノハ一切總稅務司ノ管理ヲ受クルモノトフ
- 第八 本書ハ單ニ約東事項ノ覺書ニ過キサルモノナレハ後日英獨千六百萬磅公債ノ契約書ト同様ノ契約正本ニ引換フヘキモノナリ
- 第九 前記諸項ノ諾否ヲ決スル爲メ同銀行ニ十日間ノ猶豫ヲ與フルモノトス

千八百九十八年二月十九日 北京ニ於テ

此ノ約束ハ

一方ノ當事者 支那帝國政府ノ爲メニ北京總理衙門ト

他方ノ當事者 香港上海銀行及德華銀行(以後單ニ銀行ト稱ス)トノ間ニ結ハレタルモノナリ

帝國支那政府四分半利付金公債千六百萬磅ニ對スル約束覺書ハ去ル二月十九日ニ支那帝國政府ト香港上海銀行トノ間ニ締約セラレ又同月二十五日歐洲ノ同銀行ヨリ右覺書中ニ記セル條件ニ本ツキ何時ニテモ公債ヲ發行スル旨ノ電報來レリ

約束ノ條項左ノ如シ

第一 支那帝國政府ハ此約束ニヨリ帝國支那四分半利付金公債千六百萬磅ノ發行權ヲ同銀行ニ付與ス

右公債ニハ千八百九十八年三月一日ノ日附ヲ用ユ可シ

第二 公債利子ハ額面金額ニ對シ年率四分半即一箇年七十二萬磅ニ當ル此利子ハ千八百九十八年三月一日ヨリ起算シ附錄仕方書ノ金額及日附ニ從ヒ支那帝國政府ヨリ月賦ヲ以テ同銀行ニ仕拂フモノトス

第三 公債ノ期間ハ四十五箇年ニシテ附錄仕方書ノ金額及日附ニ從ヒ支那帝國政府ヨリ月賦ヲ以テ償却基金年額十一萬五千二百三十二磅ツ、同銀行ニ元金ノ償還ヲ爲スモノナリ此期間中ハ支那帝國政府ニ於テ辨濟額ヲ増加シ公債ヲ償還シ又ハ借替ヲ爲サ、ルモノトス

第四 支那帝國政府ハ元金及利子ノ辨濟月額總計六萬九千六百二磅十三志四片ヲ平分シ附錄仕方書ノ金額及日附ニ從ヒ香港上海銀行及ヒ德華銀行ニ仕拂フモノトス其方法ハ仕方書ノ期日ニ於テ上海ノ同銀行支店ニ上海サイナイラ渡スモノニシテ其金額ハ歐洲ノ正貨仕拂ニ應スルニ足ル丈ヲ以テシ爲替歩合ハ當日兩銀行ト協定スヘキモノトス同銀行ハ債券所持者ニ利子及元金ヲ仕拂フニ當リ自由ニ條項ヲ定ムルノ權ヲ有ス債券所持者ニ公債ノ元利ヲ分配スルニ當リ之レヨリ生スル費用ノ償還トシテ同銀行ハ附錄仕方書ノ期日ニ於テ支那帝國政府ヨリ公債償却年額ノ四百分一即チ二千八百八十八磅一志八片ノ手數料ヲ受取ルモノトス

第五 同銀行ハ自ら適當ト認メタル形式文言並ニ金額ヲ以テ公債全額ニ對スル債券ヲ發行シ之ヲ公債應募者ニ交付スヘシ倫敦又ハ柏林ノ支那公使ハ是等ノ債券ニ捺印シ以テ支那帝國政府ヲ羈束スルノ證ト爲ス

債券ノ紛失盜難又ハ毀損ノ場合ニハ同銀行ハ直ニ倫敦又ハ柏林ノ支那公使ニ通牒シ支那公

使ハ同銀行ニ命シテ同券ノ仕拂ヲ停止スル旨ノ廣告ヲ公ノ新聞紙ニ掲ケ且ツ土地ノ法律ニ從テ必要ナル手段ヲ取ラシム法定ノ時期ヲ經ルモ債券尙ホ回復セラレサルトキハ倫敦又ハ柏林ノ支那公使ハ更ニ支那帝國政府ヨリ命令ナクテモ正副二通ノ同額面債券ヲ調製シ之ヲ同銀行ニ交付スヘシ之ニ關スル一切ノ費用ハ銀行ノ負擔トス

第六 千六百萬磅ノ公債全額ニ對スル抵當左ノ如シ

(一) 支那帝國上海稅關收入ノ未抵當殘額

(二) 直ニ總稅務司ノ管理ニ歸セラルヘキ左記ノ收入ニ對スル先取權

蘇州	總厘金	見積額	八〇〇,〇〇〇
湖州	同	同	一,二〇〇,〇〇〇
九江	同	同	二〇〇,〇〇〇
東部浙江	同	同	一,〇〇〇,〇〇〇
宜昌	鹽稅	同	一,〇〇〇,〇〇〇
湖北	同	同	五〇〇,〇〇〇
安徽	同	同	三〇〇,〇〇〇
合	計		五,〇〇〇,〇〇〇

右千六百萬磅ノ金公債ハ一部分タリトモ償還シ終ラサル間ハ元金雙方ニ關シテ將來ノ公債負債抵當ニ對シ優先權ヲ有ス此公債ヨリモ優先權ヲ有スルカ又ハ此公債ト同等ノ地位ニ在ルカ若クハ上掲セル關稅及厘金收入ノ確實ニ此公債ノ經費トシテ年々要スル金額ヲ限度ト

シ減損スル恐アル公債負債又ハ抵當ハ決シテ之ヲ募集創起スルヲ得ス若シ此關稅及厘金收入ヲ擔保トセル公債等今後起ルコト是レ有ルトモ本公債ノ地位ヲ超過スルヲ得ス此事ハ明カニ斯クノ如キ將來ノ公債負債又ハ抵當ノ約束書ニ記シ置クヘシ

又本公債ノ償却セラレサル間ハ支那帝國關稅事務ノ取扱ハ今日ノ儘タルヘシ

今後若シ銀價下落收入減少若クハ其他ノ原因ニヨリ本公債抵當ノ關稅及厘金收入カ元利償還ノ經費ニ不足スルニ至ルトキハ支那帝國政府ハ定額ヲ充タスニ足レル他ノ收入ヲ供シ直チニ之ヲ總稅務司ノ管理ノ下ニ置クヘキコトヲ約束スルモノナリ

若シ本公債ノ償却セラレサル間ニ支那政府カ厘金ヲ減少又ハ廢止スルノ約定ニ伴フテ關稅ヲ改正スルノ商議ニ立入ルコトアル場合ニ當リ一方ニ於テハ斯ノ如キ改正ハ厘金ノ公債抵當トナレル事實ノ爲メニ妨ケラレサルコト又他方ニ於テハ本公債ニ要スル經費ノ抵當トナレル厘金ハ凡テ同銀行ノ承諾ヲ經且ツ之ニ對スル代用物トシテ斯ノ如キ改正ノ結果生シタル關稅ノ増加額ニ對シ第一抵當權ヲ供與スルニ非レハ減廢セラレサルヘキコトヲ此處ニ約束スルモノナリ

第七 本公債ハ元利金額ニ對シ更ニ關稅厘金年券ヲ以テ之ヲ擔保ス其年券ニハ北京總理衙門及ヒ收入局ノ發行捺印スルモノニシテ總稅務司ノ調印ヲ加ヘタルモノトス又其年券ニハ本約東書條項第六ノ始メヨリ將來ノ公債負債又ハ抵當ノ約束書ニ記シ置クヘシ迄ノ文言ヲ揭ク此關稅厘金年券ハ香港上海銀行及德華銀行カ公債募集濟ノ金額ヲ支那帝國政府ヘ拂渡ス以前ニ兩銀行ヘ各同額ヲ交付スヘキモノトス

第八 本公債ニ對シテハ復更ニ正貨關稅厘金月券ヲ香港上海銀行及德華銀行ヘ預ケ入レテ擔保ニ供スヘキ者トス此月券ハ公債元利總額ト價格ヲ同ウシ上海ノ支那稅關長及兩江省總督ノ捺印上海ニ於ケル關稅外國委員ノ調印アルモノトス

右月券ハ來ル六月一日若クハ其以前ニ香港上海銀行及德華銀行ノ上海支店ニ半數ツ、交付シ期日迄ニ利子仕拂ノ金額及若クハ償還基金カ兩銀行上海支店ニ拂渡サレサルトキハ帝國海關稅及ヒ若クハ厘金稅ノ仕拂其他該證券記載ノ方法ニテ支那國中何處ニテモ使用シ得ルモノトシ且ツ此旨勅令ヲ以テ地方長官ニ訓示シ置クモノトス

第九 支那帝國政府ハ右公債募集額中ヨリ來ル五月八日ニ債金殘額ヲ帝國日本政府ヘ仕拂フヘキモノトス支那帝國政府ハ本公債全額發行後十二箇月間ハ同銀行ト協議スルニアラサレハ新債ヲ發行セサルヘシ

第十 本公債ノ經費ニ關シテ作り又ハ受渡サレタル債券利札其他仕拂ハ永久支那ノ租稅及輸入稅ヲ賦課セラレサルモノトス

第十一 目論見書ニ必要ナル事項及ヒ債券所持者ニ對スル元利仕拂ニ關係シタル事項ノ詳細ハ茲ニ明ニ規定セスト同銀行ノ制定ニ一任スルモノトス同銀行ハ本約束書調印次第速ニ公債ノ目論見書ヲ發行ス可シ支那帝國政府ハ倫敦及ヒ柏林ノ支那公使ニ訓令ヲ與ヘ倫敦ノ支那關稅事務官ニ傳達シ一致ノ備キヲ要スル事項ニツキテハ同銀行ト協同セシム又柏林ノ支那公使ハ柏林株式取引所ノ規則ニ遵ヒ公債ノ目論見書ニ捺印スヘシトス

第十二 同銀行ハ本約束書ニヨリ額面元金ノ八割三分ヲ支那帝國政府ニ引渡スモノニシテ其

純取得高即チ千三百二十八萬磅ヲ倫敦及若クハ伯林ニ保管シ支那帝國政府ノ命ヲ待ツモノトス

支那帝國政府ニ引渡スヘキ日附及金額左ノ如シ

千八百九十八年五月六日ニ 一、二〇〇、〇〇〇
同 六月六日ニ 一、二八〇、〇〇〇
計 一、三二八、〇〇〇

第十三 歐洲若クハ其他ニ於テ非常ナル政治上若クハ財政上ノ恐慌起リ市場ニ影響スルコト甚クシクシテ指定期日ニ本公債ノ募集ヲ續行シ難キトキハ同銀行ハ支那帝國政府トノ契約ヲ廢止スル權利ヲ有ス此際ニハ本契約ハ無効不成立ニ歸スヘキナリ

第十四 本約東調印後公債目論見書ノ發表以前ニ總理衙門ハ皇帝ニ上奏シテ本約東ノ條項ヲ確定裁可スルノ勅令ヲ仰キ總稅務司ニ訓令ヲ與ヘ直チニ本條約ニ指定ノ收入ヲ管理セシム

此クシテ得タル勅令ハ總理衙門ヨリ猶豫ナク北京ノ大英國日耳曼公使ヘ公ニ傳達スヘシ

第十五 香港上海銀行及德華銀行ハ同額ツ、公債ヲ引受ケ兩者ノ間ニハ互ニ責任ナキモノトス

第十六 本約東書ハ英文及支那文ヲ以テ四通ヲ製シ一通ハ契約者雙方各々之ヲ所持シ一通ハ總稅務司之ヲ所持ス契約ノ翻譯ヨリ疑問ノ生スル場合ニハ英文ヲ以テ標準ト定ム

清國光緒二十四年二月九日
西曆千八百九十八年三月一日

北京ニ於テ契約者雙方記名調印スルモノナリ

香港上海銀行

エデメント

イデーヒリエール

德華銀行

ラ ム プ

(支那膠文ニハ支那政府ノ印アリ)
千八百九十八年ノ支那帝國政府四分半正貨公債
千六百萬磅
利子及償還基金仕拂仕方書

千八百九十八年	利	子	消却基金	合計
七月五日		一、二〇〇、〇〇〇	一九、二〇五、六六八	一、三九、二〇五、六六八
同二十日		一、二〇〇、〇〇〇	一九、二〇五、六六八	一、三九、二〇五、六六八
八月五日		一、二〇〇、〇〇〇	一九、二〇五、六六八	一、三九、二〇五、六六八
九月五日		六〇〇、〇〇〇	九、六〇二、一三四	六九、六〇二、一三四
十月五日		六〇〇、〇〇〇	九、六〇二、一三四	六九、六〇二、一三四
				(四一七、六一六)

十一月五日	六〇,〇〇〇	九六〇,二一三,四	六九,六〇二,一三,四
十二月五日	六〇,〇〇〇	九六〇,二一三,四	六九,六〇二,一三,四

右ノ如ク西曆千八百九十九年一月ヨリ引續キテ千九百四十三年二月ニ至ル迄毎月五日ニ六萬九千六百二磅十三志四片ヲ支拂フモノトス
 以上仕方書ニ記載セル元利仕拂ノ外ニ支那帝國政府ハ千八百九十九年二月五日ヨリ毎年二月五日ニ兩銀行上海支店ヘ本約束書ノ第四項ニ定メタル如ク公債償還年額ノ四百分一即チ二千八百八磅一志八片ノ手数料ヲ平等ニ仕拂フモノトス

イデー、ヒリエール
 ラム プ

又清國ヨリ債金殘額ヲ一時ニ皆濟セシヲ以テ軍艦代仕拂基金トシテ倫敦ニ存置スヘキモノ、内餘裕アルモノハ空シク英蘭銀行ノ庫中ニ埋藏シ置カンヨリハ最モ安全ニシテ何時ニテモ現金ニ復原シ得ヘキ適當ノ方法アルニ於テハ之ヲ運用利殖スルハ然ルヘキコト、信シタルヲ以テ明治三十一年五月十六日其方法ニツキ在英加藤公使ノ意見ヲ問合セラレタリ同公使ヨリハ同十九日ヲ以テ橫濱正金銀行倫敦支店長並在倫敦荒川領事等ト協議ノ結果英印兩政府ノ大藏省證券ニ放資スルヲ以テ上策ナル趣同電アリ超テ翌二十日同公使ヨリ印度大藏省證券二百五十萬磅ヲ五月二十七日發行ノ公告アリタル旨電報アリタリ依テ翌五月二十一日付ヲ以テ割引歩合ハ一任スヘキニ付市況ヲ見計ヒ可成全額應募相成タキ旨電報セシニ十二箇月期限ニテ額面二百五十萬磅ヲ割引歩合二分八分ノ一即二百四十四萬六千八百七十五磅ニテ落札セル旨同電アリ而シテ六月三

日該金額ヲ仕拂ヒ其證券ハ直ニ日本銀行ヘ寄託シ同行ヲシテ英蘭銀行ニ保管セシメタリ而シテ明治三十一年六月以降金繰上ノ都合ニ依リ明治三十二年一月二十四日迄ニ二百十萬磅ヲ賣却シ四十萬磅ハ同年六月三日償還ヲ受ケタリ

又明治三十一年六月二十七日在英加藤公使ヨリ七月一日ニ英國大藏省證券百萬磅ヲ發行スヘキ公告アリタル旨電報アリ依テ同二十九日前例ニ依リ割引歩合ヲ一任シ可成全額應募相成度旨同電セシニ十二箇月期限ニテ額面九十六萬六千磅ヲ落札シ内五十萬磅ハ割引歩合一分五厘即四十九萬二千五百磅ニテ殘額四十六萬六千磅ハ割引歩合一分八分ノ五即四十五萬八千四百二十七磅十志ニテ落札シ七月六日該金額ヲ仕拂ヒ其證券ハ直ニ日本銀行ヘ寄託シ同行ヲシテ英蘭銀行ニ保管セシメタリ而シテ内十二萬五千磅ハ同年十月中之レヲ賣却シ殘額八十四萬千磅ハ明治三十二年七月六日償還ヲ受ケタリ

又前記本邦ニ於テ購入ノ有價證券ノ項ニ於テ述フルカ如ク倫敦ニ於テ我外債募集ニ著手セラルルニ及ヒ内地公債ノ價格ヲ額面ト平價ニ維持セシムルヲ必要ト認メ明治三十二年四月十三日理財局長ヲシテ公債買入ヲ日本銀行ヘ命令セシメラレシカ之ト同時ニ先年倫敦ニ於テ賣却ノ本邦軍事公債ノ市價ヲ騰貴セシムルハ亦適機ノ方策タルヲ以テ明治三十二年四月二十八日左ノ如ク日本銀行ヘ命令セラレタリ

祕第三九九號

日本銀行

倫敦ニ於テ發賣セシ軍事公債證書凡五十萬磅ヲ目的トシテ便宜買入レ方可取計右買入代金ハ

其需要ニ隨ヒ兼テ橫濱正金銀行倫敦支店へ通知預ケセシ英貨ノ内ヲ以テ仕拂フヘシ
明治三十二年四月二十八日

大藏大臣 伯爵 松方正義

右ノ命令ニ依リ日本銀行ハ明治三十二年五月十二日以降買入ニ著手セシカ明治三十二年六月一日我外債募集ノ目論見書ヲ倫敦ニ於テ公布セシヲ以テ最早買入ノ必要ナキニ至リ同年六月之レヲ停止セラレタリ而シテ此間ニ於テ倫敦ニ於テ購入シタル保證付軍事公債證書ハ額面百八十二萬六千圓ニシテ其買入價格ハ英貨二十萬三千八百八十八志三片ナリトス
又明治三十二年六月我四分利英貨公債ヲ倫敦ニ於テ募集セラレタルヲ以テ債金特別會計ニ於テ額面二百四十九萬九千五百磅ヲ百ニツキ九十ノ割ニテ應募セリ而シテ同年十月七日額面百七十萬磅ヲ政府預金部へ賣却セラレタルヲ以テ明治三十三年三月三十一日ニ於ケル現在殘額ハ額面七十九萬九千五百磅ナリトス
又明治三十二年十一月英國大藏省證券ノ發行アリ依テ割引歩合ハ日本銀行ニ一任シ百萬磅限リ六箇月期及十二箇月期ノモノヲ入札スヘキ旨命令セラレタリシカ開札ノ結果五十萬磅ハ六箇月期ノモノ三步八分ノ五即四十九萬九百三十七磅十志ニテ落札シ五十萬磅ハ十二箇月期ノモノ三步八分ノ一即四十八萬四千三百七十五磅ニテ落札セシ旨日本銀行ヨリ届出タリ依テ明治三十二年十一月十五日右代金ヲ仕拂ヒ其證券ハ日本銀行へ寄託シ同行ヲ直ニ英蘭銀行ニ保管セシメタリ爾後明治三十三年二月以來日本銀行ノ請求ニ依リ漸次同行へ賣却シ明治三十三年三月三十一日ニ於ケル現在高ハ額面四萬磅ナリトス

今當初ヨリ明治三十六年一月十五日迄ニ内外有價證券ノ應募若クハ購入ノ爲メ拂出シタル通貨
並ニ英貨高ヲ別表第三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三號ニ具ス

債金ノ内ヲ以テ應募購入並預金部所有ノ公債ト交換シタル本邦公債證書明細表

應募、購入並交換受入年月日	公債證書種別	應募、購入並交換		債還、賣却		現在 殘高	
		受券 入 面 額	格 額	受券 入 面 額	格 額	受券 入 面 額	格 額
三十一年 一月八日	五分利公債	五五〇〇〇〇	〇〇〇〇			五五〇〇〇〇	〇〇〇〇
二十一日	同	一〇、八〇七、三五〇〇	〇〇〇〇			一五、八〇七、三五〇〇	〇〇〇〇
三月二十九日	同	一〇、一六八、六三五六一五	〇〇〇〇			一五、一六八、六三五六一五	〇〇〇〇
六月三十日	同	四、五一〇、五〇〇〇〇	〇〇〇〇			一九、六七九、一三五六一五	〇〇〇〇
同日	同	二、七〇〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	二、五七二〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	一、七五三、九〇〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	一、六六〇、六五一六六五	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	三、六四一、七五〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	三、四四三、五八九〇六五	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	一、一六、六〇〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	一〇七、九四四、五五〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	一、四五六、三九〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	一、三四〇、八八四九九〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	五九八、五五〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	五七五、二〇六五五〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	一、五六四、七〇〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	一、五〇三、六七六七〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	四七、五〇〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	四、一八七〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	一、四八、〇〇〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	一、三八、九七二〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	九五四、二〇〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	九一六、九八六二〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	一、一三、五五〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	一〇七、〇一二五五〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	一、八五〇〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	一、七三七、一五〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	六六五、六〇〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	六三九、六四一六〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	九九一、三〇〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	九五二、六三九三〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	一、三三〇〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	一、二六三、二八〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	六、〇〇〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	五七、二七九〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	一、七二、八八四〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	一、七九七、七〇〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	一、七二七、五八九七〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	五七、〇〇〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	五四、一六五五〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	八三三、五〇〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	七八二、六五六五〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	一、〇〇〇、五〇〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	一〇五七、五八〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	一、七四九、九〇〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	一、六八一、六五三九〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	七四、五〇〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	七〇、八〇〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	五、一三〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	四七、九五一〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	三、七六六、二〇〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	三、六一九、三一八二〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	五、〇〇一、〇五〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	四、八〇六、〇〇九〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	四〇、七〇〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇
同日	同	三、八六九、九六〇〇〇	〇〇〇〇				〇〇〇〇

第三十六號

明治財政史第二卷

同日	海軍公債	一〇、六〇〇〇〇	〇〇〇〇				一〇、六〇〇〇〇	
同日	海軍公債	一、八五〇〇〇	〇〇〇〇				一、八五〇〇〇	
同日	海軍公債	一、七三七、一五〇〇〇	〇〇〇〇				一、七三七、一五〇〇〇	
同日	海軍公債	六六五、六〇〇〇〇	〇〇〇〇				六六五、六〇〇〇〇	
同日	海軍公債	六三九、六四一六〇〇	〇〇〇〇				六三九、六四一六〇〇	
同日	海軍公債	九九一、三〇〇〇〇	〇〇〇〇				九九一、三〇〇〇〇	
同日	海軍公債	九五二、六三九三〇〇	〇〇〇〇				九五二、六三九三〇〇	
同日	海軍公債	一、三三〇〇〇〇	〇〇〇〇				一、三三〇〇〇〇	
同日	海軍公債	一、二六三、二八〇〇〇	〇〇〇〇				一、二六三、二八〇〇〇	
同日	海軍公債	六、〇〇〇〇〇	〇〇〇〇				六、〇〇〇〇〇	
同日	海軍公債	五七、二七九〇〇	〇〇〇〇				五七、二七九〇〇	
同日	海軍公債	一、七二、八八四〇〇	〇〇〇〇				一、七二、八八四〇〇	
同日	海軍公債	一、七九七、七〇〇〇〇	〇〇〇〇				一、七九七、七〇〇〇〇	
同日	海軍公債	一、七二七、五八九七〇	〇〇〇〇				一、七二七、五八九七〇	
同日	海軍公債	五七、〇〇〇〇〇	〇〇〇〇				五七、〇〇〇〇〇	
同日	海軍公債	五四、一六五五〇〇	〇〇〇〇				五四、一六五五〇〇	
同日	海軍公債	八三三、五〇〇〇〇	〇〇〇〇				八三三、五〇〇〇〇	
同日	海軍公債	七八二、六五六五〇	〇〇〇〇				七八二、六五六五〇	
同日	海軍公債	一、〇〇〇、五〇〇〇〇	〇〇〇〇				一、〇〇〇、五〇〇〇〇	
同日	海軍公債	一〇五七、五八〇〇〇	〇〇〇〇				一〇五七、五八〇〇〇	
同日	海軍公債	一、七四九、九〇〇〇〇	〇〇〇〇				一、七四九、九〇〇〇〇	
同日	海軍公債	一、六八一、六五三九〇〇	〇〇〇〇				一、六八一、六五三九〇〇	
同日	海軍公債	七四、五〇〇〇〇	〇〇〇〇				七四、五〇〇〇〇	
同日	海軍公債	七〇、八〇〇〇〇	〇〇〇〇				七〇、八〇〇〇〇	
同日	海軍公債	五、一三〇〇〇	〇〇〇〇				五、一三〇〇〇	
同日	海軍公債	四七、九五一〇〇	〇〇〇〇				四七、九五一〇〇	
同日	海軍公債	三、七六六、二〇〇〇〇	〇〇〇〇				三、七六六、二〇〇〇〇	
同日	海軍公債	三、六一九、三一八二〇〇	〇〇〇〇				三、六一九、三一八二〇〇	
同日	海軍公債	五、〇〇一、〇五〇〇〇	〇〇〇〇				五、〇〇一、〇五〇〇〇	
同日	海軍公債	四、八〇六、〇〇九〇〇	〇〇〇〇				四、八〇六、〇〇九〇〇	
同日	海軍公債	四〇、七〇〇〇〇	〇〇〇〇				四〇、七〇〇〇〇	
同日	海軍公債	三、八六九、九六〇〇〇	〇〇〇〇				三、八六九、九六〇〇〇	

第三編 會計法規 第五章 債金特別會計

六六九

明治財政史第二卷

清國公債證書購入シタル分賣却ニ付損益ノ計算
 一英貨百七十萬八千二百八十八磅二志六片
 一英貨七萬六千四百四十八磅六志三片
 合英貨百七十七萬八千九百三十六磅八志九片

額面二百萬磅ニ對シ賣却代價還
 フ受ケタル分含有ス收入濟高
 右ニ對スル利子收入濟高

内

英貨百七十六萬磅

差引

英貨一萬八千九百三十六磅八志九片

利 益 高
 但年利一步二厘強ニ相當ス

額面二百萬磅ニ付八十八磅ノ割
 額面二百萬磅ニ對スル原價但

債金英貨ヲ以テ買入タル保證付軍事公債證書明細書

買入年月日	額 面 額	購 入 價 格	賣却年月日	賣却ノ爲メ拂出額面額	賣却未済額面額
三十三年 五月十二日	六〇〇,〇〇〇,〇〇〇	七三三,三三三,一一〇		〇	六〇〇,〇〇〇,〇〇〇
三十一日	一,六六六,〇〇〇,〇〇〇	一,一七三,三三三,三三三		〇	一,六六六,〇〇〇,〇〇〇
六月十五日	九〇,〇〇〇,〇〇〇	九六六,八二〇,二〇〇		〇	九〇,〇〇〇,〇〇〇
計	一,八二六,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇三,八八八,八〇三		〇	一,八二六,〇〇〇,〇〇〇
果 計	一,八二六,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇三,八八八,八〇三	三十三年 十月十二日	三〇〇,〇〇〇,〇〇〇	一,五二六,〇〇〇,〇〇〇
計	〇	〇	二十六日	一五〇,〇〇〇,〇〇〇	一,三七六,〇〇〇,〇〇〇
果 計	〇	〇	十一月十四日	一八〇,〇〇〇,〇〇〇	一,一九六,〇〇〇,〇〇〇
計	〇	〇	二十九日	三〇〇,〇〇〇,〇〇〇	一,〇九六,〇〇〇,〇〇〇
果 計	〇	〇	十二月十三日	二五〇,〇〇〇,〇〇〇	八四六,〇〇〇,〇〇〇
計	〇	〇		一,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇
果 計	一,八二六,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇三,八八八,八〇三		一,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇	八四六,〇〇〇,〇〇〇

ノ割ヲ以テ實價百五十三萬磅ヲ賣却シタルカ故全部拂込(額面百磅ニ付)ノ上額面百七十萬磅ニ相當スル高トナリタルモノナリ

第四十三號ノ二

帝國四分利付英貨公債證書購入シタル分賣却ニ付損益ノ計算

一英貨二百二十四萬千四百四十七磅九志十片

額面二百四十九萬九千五百十磅ニ對スル原價但市場ヨリ購入ノ分額面百磅ニ付八十九磅十三志七片強

一英貨百四十三萬九千九百八十六磅三志十一片

額面百七十萬磅ニ對スル原價但預金部ヨリ買戻ノ分額面百磅ニ付八十四磅十四志一片強

合英貨三百六十八萬千三百三十三磅十三志九片

内

英貨百五十三萬磅

但額面百七十萬磅預金部へ賣却代

英貨百九十九萬四千七百五十四磅四志

但額面二百四十九萬九千五百十磅市場ニ於テ賣却代但額面百磅ニ付七十六磅四志五片弱ニ當ル

英貨九萬二千二百九十五磅

公債證書所有中ニ生シタル利子

合英貨三百五十二萬七千四十九磅四志

差引

英貨十五萬四千八十四磅九志九片

損失 高

參考ノ爲メ預金部ニ於ケル損益ノ計算ヲ舉クレハ左ノ如シ

一英貨百五十三萬磅

債金部ヨリ購入高額面百七十萬磅ニ對スル原價

内

英貨百四十三萬九千九百八十六磅三志十一片

債金部へ賣却高額面百七十萬磅ニ對スル代價

英貨十三萬二千五百六十磅

公債證書所有中ニ收入シタル利子

合英貨百五十七萬二千五百四十六磅三志十一片

差引

英貨四萬二千五百四十六磅三志十一片

利益高
但此利益高ハ預金部ヨリ軍艦水雷艇補充基
金ヘ利益トシテ仕拂金ニ充テタルモノナリ

第九款 債金收支總計算

債金ノ保管、監理ノ機關、運用ノ方法及ヒ當初明治二十八年十月三十一日第一回軍費賠償債金領收以後明治三十三年三月三十一日迄滿四年五箇月ニ於ケル債金ノ收支及債金部特別會計ニ於テ施爲セシ事項ノ實況ハ上來述フル所ノ如シ今ヤ第八節ヲ終ルニ臨ミ此款ニ於テ前各節ニ分類記載セラル諸計算ヲ湊合シ明治三十六年三月三十一日ニ至ル債金ノ現計及其收支ノ景況ヲ別表第四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二號ニ具ス

茲ニ一言スヘキハ第四十四號計算書所載ノ金五百五十萬餘圓ノ交換差増額ニ關スル說明之レナリ抑モ該交換差増ト稱スルハ清國ヨリ債金ノ英貨ヲ領收スルニ方リ其時價即當日ノ日英間參著爲替相場ヲ以テ該英貨ニ我通貨ノ稱ヲ付シ以テ歳入ヘ編入セシ通貨額ト該英貨ノ内本邦ヘ回收シ以テ實際國庫ヘ收入シタル代リ通貨額トノ比較上ノ差増ヲ指スモノニシテ換言スレハ明治二十九年一月十四日債金回收ニ著手以來明治三十六年三月三十一日迄ニ債金英貨ノ内爲替又ハ金銀地金ヲ以テ本邦ヘ回收セシ上ニ生シタル利益ナリ而シテ此利益ヲ得タル主因ハ銀價ノ下落及ヒ明治二十九年以來我外國貿易ハ輸入超過トナリ從テ外國爲替相場ハ我レニ逆トナリタルニ基クモノナリ

自二十八年十月債金特別會計收支並殘高計算
至二十六年三月

收入

- 一金三億五千五百九十八萬三千六百六十三圓八十三錢五厘
- 此英貨三千七百八十三萬六千二百二十七磅八志六片五
- △一金二百六十八萬八千六百二十一圓十七錢四厘
- △此英貨二十七萬四千二百五十六磅八志四片
- 一金五百五十萬八千八百八十五圓二十五錢四厘

内譯

- △金二百六十八萬八千六百二十一圓十七錢四厘
- △此英貨二十七萬四千二百五十六磅八志四片
- △金百四十六萬五千三百八圓四錢
- 金七百六萬八千七百四十二錢二厘
- △金九萬四千五百二十四圓十二錢八厘
- 一金百四十四萬四千六百三十四錢五厘
- 此英貨十四萬六千八百八十五磅二志五片
- 一金四百二十六萬五千七百一十一圓九十九錢三厘
- 内譯
- 金二十九萬千九百七十四圓七十四錢九厘

〔軍費賠償金二億兩及遼東半島還付賠償金三千萬兩ニ對スル領收濟高〕

交換差增高

〔倫敦ニ於テ有價證券購入ノ分賣却ニ付生シタル差減〕

〔本邦ニ於テ有價證券購入ノ分賣却ニ付生シタル差減〕

倫敦ヨリ本邦ヘ英貨回收ニ付生シタル差増

本邦ニ於テ銀塊交換ニ付生シタル差減

〔倫敦ニ於テ運用ノ爲メ購入セシ英國大藏省證券ヨリ生シタル利子〕

- 此英貨二萬九千六百五十三磅十一志四片
- 金七千三百三十四圓六十二錢二厘
- 此英貨七百四十三磅零志三片
- 金六十九萬三千七百七十一圓八十五錢八厘
- 此英貨七萬六千四百八十八磅六志三片
- 金四十五萬千七百一十二圓一十一錢六厘
- 此英貨四萬五千八百四十磅四志七片
- 金六十二萬二千二十八圓五十錢八厘
- 金二百八十三萬千四百八十二圓二錢六厘
- 金七十二萬九千六百二十三圓三十七錢七厘
- 金五萬九千四百圓
- 金二萬三千七百七十八圓八錢二厘
- 收入合計金三億六千四百五十萬九千六百五十六圓二十五錢三厘
- 内譯
- 金三億六千八百八十萬三千七百七十六圓四十二錢八厘
- 此英貨三千七百七十萬八千七百五十六磅二志七片五
- 金二百七十萬五千八百七十九圓八十二錢五厘
- 支出
- 本邦ニ於テ收入セシモノ

〔倫敦ニ於テ運用ノ爲メ購入セシ印度英貨證券ヨリ生シタル利子〕

〔倫敦ニ於テ運用ノ爲メ購入セシ清國公債證券ヨリ生シタル利子〕

〔倫敦ニ於テ運用ノ爲メ購入セシ本邦公債證券ヨリ生シタル利子〕

〔本邦ニ於テ運用ノ爲メ購入セシ公債證券ヨリ生シタル利子〕

〔本邦ニ於テ應募シタル勸業債券ヨリ生シタル利子〕

〔本邦ニ於テ應募シタル勸業債券ヨリ生シタル利子〕

〔倫敦ニ於テ收入セシモノ但倫敦ヨリ本邦ヘ同收ニヨリ生シタル差増高ヲ含有ス〕

一金七千八百九十五萬七千六百六十四圓九十八錢九厘
 一金一億九千五百九萬七千七百二十八圓七十一錢九厘
 臨時軍事費特別會計へ繰入
 一般會計へ繰入

内譯

金千七百七十八萬九千三百八十九圓三十七錢九厘
 二十九年度へ繰入
 金四千三十六萬七千九百九十六圓十一錢一厘
 三十年度へ繰入
 金四千六百八十八萬七千七百七十一圓二錢七厘
 三十一年度へ繰入
 金三千二百六十三萬六千九百四圓八十七錢
 三十二年度へ繰入
 金三千二百二十四萬百三十九圓八十四錢
 三十三年度へ繰入
 金二千八十八萬三千四百二十七圓四十九錢二厘
 三十四年度へ繰入
 金千二百萬圓
 三十五年度へ繰入

一金二千萬圓
 帝室御料へ編入
 軍艦水雷艇補充基金へ繰入
 災害準備基金へ繰入
 教育基金へ繰入

支出合計金三億四千四百五萬四千八百九十三圓七十錢八厘

收支差引

金二千四十五萬四千七百六十二圓五十四錢五厘

明治三十六年三月三十一日現在高

内譯

金千六百萬四百八十五圓十錢

英貨在高但英商銀行寄託

此英貨百十三萬二千八百六十四磅九志四片

右英貨ハ倫敦ニ於テ保有スルモノナリ

金三百萬圓
 金五十九萬九千圓

一般會計へ繰替貨

在外國帝國專管居留地特別會計へ繰替貨

以上小計金三百五十九萬九千圓ハ國庫内他ノ會計へ繰替貨トナリ居ルモノナリ

金二百六十萬九千三百十五圓四十四錢五厘

金四萬九千九百七十二圓

金三百十四萬三千九百九十圓

現 金
 銀 塊
 有 價 證 券
 勸 業 債 券
 興 業 債 券
 內 金百六十二萬三千九百九十圓
 金百五十二萬九百圓

以上小計金五百十九萬五千二百七十七圓四十四錢五厘ハ本邦ニ於テ保有スルモノナリ

備考

本計算書中△印ノ員額ハ差減ナリ

債金支辨ノ既定歳出ニ對スル計算

一金三億六千四百五十萬九千六百五十六圓二十五錢三厘

債金總額

内

金三億四千四百五萬四千八百九十三圓七十錢八厘

當明治二十八年度ヨリ明治三十六年三月三十一日迄ニ債金支辨ノ既定歳出ニ對シ支出濟高此内額と對表參看

差引

金二千四十五萬四千七百六十二圓五十四錢五厘

明治三十六年三月三十一日殘高

内

金千六百七十五萬四千五百四十四圓二十九錢九厘

明治三十六年四月一日以降既定歳出ニ對シ支出スヘキ高但此内額と對表參看

再差引

金三百七十萬三百十八圓二十四錢六厘

使途未定高

自二十八年三月債金特別會計部倫敦ニ於ケル英貨受拂並殘高計算
至三十六年三月
受 入

- 一 英貨三千七百七十萬八千七百五十六磅二志七片五
- 此金三億六千八百八十萬三千七百七十六圓四十二錢八厘
- 一 英貨二百三萬四千五百磅
- 此金千九百九十六萬三千三百十七圓三錢九厘
- 一 英貨四百四十三萬九千九百八十六磅三志十一片
- 此金千四百七萬八千四百四十五圓三十錢四厘
- 一 英貨三百六十萬八千三百五十六磅
- 此金三千五百二十七萬四千四百八十七錢六厘
- 一 英貨六百十萬磅
- 此金五千九百五十萬六千六百四十八圓九十七錢三厘
- 一 英貨二十四萬六千七百五十七磅七志
- 此金二百三十八萬百三圓三十七錢六厘
- 一 英貨九萬九千九百十三磅十三志十片
- 此金九十萬六千四百七十一圓五十七錢六厘
- 一 英貨六萬八千磅

第四十五號

明治財政史第二卷

倫敦ニ於テ收入セシ債金特別會計部ニ屬スル
合計高内課ね計算書參看

香港上海ニ於テ貨幣整理資金部ノ引上ケ一圓
銀貨ヲ賣却シテ代リ金ヲ以テ購入シタル倫敦
渡英貨手形ニ對シ倫敦債金部ニ於テ英貨取付
内課前同報告書第四十七號表參看

預金部ニ於テ倫敦ニ保有スル有價證券ヲ債金
部ニ買戻シタル高但シ其代金ハ本邦ニ於テ預
金部へ通貨ヲ以テ仕拂ヒタル分ナリ

本邦通貨ヲ以テ公債部へ繰替貨ノ内英貨ヲ以
テ債金部へ返債ニ付受入レタル高ナリ

倫敦ニ於テ募集シタル四分利付英貨公債應募
拂込英貨ノ内債金部ニテ為替トナシ受入レ其
代リ金ハ本邦ニ於テ公債部へ通貨ヲ以テ仕拂
ヒタル分ナリ

明治二十九年五月ヨリ同三十一年五月ニ至ル
一般會計ニ屬スル威海衛守備費却金三箇年
分庫平銀百五十萬兩ニ對スル英貨高債金部ニ
テ該英貨ヲ為替トナシ受入レ其代リ金ハ本邦
ニ於テ一般會計へ通貨ヲ以テ仕拂タル分ナリ

明治二十七年法律第十六號ニ依リ倫敦ニ於テ
日本銀行へ預ケ入レタル英貨ニ對シ利子但
該英貨ハ債金部ニテ為替トナシ受入レ其代
金ハ本邦ニ於テ一般會計へ通貨ヲ以テ仕拂
タル分ナリ

預金部所有軍事公債證書四千三百萬圓ノ賣却
英貨受入高但シ其為替代リ金ハ本邦ニ於テ預金
部へ通貨ヲ以テ仕拂ヒタル分ナリ

内金 塊の購入ノ為メを號表參看

内銀塊 購入ノ為メを號表參看

内爲替 替ノ爲メを號表參看

内各省 經費振替表參看

債金部ニ於テ倫敦ニ保有スル有價證券ヲ預金
部へ賣却高但シ其代金ハ本邦ニ於テ預金部ヨリ
通貨ヲ以テ受取リタル分ナリ

- 此金六十七萬二千二百六十四圓七錢六厘
- 一 英貨四百三十八萬六千磅
- 此金四千三百三十四萬九千三百六十圓七十七錢七厘
- 受入合計英貨五千五百六十八萬四千二百六十九磅七志四片五
- 此金五億三千七百九十三萬四百九十五圓七十二錢五厘
- 拂 出
- 一 英貨千二百六十三萬千八百五十磅十六志九片
- 此金一億二千七百七十五萬九千六百七十二圓四十九錢一厘
- 一 英貨三百九萬五百四磅六志三片
- 此金二千八百萬八千五百十四圓五十九錢七厘
- 一 英貨千九百七十六萬五千二百六十一磅十志二片
- 此金一億八千九百六十六萬五千四百五十八圓八十六錢六厘
- 一 英貨千七百五十三萬三千七百八十八磅四志十片五
- 此金一億七千二百四十七萬八千九百九十一圓八十九錢
- 一 英貨百五十三萬磅
- 此金千四百九十五萬八千七百七十二圓七十八錢一厘
- 拂出合計英貨五千四百五十五萬四千四百四十八志零片五
- 此金五億二千六百八十七萬十圓六十二錢五厘

Year	Month	Day	Temperature	Humidity	Wind	Clouds	Notes
1900	Jan	1	50	70	SW	Partly	
1900	Jan	2	55	75	SW	Partly	
1900	Jan	3	60	80	SW	Partly	
1900	Jan	4	65	85	SW	Partly	
1900	Jan	5	70	90	SW	Partly	
1900	Jan	6	75	95	SW	Partly	
1900	Jan	7	80	100	SW	Partly	
1900	Jan	8	85	105	SW	Partly	
1900	Jan	9	90	110	SW	Partly	
1900	Jan	10	95	115	SW	Partly	
1900	Jan	11	100	120	SW	Partly	
1900	Jan	12	105	125	SW	Partly	
1900	Jan	13	110	130	SW	Partly	
1900	Jan	14	115	135	SW	Partly	
1900	Jan	15	120	140	SW	Partly	
1900	Jan	16	125	145	SW	Partly	
1900	Jan	17	130	150	SW	Partly	
1900	Jan	18	135	155	SW	Partly	
1900	Jan	19	140	160	SW	Partly	
1900	Jan	20	145	165	SW	Partly	
1900	Jan	21	150	170	SW	Partly	
1900	Jan	22	155	175	SW	Partly	
1900	Jan	23	160	180	SW	Partly	
1900	Jan	24	165	185	SW	Partly	
1900	Jan	25	170	190	SW	Partly	
1900	Jan	26	175	195	SW	Partly	
1900	Jan	27	180	200	SW	Partly	
1900	Jan	28	185	205	SW	Partly	
1900	Jan	29	190	210	SW	Partly	
1900	Jan	30	195	215	SW	Partly	
1900	Jan	31	200	220	SW	Partly	

Year	Month	Day	Temperature	Humidity	Wind	Clouds	Notes
1900	Feb	1	20	60	SW	Partly	
1900	Feb	2	25	65	SW	Partly	
1900	Feb	3	30	70	SW	Partly	
1900	Feb	4	35	75	SW	Partly	
1900	Feb	5	40	80	SW	Partly	
1900	Feb	6	45	85	SW	Partly	
1900	Feb	7	50	90	SW	Partly	
1900	Feb	8	55	95	SW	Partly	
1900	Feb	9	60	100	SW	Partly	
1900	Feb	10	65	105	SW	Partly	
1900	Feb	11	70	110	SW	Partly	
1900	Feb	12	75	115	SW	Partly	
1900	Feb	13	80	120	SW	Partly	
1900	Feb	14	85	125	SW	Partly	
1900	Feb	15	90	130	SW	Partly	
1900	Feb	16	95	135	SW	Partly	
1900	Feb	17	100	140	SW	Partly	
1900	Feb	18	105	145	SW	Partly	
1900	Feb	19	110	150	SW	Partly	
1900	Feb	20	115	155	SW	Partly	
1900	Feb	21	120	160	SW	Partly	
1900	Feb	22	125	165	SW	Partly	
1900	Feb	23	130	170	SW	Partly	
1900	Feb	24	135	175	SW	Partly	
1900	Feb	25	140	180	SW	Partly	
1900	Feb	26	145	185	SW	Partly	
1900	Feb	27	150	190	SW	Partly	
1900	Feb	28	155	195	SW	Partly	
1900	Feb	29	160	200	SW	Partly	
1900	Feb	30	165	205	SW	Partly	

01234567891011234

債金特別會計部倫敦ニ於ケル英貨受拂計

年 月	賠償金	運用利息金及有價證券交換差増減	手形取付済	預金部所有分	公債所有金ノ内 引振受入高	威海衛守備費	陸軍公債賣却代	計	日本銀行 為元銀行ノ	各省經費振替掛高	日本銀行 預金
三十四年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
四月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
五月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
七月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
十月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
十一月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
十二月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三十五年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
四月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
五月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
七月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
十月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
十一月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
十二月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三十六年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

備考

本表ハ實際倫敦ニ於テ英貨ヲ出納シタル年月ニヨリ記入シタルニヨリ國庫簿記帳高ニ對照スルトキハ差額アルコトヲ免レサルモノナリ
 本表受ノ部運用利殖金及有價證券交換差増減ノ欄ニ於ケル△印ノ員額ハ有價證券交換ノ爲メ生シタル差減ナリ
 同上公債部所有金ノ内ヨリ振替受入高九百七十萬八千三百五十六磅ノ内三百十萬八千三百五十六磅ハ本邦ニ於テ公債部へ繰替貸出高ノ内三千五百二十七萬
 本表拂ノ部日本銀行爲替元渡ノ欄ニ於ケル△印ノ員額ハ一旦交付セシ爲替元渡ヲ寄託金へ戻入シタルモノナリ
 同上日本銀行預金ノ欄ニ於ケル△印ノ員額ハ同行ヨリ預金ヲ返納シタルモノナリ
 同上英國大藏省證券濟國公債軍事公債英貨公債購入代ノ各欄ニ於ケル△印ノ員額ハ償還ヲ受ケ又ハ賣却シタル爲メ寄託金へ戻入シタルモノナリ

倫敦渡爲替手形受拂計算表

年 月	手 形	購 入	英 貨 取 付	濟 高	差 引 手 形	殘 高
三十一年 二月		五四七,三〇二,一一一		〇	五四七,三〇二,一一一	
三月		三四〇,二七九,〇八一		〇	三四五,〇〇〇,〇〇〇	
四月		一四五,〇〇〇,〇〇〇		〇	五四〇,〇〇〇,〇〇〇	
五月		六五,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇		五九五,〇〇〇,〇〇〇	
六月		四九八,〇〇〇,〇〇〇	一〇五,〇〇〇,〇〇〇		九八八,〇〇〇,〇〇〇	
七月		二六九,〇〇〇,〇〇〇	三〇〇,〇〇〇,〇〇〇		一,二二七,〇〇〇,〇〇〇	
八月		一三〇,五〇〇,〇〇〇	二八五,〇〇〇,〇〇〇		一,〇七二,五〇〇,〇〇〇	
九月		〇	一四〇,〇〇〇,〇〇〇		九三二,五〇〇,〇〇〇	
十月		〇	二九八,〇〇〇,〇〇〇		六三四,五〇〇,〇〇〇	
十一月		三八五,〇〇〇,〇〇〇	四一〇,〇〇〇,〇〇〇		六〇九五,〇〇〇,〇〇〇	
十二月		〇	二二四,五〇〇,〇〇〇		三九五,〇〇〇,〇〇〇	
計		一,八八七,五〇〇,〇〇〇	一,四九二,五〇〇,〇〇〇		三九五,〇〇〇,〇〇〇	
三十一年 一月		一四七,〇〇〇,〇〇〇	三〇〇,〇〇〇,〇〇〇		五二二,〇〇〇,〇〇〇	
二月		〇	四五,〇〇〇,〇〇〇		四六七,〇〇〇,〇〇〇	

第三編 會計法 第五章 債金特別會計

内 譯

金五千九百五十萬六千六百四十八圓九十七錢三厘
 金二百三十八萬百三圓三十七錢六厘
 金九十萬六千四百七十一圓五十七錢六厘
 金六十七萬二千二百六十四圓七錢六厘
 金四千三百三十四萬九千三百六十圓七十七錢七厘
 拂出合計金五億二千十八萬千六百十三圓五厘
 受拂差引

〔倫敦ニ於テ募集シタル四分利付英債公債英債代リ金公債部ヘ支拂高〕
 〔成金部守備費即金英債代リ金一般會計ヘ仕拂高〕
 〔明治二十七年法律第十六號ニヨリ日本銀行ヘ英債預入金ニ對スル子英債代リ金一般會計ヘ仕拂高〕
 〔預金部所有英債公債利子英債代リ金預金部ヘ仕拂高〕
 〔預金部所有軍事公債證券賣却代英債代リ金預金部ヘ仕拂高〕

内 譯

金三百五十九萬九千圓

内 金三百萬圓

金五十九萬九千圓
 金二百六十萬九千三百十五圓四十四錢五厘
 金四萬九千九百七十二圓
 金三百十四萬三千九百九十圓
 内 金百六十二萬三千九十圓
 内 金百五十二萬九百圓

國庫内他ノ會計ヘ繰替貸出高
 一般會計ヘ繰替貸
 在外國帝國專管居留地特別會計ヘ繰替貸

現 金
 銀 塊
 有 價 證 券
 勸 業 債 券
 興 業 債 券

備考

本計算書中△印ノ員額ハ差減ナリ

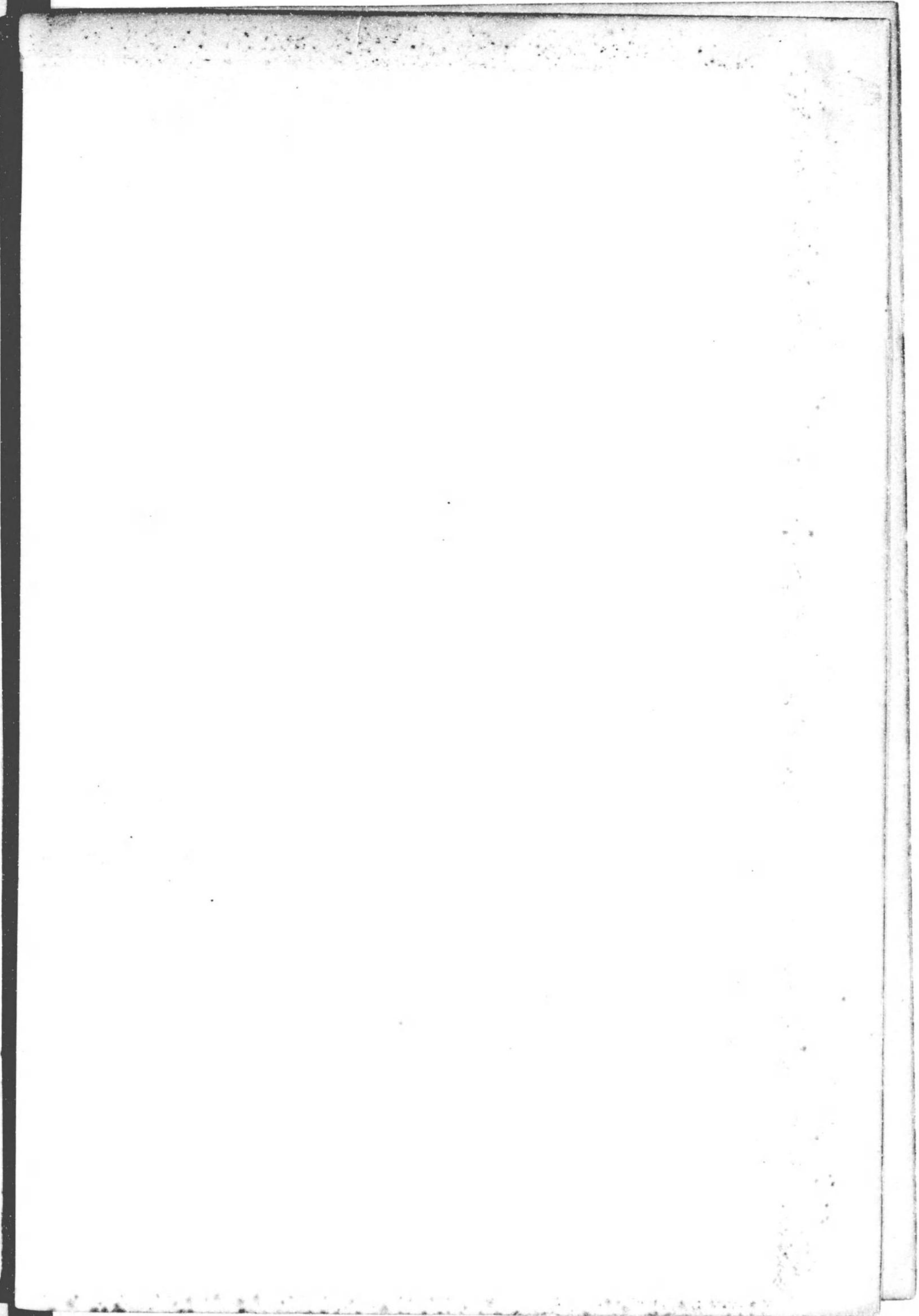
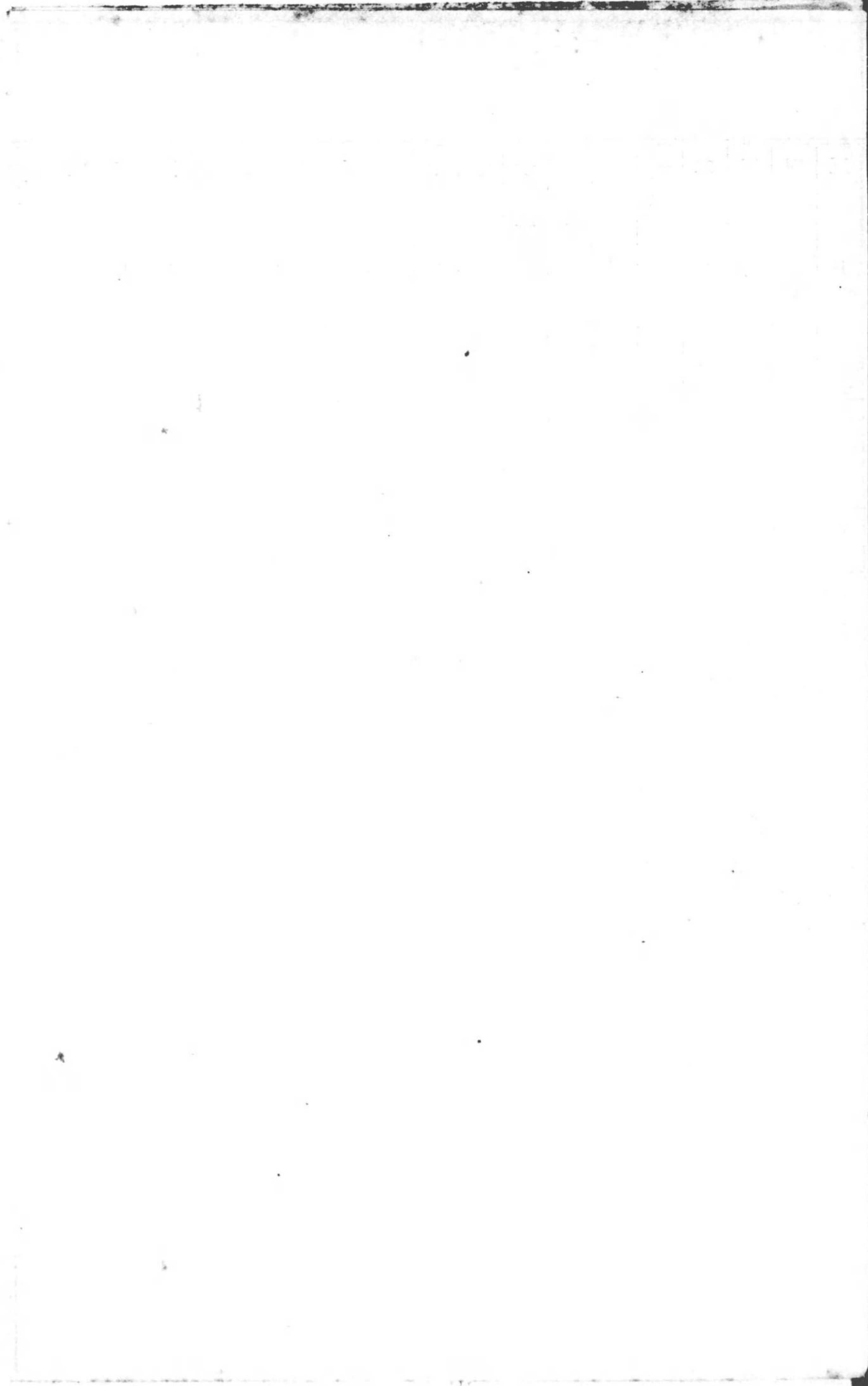


Table with multiple columns: 購入回収高, 爲替ノ以テ回収高, 各省紙費, 倫敦保ノ有, 關稅賣却代受入, 預ケ入金, 運用積立金, 計, 臨時軍事費特, 二十九年歳入降, 帝室御料ノ編入, 軍費本費補給光基, 軍費本費補給光基, 爲替ノ以テ回収高, 一般會計所屬海, 倫敦ニ於

並及有價證券等交換差増減ノ欄ニ於ケル△印ハ交換差減ナリ
以ノ爲日本銀行へ交付高及勸業債券應募拂込高ノ欄ニ於ケル△印ハ債還又ハ證券賣却等ニヨリ代價ヲ受入シタルモノナリ
爲替ノ欄ニ於ケル△印ハ公債募集金ヨリ返債アリタル高ナリ但總替高ノ内二千四百四十五萬五百二十八圓四錢八厘ハ倫敦ニ於テ英貨二百五十萬磅ヲ以テ返債済トナレリ
八元波ノ欄ニ於ケル△印ハ金塊ヲ以テ納入又ハ金塊買入停止ニ付買入元金へ戻入セシメタルモノナリ



債金特別會計部本邦ニ於ケル通

Main data table with columns for months (年 月), categories (金貨及金塊, 銀塊購入, etc.), and years (三十四年, 三十五年, 三十六年). It contains numerical values for various financial items.

備考

前同報告書ニ於ケル本表ニハ受入ノ部ニ於テ交換銀賣却代八千四百四十二萬九千三百十六圓十七錢三厘預ケ合ニヨル借入金九千九百八十四萬四千七百三圓ケタリト雖モ右ハ受拂共同額ニシテ且其後異動ナキニヨリ本表ニハ之レヲ省略セリ

價金特別會計部本邦ニ於ケル通貨受拂計算表

回數	爲替ノ以テ同數高	各省經費	會社保有ノ有	通用利便金及有價	分賣却代ノ	計	臨時事務費	二十九年會計年度	帝室御料ノ編入	三基金編入	債權引受ノ以テ	預金部所有ノ	債權引受ノ以テ	債權引受ノ以テ	債權引受ノ以テ
一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
六	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
九	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
十	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
十一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
十二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
十三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
十四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
十五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
十六	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
十七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
十八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
十九	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二十	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二十一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二十二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二十三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二十四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二十五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二十六	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二十七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二十八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二十九	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
三十	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
三十一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
三十二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
三十三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
三十四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
三十五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
三十六	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
三十七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
三十八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
三十九	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
四十	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
四十一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
四十二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
四十三	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
四十四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
四十五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
四十六	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
四十七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
四十八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
四十九	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
五十	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

表ニハ受入ノ部ニ於テ交換銀貨却代八千四百四十二萬九千三百十六圓十七錢三厘預ケ合ニヨル借入金九千九百八十四萬四千七百三圓ヲ揭ケ又拂出ノ部ニ於テ右間銀ヲ引受ケタリシ際拂出
 拂共同額ニシテ且其後異動ナキニヨリ本表ニハ之レヲ省略セリ
 及有價證券等交換差増ノ欄ニ於ケル△印ノ員額ハ銀貨及有價證券交換ノ爲メ生シタル差減ナリ
 代ノ欄ニ於ケル△印ノ員額ハ精算ニ際シ日本銀行ヨリ金塊返納ノ事ニ整理シタルニヨリ賣却代收入ノ分ヲ下戻シタルモノナリ
 入臨時部繰入ノ欄内ニ於ケル△印ノ員額ハ一旦繰入レタルモ當該年度内ニ仕拂ヲ要セザリシ爲メ繰戻シタルモノナリ
 内ニ於ケル△印ノ員額ハ銀貨却代付其代金ヲ受入レタルモノナリ
 高ノ欄内ニ於ケル△印ノ員額ハ債還又ハ賣却ニ付其代金ヲ受入レタルモノナリ
 貸高ノ欄内ニ於ケル△印ノ員額ハ繰替金ノ返戻ヲ受ケタル高ナリ又同欄末行ニ於ケル三千五百二十七萬四千四百八十七錢六厘ハ倫敦ニ於テ英貨ヲ以テ返償アリタルモノナリ

本邦へ回収シタル債金ノ金地金受拂計算表 (精算済之分)

年 月	受			拂			残
	英國ノ金塊 購入ノ分	日本ノ金貨 購入ノ分	現送英貨ノ分	預ケ合ノ爲 ノ拂出高	日本銀行ノ交付 爲ノ拂出高	新金貨鑄造ノ 爲ノ拂出高	
二十九年 十一月	4,000,000	0	0	0	0	0	4,000,000
十二月	0	1,000,000	0	0	0	0	1,000,000
三十一年 計	4,000,000	1,000,000	0	0	0	0	5,000,000
二十九年 一月	0	0	0	0	0	0	0
二月	0	0	0	0	0	0	0
三月	0	0	0	0	0	0	0
四月	0	0	0	0	0	0	0
五月	0	0	0	0	0	0	0
六月	0	0	0	0	0	0	0
七月	0	0	0	0	0	0	0
八月	0	0	0	0	0	0	0
九月	0	0	0	0	0	0	0
十月	0	0	0	0	0	0	0
十一月	0	0	0	0	0	0	0
十二月	0	0	0	0	0	0	0
三十一年 計	0	0	0	0	0	0	0

第三編會計法第五項債金轉換會計

二十九年	十一月	十二月	三十一年	計
英國ノ金塊	4,000,000	0	0	4,000,000
日本ノ金貨	0	1,000,000	0	1,000,000
現送英貨	0	0	0	0
預ケ合ノ爲	0	0	0	0
日本銀行ノ交付	0	0	0	0
新金貨鑄造	0	0	0	0
残	4,000,000	1,000,000	0	5,000,000

(前表) 本邦へ回収シタル債金ノ金地金國庫へ假納ノ分受拂表 (餘數ニ於テ購入金貨金塊本邦へ到着シ精算ノ上國庫へ及ヒ公債買入基ニ運用シタル出納ヲ示スモノナリ)

年 月	受		計	拂		計	殘
	英國金塊 購入ノ分	日本金貨 購入ノ分		預ケ合ノ分 日本銀行ハ公債 買入元渡ノ分	精算濟高		
三十一年八月	5,100,000	8,500,000	13,600,000	0	0	13,600,000	0
九月	10,000,000	0	10,000,000	0	0	0	0
十月	0	0	0	0	0	0	0
十一月	0	0	0	0	0	0	0
十二月	0	0	0	0	0	0	0
合計	15,100,000	8,500,000	23,600,000	0	0	23,600,000	0

備考
拂ノ欄ニ於ケル△印ハ預ケ合解除ニヨリ戻入セシモノ及公債買入元渡ヲ返戻セシメタルモノナリ

第五十號ノ二ハ(2)

前同報告書第五十號表ノ二ニ續ク 第五十號(る)

本邦へ回収シタル債金ノ金地金受拂計算表 (假納ノ分)

年 月	受		計	拂		計	殘
	英國金塊 購入ノ分	日本金貨 購入ノ分		日本銀行ハ賣却	精算濟高		
前表累計高	1,618,394,850	1,830,362,000	3,448,756,850	0	0	3,448,756,850	0
三十五年六月	1,096,303,358	0	1,096,303,358	0	0	0	1,096,303,358
七月	0	0	0	0	0	0	0
十二月	3,853,402,800	0	3,853,402,800	0	0	0	0
計	4,949,741,158	0	4,949,741,158	0	0	0	0
累 計	2,114,694,516	1,830,362,000	3,945,056,516	0	0	3,945,056,516	0
三十六年二月	0	0	0	0	0	0	0
三月	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0
累 計	2,114,694,516	1,830,362,000	3,945,056,516	0	0	3,945,056,516	0

備考
三十六年二月及三月ニ於テ日本銀行へ賣却ノ欄△印ノ員額ハ精算ニ付一旦返戻ノ手續ヲ爲サシメタルモノナリ
前同報告書累計高ハ三十一年八月以後ノ分ニ係ル

引上 壹圓銀受拂表 (債金部ノ金貨ヲ以テ引上ケタル壹圓銀ナリ)

年 月	壹圓銀受入高	貨幣整理資金部ニ於テ 通貨ト交換ノ爲ニ拂出高	壹圓銀殘高
三十一年 十月	四七、四五三、九四〇	五〇〇、〇〇〇	四六、九五三、九四〇
三十一年 十一月	三、八八三、八〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	四九、八三七、七四〇
三十一年 十二月	二、七二八、八四八	五、四七一、六八一	四七、〇九四、九〇七
計	五四、〇六六、五八八	六、九七一、六八一	四七、〇九四、九〇七
三十一年 一月	七二八、〇八〇	三、〇五一、八一三	四四、七七一、一七四
三十一年 二月	三三三、三四〇	二五〇、〇〇〇	四四、八五四、五一四
三十一年 三月	二、九五二、五一五	四、九三六、一七〇	四二、八七〇、八五九
三十一年 四月	二、五五六、二三〇	八、四五二、二五四	三六、九七四、八三五
三十一年 五月	二、一八四、六二〇	一、三三〇、九八二	三七、八二八、四七三
三十一年 六月	五七一、九七三	九、四五八、五六三	二八、九四一、八八二
三十一年 七月	二四五、一五四	五、三九六、三二〇	二三、七九〇、七一六
三十一年 八月	四、三四〇、六三六	二、五三一、九八五	二五、五九九、三六七
三十一年 九月	六二、二二七	一、九〇七、一五三	二三、七五四、四三一
三十一年 十月	一七七、三二九	三、三五〇、〇〇〇	二〇、五八一、七六〇

第五十一號

三十一年 一月	三十一年 十二月	計	果計
二、九六二、九七三	八四、八六二	一七、一九九、九二九	七二、二六六、五一七
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	八四〇
一一、二二八、五五〇	一一、五〇一、〇四四	六四、二九四、八三六	七一、二六六、五一七
八二六	九四六	七八八	八四〇
一一、四一六、一八二	〇	〇	〇
九四六	〇	〇	〇

貨幣整理資金部ヨリ引受ケタル銀ノ受拂計算表

年 月	受			拂			残		
	圓銀	上海鑄	香港弗	圓銀	上海鑄	香港弗	圓銀	上海鑄	香港弗
三十一年十二月	1,112,850,000	1,112,850,000	1,112,850,000	0	0	0	1,112,850,000	1,112,850,000	1,112,850,000
三十一年一月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三十一年二月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三十一年三月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三十一年四月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三十一年七月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三十一年八月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1,112,850,000	1,112,850,000	1,112,850,000	0	0	0	1,112,850,000	1,112,850,000	1,112,850,000

貨幣整理資金部ヨリ引受ケタル銀ノ受拂計算表内譯ノ一

年 月 日	受			拂			計	残
	圓銀	上海鑄	香港弗	圓銀	上海鑄	香港弗		
三十一年十二月十九日	7,477,233,000	7,477,233,000	7,477,233,000	0	0	0	7,477,233,000	
三十一年一月十三日	0	0	0	0	0	0	0	
三十一年二月七日	0	0	0	3,800,000	0	0	3,800,000	
三十一年三月二十九日	0	0	0	3,600,000	0	0	3,600,000	
三十一年四月二十一日	0	0	0	0	0	0	0	
三十一年七月五日	0	0	0	0	0	0	0	
三十一年八月十九日	0	0	0	0	0	0	0	
計	7,477,233,000	7,477,233,000	7,477,233,000	7,477,233,000	0	0	0	

貨幣整理資金部ヨリ引受ケタル銀ノ受拂計算表内譯ノ二

上海 銅ノ部

年月日	受		拂		残
	引現受代品	計	手形教渡購入為換	日本銀行へ賣却	
三十一年十二月十九日	〇	〇	〇	〇	一八四四、一五七四五
三十一年一月二十四日	〇	〇	〇	〇	一八四四、一五七四五
三十一年三月二十九日	〇	〇	〇	〇	一八四四、一五七四五
三十一年七月十九日	〇	〇	〇	〇	一八四四、一五七四五
計	二、四三八、五五三〇	九、〇〇〇、〇〇〇	二、四三八、五五三〇	二、四三八、五五三〇	〇

第五十二號ノ三

明治財政史第二卷

第五十二號ノ四

明治財政史第二卷

貨幣整理資金部ヨリ引受ケタル銀ノ受拂計算表内譯ノ三

香港 弗ノ部

年月日	受		拂		残
	引現受代品	計	手形教渡購入為換	日本銀行へ賣却	
三十一年十二月十九日	〇	〇	〇	〇	六三、五八二、〇〇〇
三十一年一月十三日	〇	〇	〇	〇	六三、五八二、〇〇〇
三十一年七月五日	〇	〇	〇	〇	六三、五八二、〇〇〇
三十一年七月十九日	〇	〇	〇	〇	六三、五八二、〇〇〇
計	六、〇〇三、〇〇〇	一、一七二、四〇〇	九、九三三、三三三	一、〇一九、三三八	〇

北清事變軍用圓形銀受拂表

年 月	受	拂	残
三十三年 六月	八九〇,〇〇〇	二四〇,〇〇〇	六五〇,〇〇〇
三十三年 七月	四三〇,〇〇〇	一三三,〇〇〇	九四七,〇〇〇
三十三年 八月	三〇〇,〇〇〇	三二六,八〇〇	九二〇,二〇〇
三十三年 九月	〇	三〇二,〇〇〇	六一八,二〇〇
三十三年 十月	五〇五,九三九	四三三,〇一五	六九一,一二四
三十三年 十一月	〇	三九八,四六二	二九二,六六二
三十三年 十二月	〇	一,五五六	二九一,一〇六
計	二,一二五,九三九	一,八三四,八三三	二九一,一〇六
三十四年 一月	〇	二一,七五五	二六九,三五二
三十四年 二月	〇	二二,六七八	二九三,〇二九
三十四年 三月	〇	五,九五八	二八七,〇七一
三十四年 四月	〇	一〇〇	二八六,九七一
三十四年 五月	〇	一二七,七五〇	一五九,二二二
三十四年 六月	〇	一二一,七六五	三七,四五六
三十四年 七月	〇	〇	〇

第五十二號ノ五

八 月	十 月	十 一 月	累 計
〇	〇	〇	二,一二五,九三九
△	△	△	〇
三〇一	七四一	三,四七四	二,〇八三,九六七
三七,七五七	三八,四九八	四一,九七二	四一,九七二
三〇一	七四一	三,四七四	二,〇八三,九六七
三〇一	七四一	三,四七四	二,〇八三,九六七

備考

- 一 本表受入高ノ内ニハ海外ニ於テ購入シタル銀塊到着迄ノ間大阪造幣局在合ノ銀塊ヲ以テ鑄造ノ分ヲ五十萬枚受入レ置キタル分ヲ含有ス但海外ヨリ銀到着ノ上造幣局へ返済セリ
- 一 拂出欄ニ於ケル△印ノ員額ハ一旦軍用ノ爲メ陸海軍省へ交付シタル分不用トナリ同省ヨリ返戻アリタルモノナリ但同月中ニ拂出ト戻入トアリタルトキハ差引ノ上其超過セラル高ノミヲ記入セリ
- 一 圓形銀購入高(銀塊ハ鑄造出来高)及原價(回送其他)ハ左ノ通

種 類	購入先	圓 銀	墨 銀	英 米 銀 塊	計
臺灣	〇	二八六,九三九	〇	〇	二八六,九三九
韓國	〇	四〇,一四〇	〇	〇	四〇,一四〇
上海	〇	四,五八〇,〇〇〇	四,五八〇,〇〇〇	〇	九,一六〇,〇〇〇
計	〇	三,三〇七,〇〇〇	四,五八〇,〇〇〇	〇	七,八八七,〇〇〇

一 圓形銀塊ノ賣却高及賣却代左ノ通

計	英米	香港	陸海軍兩省へ	日本銀行へ	臺灣銀行へ
計	三、七〇〇、〇〇〇 三、五七、一〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇 三、〇〇〇、〇〇〇	三、六四、七八〇 三、六四、七八〇	一、七一九、一七二 一、五〇〇、〇〇〇	二、〇八三、九六七 二、〇三四、四四五
賣却先枚	八、二八、一〇〇、〇〇〇 八、三三、九〇〇、〇〇〇	七、八一、九〇〇、〇〇〇 七、八三、七〇〇、〇〇〇	三、六四、七八〇 三、六四、七八〇	一、五〇〇、〇〇〇 一、五〇〇、〇〇〇	一、七一九、一七二 一、七一九、一七二
賣却代	九、二七、七〇〇、〇〇〇 九、三三、二〇〇、〇〇〇	九、二七、七〇〇、〇〇〇 九、三三、二〇〇、〇〇〇	三、六四、七八〇 三、六四、七八〇	一、六六九、六五〇 一、六六九、六五〇	二、〇三四、四四五 二、〇三四、四四五

第十款 本邦へ債金及ヒ其他ノ英貨回收ノ景況

明治二十八年十月三十一日以來同三十一年五月七日迄ニ倫敦及伯林ニ於テ清國ヨリ都合七回ニ領收セシ債金ハ英貨三千七百八十三萬四千餘磅ニシテ其他債金特別會計ニ於テ爲替ト爲シタル威海衛守備費債却金二十四萬六千餘磅軍事公債賣却代四百三十八萬六千磅一圓銀貨賣却代ヲ以テ購入シタル倫敦渡手形ノ英貨二百三萬四千餘磅外債募集金英貨八百六十萬磅及預金利子等十一萬三千餘磅及ヒ債金ヲ以テ購入シタル英貨證券ヨリ生シタル利益英貨十二萬二千餘磅ヲ加フレハ債金特別會計ニ於テ取扱ヒタル英貨高ノ合計ハ實ニ五千三百三十三萬八千餘磅ナリトス此巨額ノ債金ヲ宇内ノ貿易及金融市場ニ影響ヲ及ホサスシテ本邦へ回收スルハ頗ル難事ニ屬スルヲ以テ内外經濟市場ノ情況ヲ察シ時機ノ宜シキニ投シ或ハ爲替ノ作用ニ據リテ之ヲ回收シ或ハ銀塊ヲ購收シ或ハ銀價ノ騰貴ヲ避クルカ爲メ金塊ヲ購收シ或ハ金價ノ騰貴スルニ方リテハ英貨ヲ現送スル等種々ノ手段ヲ運ラシ著々回收ノ業ヲ進メタリ而シテ明治二十九年ニ於テハ米國大統領選舉事件ノタメ銀價ニ不時ノ暴落ヲ來タシ大ニ銀塊購入ノ便ヲ得其回收高隨分巨額ニ上リタルト我國ニ於テモ早晚金本位制ヲ施行センニハ之レカ準備トシテ金ヲ購收スルノ必要アルトニヨリ明治二十九年九月ニ至リ債金ノ内正貨ヲ以テ回收スルモノハ爾後金ヲ主トスルノ方針ニ改メ同年十一月十日ニ至リ全然銀塊購收ヲ中止シ同時ニ爲替モ其種類ヲ選ミ取組ムコト、セラレタリ

前述ノ計畫ニ從ヒ明治二十九年一月十四日債金回收ニ著手已來同三十二年三月三十一日迄ニ同

收シタル總額ハ實ニ四千八百六十四萬餘磅ニシテ前記英貨合計高九割一分強ニ該當セリ而シテ此巨額ノ回收ニ依リ内外經濟市場ニ及ホシタル影響如何ヲ顧ミルニ領事其他ノ報告ニ徵スルモ明治三十年二月頃迄ハ著シク影響ヲ及ホシタル跡ナカリシト雖モ同年二三月ノ交ヨリ我金貨本位制採用ノ說早ク歐米ニ傳播シ從テ我國カ購金賣銀主義ヲ取ルノ嚆嚨盛ニ起リ銀價下落ノ趨勢一層度ヲ加ヘ金價騰貴ノ助因トナリタルモノ、如シ

今前記ノ方針ニ依リ當初明治二十九年一月ヨリ同三十三年三月三十一日迄ニ債金其他ノ英貨ヲ回收セシ員額ヲ大別スレハ其第一位ヲ占ムルモノハ爲換各省經費ノ振替爲替千ニシテ其取組高ハ三千二百四十四萬八千餘磅ニ達シ回收總額ノ六割六分強ニ該當セリ之レ明治二十九年中ニ於ケル我外國貿易ハ輸入超過五千三百餘萬圓同三十年中ニ於ケル輸入超過五千六百餘萬圓並同三十一年中ニ於ケル輸入超過一億千餘萬圓同三十二年中ニ於ケル輸入超過五百餘萬圓合計二億二千七百餘萬圓ナリシヲ以テ容易ニ巨額ノ爲替ヲ取組ミ得タルモノナリ其第二位ニ來ルモノハ金塊ニシテ其購入高ハ現送英貨六十萬磅ヲ加ヘ千五百五十七萬餘磅ニシテ回收總額ノ二割八分弱ニ該當セリ之レ明治二十九年十一月以後金塊ヲ主トシテ購收シタルニ因ル其第三位ヲ占ムルモノハ銀塊ニシテ其購入高ハ三百九萬餘磅ニシテ回收總額ノ約六分三厘強ニ該當セリ之レ明治二十九年十一月迄ニ購入シタルモノニシテ同年中米國ニ於テ銀塊投資ノ盛シナリシニ因リ此巨額ヲ短月日間ニ購收シ得タルモノナリ然レトモ爲替取組高中各省經費振替爲替千三百三十六萬餘磅ヲ除クトキハ普通爲替ハ千九百八萬餘磅トナリ爲替ハ五割四分ニ當リ尙ホ其第一位ヲ占メ金ハ三割三分弱ニシテ其第二位ヲ占メ銀ハ八分七厘強ニシテ其第三位ヲ占ムルコト、ナルナリ

今本邦へ債金ノ回收ニ著手セシ當初即明治二十九年一月十四日以後ニ於ケル債金回收ノ景況ヲ別表第五十三號ニ具ス

每月倫敦ニ於ケル金塊及日本金貨平均相場ト價金ノ内ヲ以テ購入セシ英國金塊及日本金貨平均相場トノ比較並毎月購入高調

年 月	英國金塊		日本金貨	
	相場平均	購入高	相場平均	購入高
二十九年一月	三,一七〇,〇〇〇	〇	三,一七〇,〇〇〇	〇
二十九年二月	三,一七〇,〇〇〇	〇	三,一七〇,〇〇〇	〇
二十九年三月	三,一七〇,〇〇〇	〇	三,一七〇,〇〇〇	〇
二十九年四月	三,一七〇,〇〇〇	〇	三,一七〇,〇〇〇	〇
二十九年五月	三,一七〇,〇〇〇	〇	三,一七〇,〇〇〇	〇
二十九年六月	三,一七〇,〇〇〇	〇	三,一七〇,〇〇〇	〇
二十九年七月	三,一七〇,〇〇〇	〇	三,一七〇,〇〇〇	〇
二十九年八月	三,一七〇,〇〇〇	〇	三,一七〇,〇〇〇	〇
二十九年九月	三,一七〇,〇〇〇	〇	三,一七〇,〇〇〇	〇
二十九年十月	三,一七〇,〇〇〇	〇	三,一七〇,〇〇〇	〇
二十九年十一月	三,一七〇,〇〇〇	〇	三,一七〇,〇〇〇	〇
二十九年十二月	三,一七〇,〇〇〇	〇	三,一七〇,〇〇〇	〇
三十年一月	三,一七〇,〇〇〇	〇	三,一七〇,〇〇〇	〇

第五十三號ノ一

明治財政史第二卷

年 月	英國金塊		日本金貨	
	相場平均	購入高	相場平均	購入高
三十一年一月	三,一七〇,〇〇〇	〇	三,一七〇,〇〇〇	〇
三十一年二月	三,一七〇,〇〇〇	〇	三,一七〇,〇〇〇	〇
三十一年三月	三,一七〇,〇〇〇	〇	三,一七〇,〇〇〇	〇
三十一年四月	三,一七〇,〇〇〇	〇	三,一七〇,〇〇〇	〇
三十一年五月	三,一七〇,〇〇〇	〇	三,一七〇,〇〇〇	〇
三十一年六月	三,一七〇,〇〇〇	〇	三,一七〇,〇〇〇	〇
三十一年七月	三,一七〇,〇〇〇	〇	三,一七〇,〇〇〇	〇
三十一年八月	三,一七〇,〇〇〇	〇	三,一七〇,〇〇〇	〇
三十一年九月	三,一七〇,〇〇〇	〇	三,一七〇,〇〇〇	〇
三十一年十月	三,一七〇,〇〇〇	〇	三,一七〇,〇〇〇	〇
三十一年十一月	三,一七〇,〇〇〇	〇	三,一七〇,〇〇〇	〇
三十一年十二月	三,一七〇,〇〇〇	〇	三,一七〇,〇〇〇	〇
三十二年一月	三,一七〇,〇〇〇	〇	三,一七〇,〇〇〇	〇

明治財政史第二卷

